
大学生のアルバイトに関するレポート（2022年）

2022年7月 株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部

■ 転載・引用につきまして

レポートの著作権は、株式会社マイナビが保有します。レポートの内容を転載・引用する場合には、出所として

・弊社名（株式会社マイナビ）※株式会社は省略可

・調査、レポート名称

・調査時期

を明記してご利用ください。

ex)

株式会社マイナビ「大学生のアルバイトに関するレポート（2022年）」によると・・・

【転載・引用に関する注意事項】

以下の行為は禁止いたします。

・レポートの一部または全部を改変すること

・本レポートの一部または全部を販売・出版すること

・出所を明記せずに転載・引用を行うこと

・公序良俗に反する利用や違法行為につながる可能性がある利用を行うこと

※転載・引用されたことにより、利用者または第三者に損害その他トラブルが発生した場合、当社は一切その責任を負いません。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部

E-mail:myrm@mynavi.jp

調査概要	3		
TOPICS	4		
1. 就業実態	14		
1-1. アルバイト就業状況	15		
1-2. アルバイトの形態	16		
1-3. アルバイトをしている数	17		
1-4. 1週間あたりの平均アルバイト日数	18		
1-5. アルバイトしている曜日	19		
1-6. 1日あたりの平均アルバイト時間	20		
1-7. アルバイト先への通勤時間	21		
1-8. アルバイトの勤務期間	22		
1-9. 1か月あたりのお小遣いの金額	23		
1-10. 1か月あたりのアルバイト収入	24		
1-11. 自分の能力で稼げると思う月収	25		
1-12. 経験のあるアルバイトの職種	26		
1-13. 現在のアルバイトの職種	27		
1-14. 副業/掛け持ちのアルバイトの職種	28		
1-15. やってみたいアルバイトの職種	29		
1-16. やりたくないアルバイトの職種	30		
1-17. 就業調整の有無	31		
2. アルバイト探しについて	32		
2-1. 直近1年間のアルバイト探し経験	33		
2-2. アルバイトを探してから採用されるまでの期間	34		
2-3. アルバイト探しでの情報収集源	35		
2-4. アルバイト探しでの応募参考	36		
2-5. アルバイトの必須条件	37		
2-6. アルバイトのあったら良いが必須でない条件	38		
2-7. アルバイトを始める際に不安に感じること	39		
2-8. コロナの影響によるアルバイト選択基準の変化	41		
2-9. 選択基準の変化内容	42		
2-10. アルバイト探しに関する親の関与	43		
3. 大学生の就業実態	44		
3-1. アルバイトの目的	45		
3-2. アルバイト先を決めた要因	47		
3-3. アルバイトのやりがい	49		
3-4. 早期離職経験	51		
3-5. 早期離職理由	52		
3-6. アルバイト先の理想の上司像	54		
3-7. 経済的・時間的なゆとりの有無	56		
3-8. アルバイトしていない理由	57		
3-9. 非就業者のアルバイト就業意向	59		
4. 現在のアルバイト先への意識	61		
4-1. 長く働きたいと思える	62		
4-2. 満足している	63		
4-3. 前向きに取り組める	64		
4-4. 家族や友人に薦めたいと思える	65		
4-5. 充実感を感じる	66		
4-6. 現在のアルバイト実態	67		
5. アルバイトにおける就職活動の意識	73		
5-1. 就職活動への意識の有無	74		
5-2. 就職活動への意識項目	75		
5-3. 就職活動で役立つ経験ができた職種	77		
5-4. 就職活動で役立つ経験ができた内容	78		
5-5. 就職活動中のアルバイト状況	79		
Appendix	80		

- 目的 大学生のアルバイトの実態と意識を明らかにすること
- 調査名 「アルバイト就業者調査（2022年）」より大学生サンプルのみ抽出し作成
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネット調査
- 対象者 18～23歳の大学1～4年生 ※短期大学、専門学校、大学院生は除く
- 回収数 就業者990サンプル、非就業者523サンプル
- 実施期間 2022年4月25日～5月2日
- ウェイトバック方法 文部科学省「学校基本調査（令和3年）」の結果を元に以下のようにウェイトバックを行った。

① 学校基本調査より性別×エリアの該当者数を集計

	計	男性	女性
TOTAL	2625688	1429133	1196555
北海道	79729	47514	32215
東北	111429	63829	47600
甲信越・北陸	109224	63228	45996
北関東	79415	44422	34993
一都三県	1063665	574505	489160
東海	244747	130977	113770
関西	546470	292625	253845
中国四国	173426	92757	80669
九州沖縄	217583	119276	98307

② ①で算出された性別×エリアの構成比を算出

	計	男性	女性
TOTAL	1	0.54429	0.45571
北海道	0.03036	0.0181	0.01227
東北	0.04244	0.02431	0.01813
甲信越・北陸	0.0416	0.02408	0.01752
北関東	0.03025	0.01692	0.01333
一都三県	0.4051	0.2188	0.1863
東海	0.09321	0.04988	0.04333
関西	0.20812	0.11145	0.09668
中国四国	0.06605	0.03533	0.03072
九州沖縄	0.08287	0.04543	0.03744

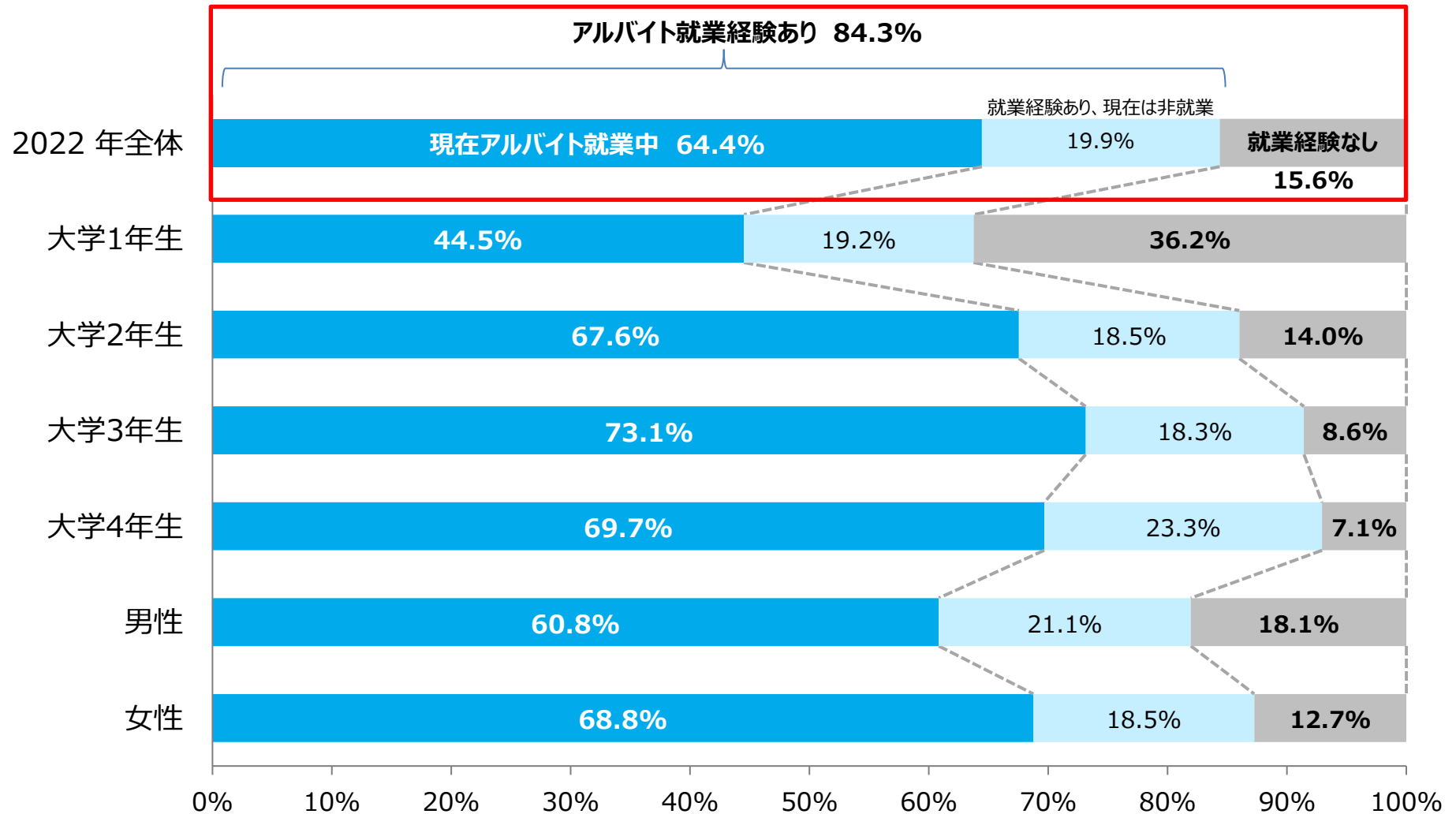
③ 本調査回答者の構成比を②の構成比に合わせ集計

	WB前			WB後		
	計	男性	女性	計	男性	女性
TOTAL	990	533	457	990	539	451
北海道	27	16	11	30	18	12
東北	57	23	34	42	24	18
甲信越・北陸	52	32	20	41	24	17
北関東	46	25	21	30	17	13
一都三県	369	194	175	401	218	184
東海	103	60	43	92	49	43
関西	197	99	98	206	110	96
中国四国	69	42	27	65	35	30
九州沖縄	70	42	28	82	45	37

調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

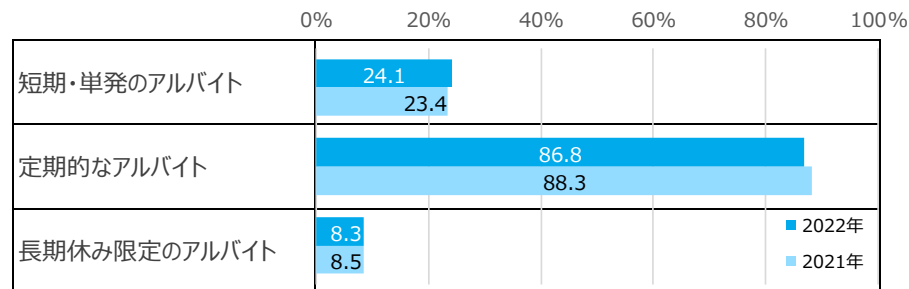
TOPICS

- ◆ アルバイト就業中の大学生の割合は64.4%、アルバイト経験があり現在は非就業の割合は19.9%、これまで一度もアルバイト経験がない割合は15.6%となった。
- ◆ アルバイト就業経験がある割合は84.3%となり、大半の学生がアルバイト経験がある。

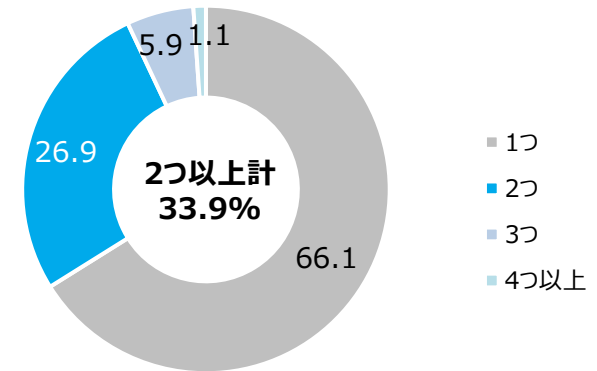


- ◆ 就業者のアルバイト形態は前年とほぼ変わらないが、短期・単発のアルバイトをしていた割合が微増、定期的なアルバイト・長期休み限定のアルバイトをしていた割合が微減した。
- ◆ 現在の職種上位3項目の順位は前年と同様、「飲食・フード（接客・調理）」「教育（塾講師・家庭教師）」「販売（コンビニ・スーパー）」。前年比では「飲食・フード」「教育」が増加、「販売」が減少した。
- ◆ 大学生のアルバイト就業者の3割以上は2つ以上のアルバイトを掛け持ちしている。副業/掛け持ちのアルバイトは「飲食・フード（接客・調理）」「教育（塾講師・家庭教師）」の割合が高く、大学生の副業アルバイトの半数以上を占めている。

アルバイト形態



アルバイト数



アルバイトしている職種 (TOP3)

順位	職種	割合 (%)	前年比
1位	飲食・フード（接客・調理）	31.8%	↑2.4pt
2位	教育（塾講師・家庭教師）	20.5%	↑2.5pt
3位	販売（コンビニ・スーパー）	15.3%	↓1.5pt

副業/掛け持ち職種 (TOP3)

1位	飲食・フード（接客・調理）	31.4%
2位	教育（塾講師・家庭教師）	24.0%
3位	販売（コンビニ・スーパー）	13.3%

- ◆ アルバイト就業中の大学生の平均的な手取り月収は5.55万円／月、希望月収は7.94万円／月となり、希望月収とのギャップは+2.39万円程度となっている。
- ◆ 平均的な勤務時間は4.5時間、希望勤務時間は4.4時間となり、実態と希望ともに大学4年生が最も長くなっている。
- ◆ 平均的な勤務日数は2.8日、希望勤務日数は3.0日となり、希望が実態をやや上回った。

	(実態) 1日あたり 勤務時間		(希望) 1日あたり 勤務時間		(実態) 1週間あたり 勤務日数		(希望) 1週間あたり 勤務日数		(実態) 手取り月収		(希望) 手取り月収	
2022年全体	(990)	4.5時間	(990)	4.4時間	(990)	2.8日	(990)	3.0日	(939)	5.55万円	(947)	7.94万円
大学1年生	(100)	4.0時間	(100)	4.1時間	(100)	2.7日	(100)	3.1日	(92)	4.68万円	(95)	6.92万円
大学2年生	(286)	4.5時間	(286)	4.3時間	(286)	2.9日	(286)	3.0日	(268)	5.35万円	(270)	8.69万円
大学3年生	(301)	4.5時間	(301)	4.5時間	(301)	2.8日	(301)	2.9日	(290)	6.05万円	(290)	8.57万円
大学4年生	(304)	4.8時間	(304)	4.7時間	(304)	2.8日	(304)	2.9日	(289)	5.50万円	(291)	6.95万円

※（ ）内は回答数

- ◆ アルバイト就業中の大学生がアルバイト先に求める条件として、「シフトの融通がきく」や「学業への理解がある」「自宅から近い」などが必須条件となっており、特に「シフトの融通がきく」「自宅から近い」は前年より上げ幅が大きく、重視する学生が増えた傾向。
- ◆ 現在のアルバイト先決定の決め手としては、“企業からの迅速な連絡”や“勤務条件の詳細を知れたか”が重視されている。

アルバイト探し

アルバイト先の決定

必須条件

希望条件

決め手となった要因

	前年比	
1 シフトの融通がきく	52.7	+12.0
2 学業への理解がある	41.5	+5.7
3 自宅から近い	41.4	+6.8
4 給与が高い	33.1	+4.2
5 未経験でもできる仕事である	26.2	+0.8
⋮		
重視する条件はない	4.0	-8.2

(%)

	前年比	
給与が高い	19.4	+0.3
まかない・社割販売・社員寮などがある	16.8	+0.2
交通費が全額支給される	15.0	+1.6
楽な仕事である	14.4	-5.9
昇給がある	14.3	+6.0
⋮		
重視する条件はない	13.1	-6.6

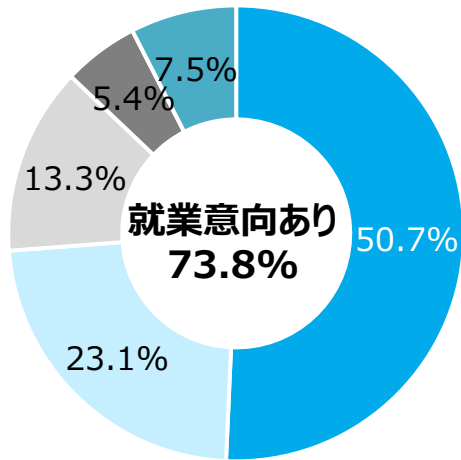
(%)

	前年比	
応募後にすぐに企業から連絡がきた	29.3	+5.3
時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた	24.6	+1.7
すぐに合否通知の連絡がきた	22.3	+3.3
応募から面接までの案内が丁寧だった	22.2	+8.5
採用担当者が話しやすい雰囲気だった	20.3	+2.1
⋮		
決め手となったきっかけや要因はない	24.3	-9.8

(%)

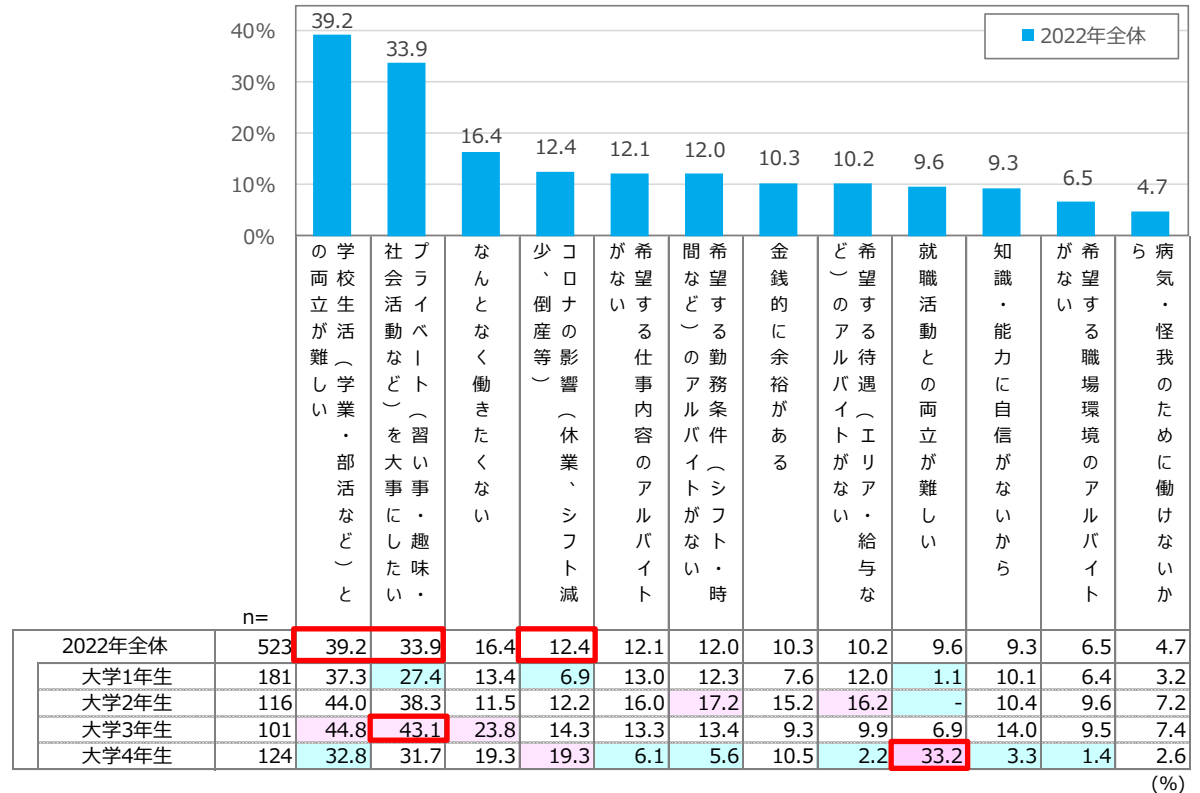
- ◆ 非就業大学生のアルバイトをしていない理由は「学校生活との両立が難しい」が最も高く、次いで「プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい」となり、「コロナの影響（休業、シフト減少、倒産等）」も12.4%いた。
- ◆ 大学3年生で「プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい」が約4割で他の学年より顕著に高くなった。大学3年生が入学した2020年は最も厳しい行動制限が行われており、入学式の延期や休校により、友達づくりやサークル・部活への加入などの学生生活が制限されていたため、プライベートを大事にしたいと考える学生が多いことが影響していると考えられる。
- ◆ 大学4年生で「就職活動との両立が難しい」が最も高くなり、アルバイトをしていない大学4年生のうち3割以上が就活との両立に難しさを感じていたことがわかった。

<学期中のアルバイト就業意向>



- アルバイトをしてみたいと思う
- ややアルバイトをしてみたいと思う
- どちらともいえない
- あまりアルバイトをしてみたいと思わない
- アルバイトをしてみたいと思わない

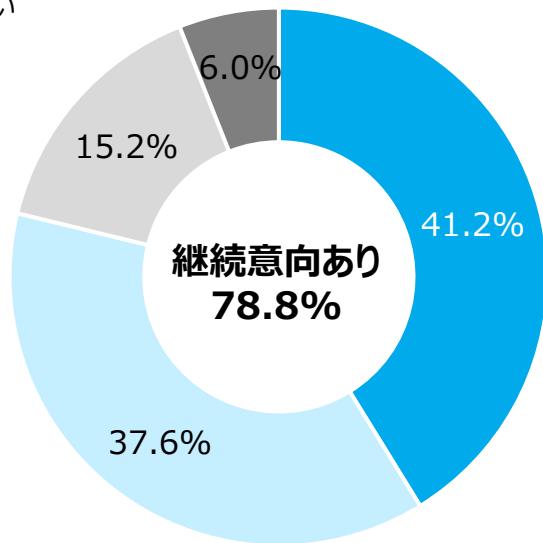
<アルバイトをしていない理由上位>



- ◆ 現在アルバイトをしている大学生の就業継続意向は78.8%と比較的高いことがわかる。
- ◆ 継続意向のある層／ない層で現在の職場への評価を比較すると、「やりがいを感じる」、「学校生活との両立に理解がある」等で差分が大きくなった。

<現在のアルバイト先で長く働きたいと思うか>

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない



<継続意向の有無×現在のアルバイト先の実情>

※差分【あり-なし】上位抜粋

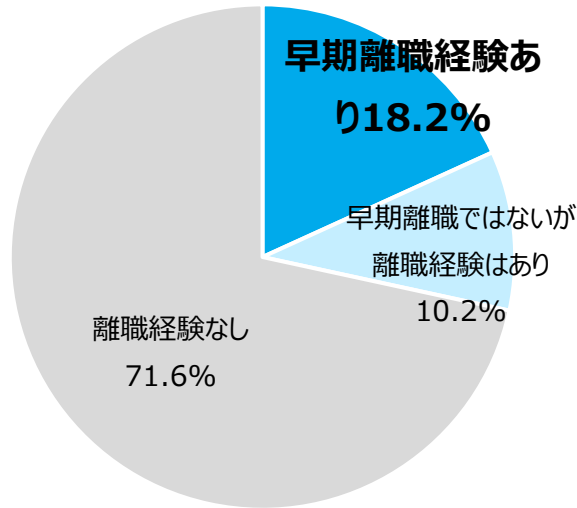
アルバイト
先の実情

	継続意向 あり層	継続意向 なし層	【差分】 あり-なし
1 やりがいを感じる	27.2%	10.0%	+17.2 pt
2 学校生活との両立に理解がある	36.9%	20.7%	+16.2 pt
3 仲間と楽しく仕事ができる	22.8%	9.6%	+13.3 pt
4 シフト・時間の融通がきく	52.7%	39.7%	+13.0 pt
5 職場の雰囲気自分に合っている	20.7%	9.6%	+11.1 pt
6 時給が高い	30.0%	20.8%	+9.3 pt
7 きれいな職場である	16.0%	7.3%	+8.7 pt

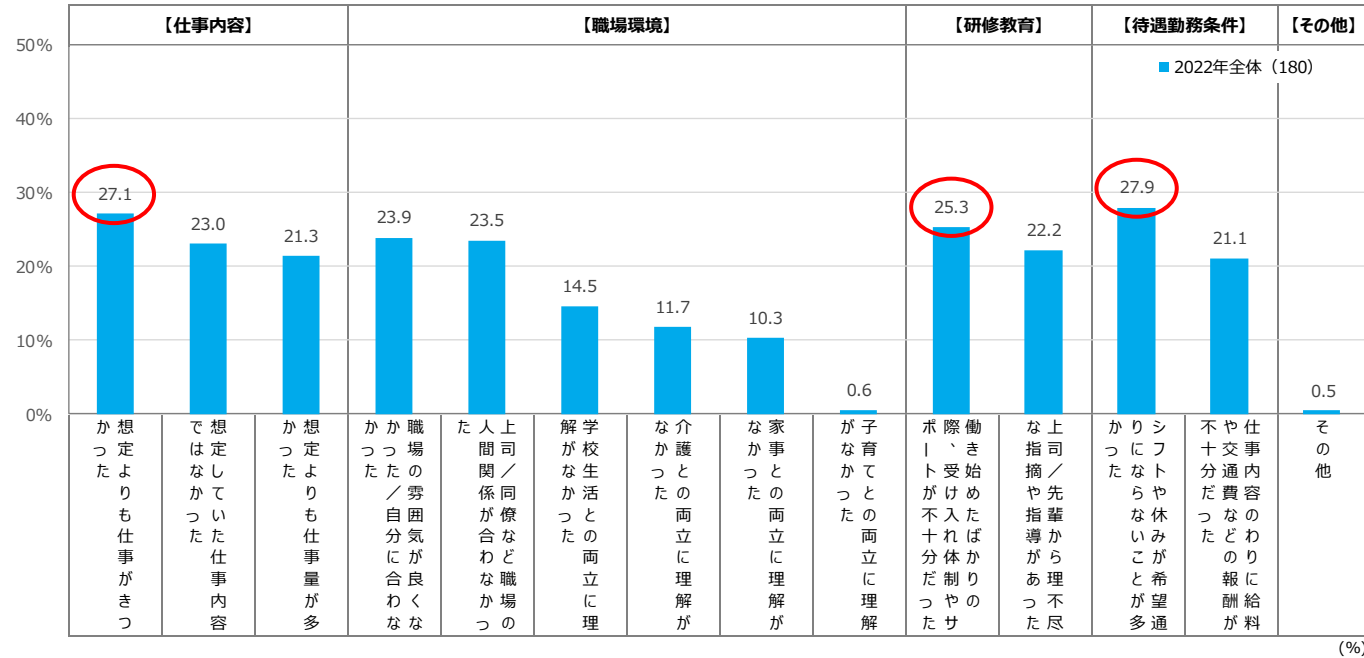
- ◆ 大学生の約3割が離職の経験があり、早期離職の経験がある大学生は18.2%となっている。
- ◆ 早期離職につながる要因としては、「仕事内容」や「シフトや休みの希望が通るか」「サポート体制があるか」などが主にあがっており、早期離職を防ぐには、入社前後のギャップを少なくするために仕事内容の事前の説明を丁寧にするに加えて、シフトや休みの希望を事前に聞くこと、就業してすぐのサポート体制を整えることが重要となりそう。

<早期離職の経験>

※早期離職：（引越し等のやむを得ない状況は含まず）就業当初は長期勤務予定だったアルバイトを一か月以内に辞めることと定義している。



<早期離職の理由>

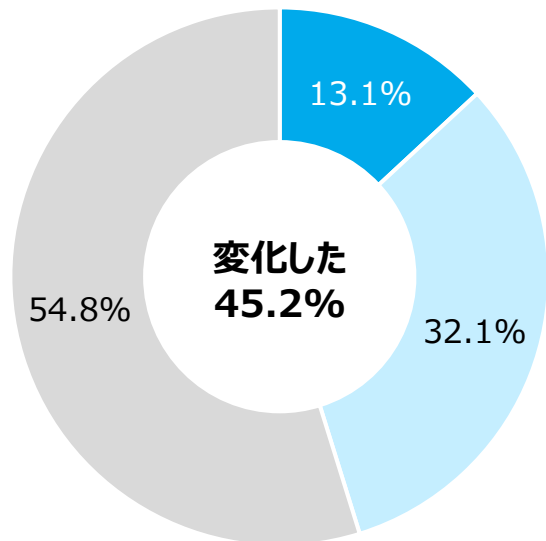


※（ ）内は回答数

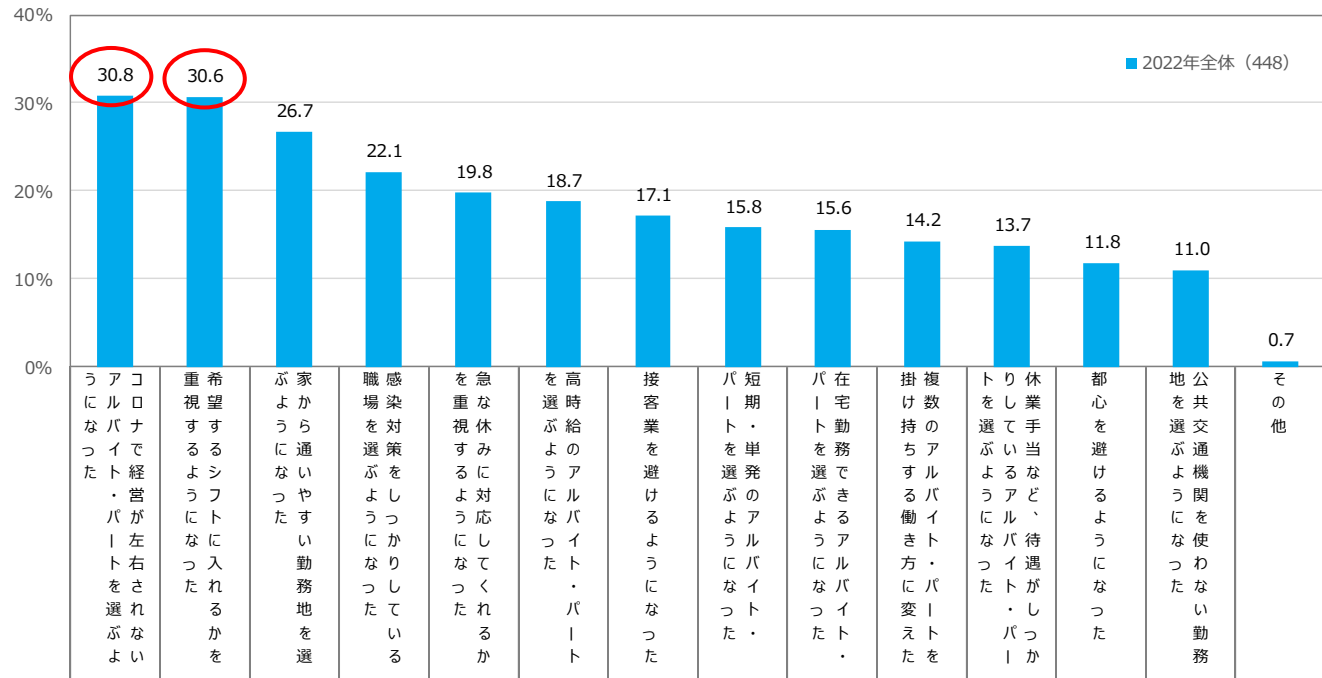
- ◆ コロナ禍で「アルバイト選びの基準が変わった」と回答したのは45.2%であった。
- ◆ 変化した内容では、「コロナで経営が左右されないアルバイト・パートを選ぶようになった」が最も多く、次いで「希望するシフトに入れるかを重視するようになった」となった。現在でも大学生の3割以上は「飲食・フード（接客・調理）」のアルバイトをしており、大学生にとって身近な職種は特にコロナの影響を受けやすい職種であるため、アルバイト選びの基準が変わった割合は約半数となったが、その中でもできる限り通常どりに働けるアルバイトを選ぶよう意識している様子が見えてくる。

<アルバイト選びの基準の変化有無>

■ 大きく変わった ■ 一部変わった ■ 変わらない



<変化した基準の内容>



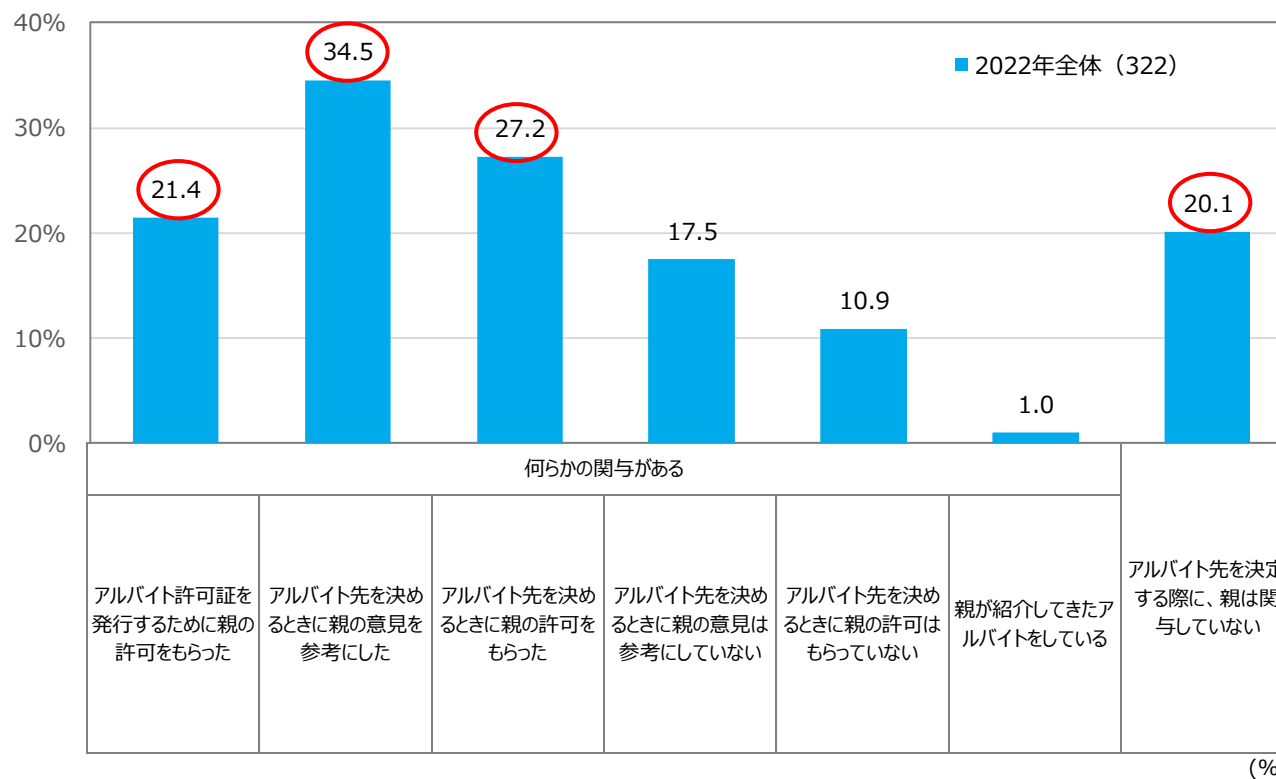
(%)

※ () 内は回答数

- ◆ 20歳未満の大学生にアルバイト選びの際に親の関与があったかを聞いたところ、「アルバイト先を決定する際に、親は関与していない」は20.1%となり、8割ほどの大学生はアルバイト選びの際に親の関与があることがわかった。
- ◆ 親が関与した内容としては、「アルバイト先を決めるときに親の意見を参考にした」が34.5%と最も高く、次いで「アルバイト先を決めるときに親の許可をもらった」が27.2%、「アルバイト許可証を発行するために親の許可をもらった」が21.4%となった。

<アルバイト選びの親の関与>

※ベース：20歳未満の大学生



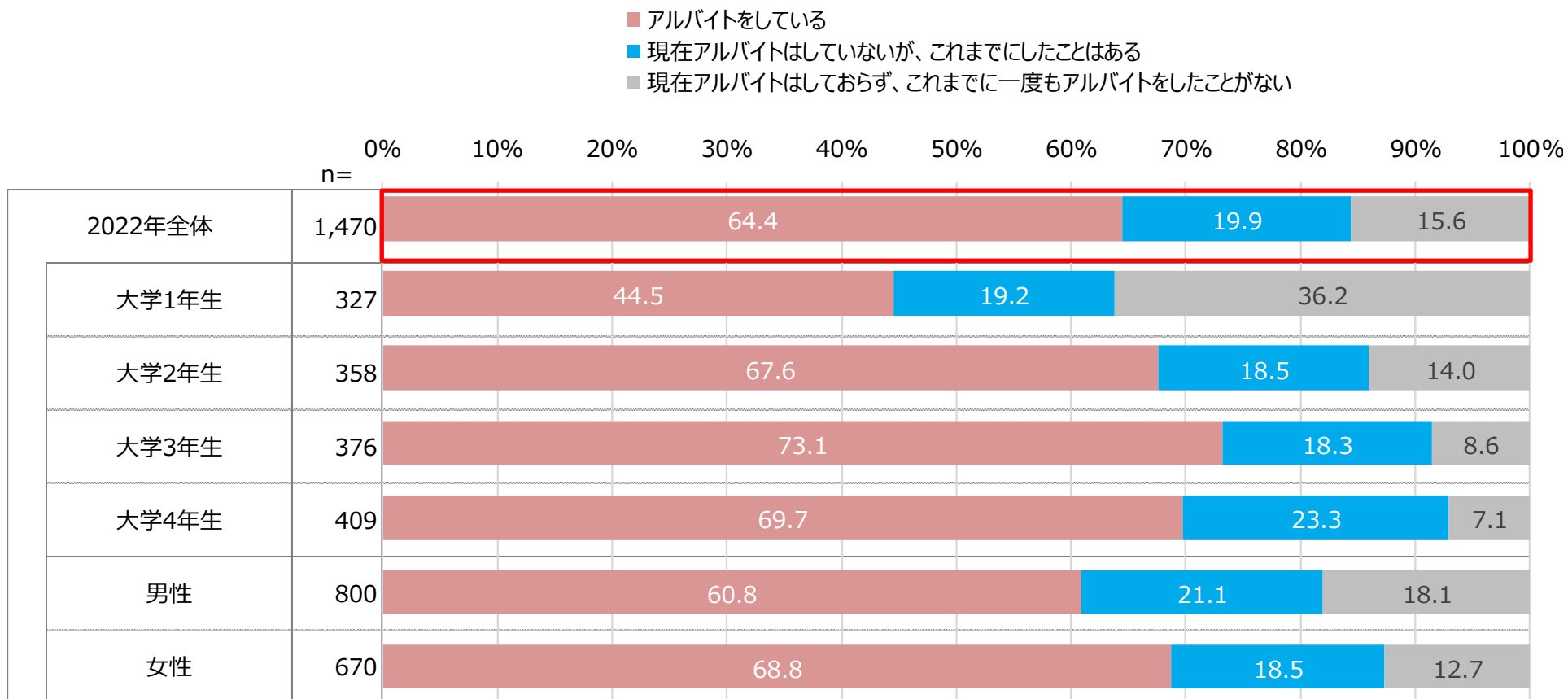
※ () 内は回答数

1. 大学生のアルバイト就業実態

1-1. アルバイト就業状況

◆ 2022年全体では、「現在アルバイト就業中（アルバイトをしている）」は64.4%、「就業経験あり、現在は非就業（現在アルバイトはしていないが、これまでにしたことはある）」は19.9%、「就業経験なし（現在アルバイトはしておらず、これまでに一度もアルバイトをしたことがない）」は15.6%となった。

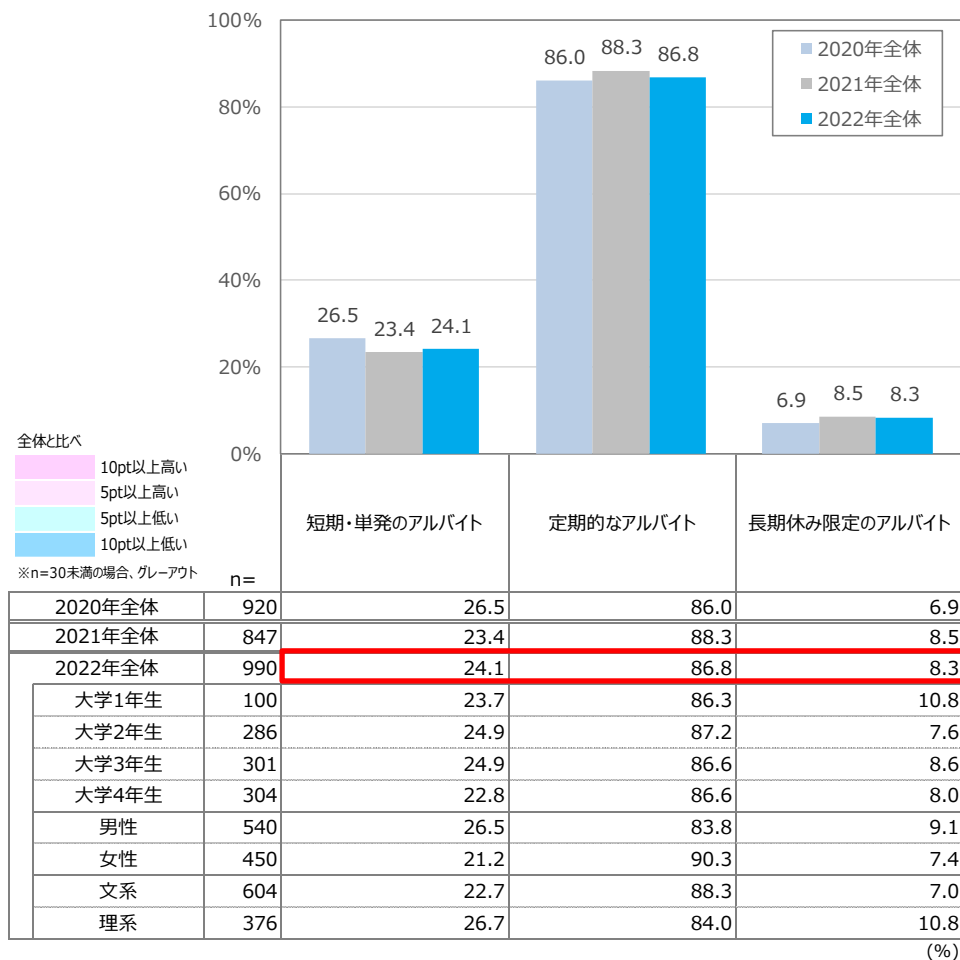
Q あなたは現在アルバイトをしていますか。（単一回答）



1-2. アルバイトの形態

◆ 2022年全体では、「定期的なアルバイト」が86.8%とほとんどを占め、次いで「短期・単発のアルバイト」が24.1%、「長期休み限定のアルバイト」が8.3%となり、前年と同様の傾向。

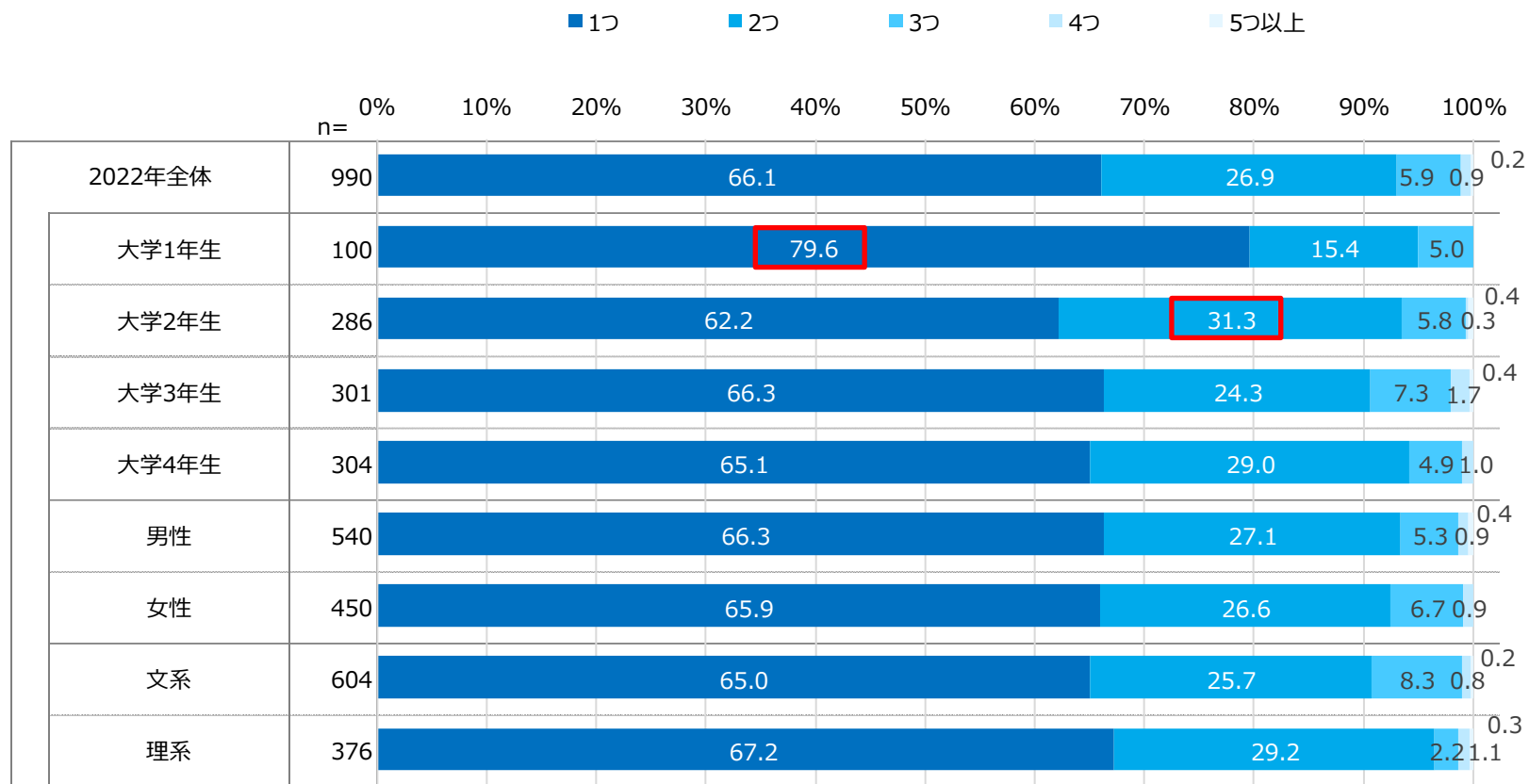
Q あなたが現在しているアルバイトは以下のどの形態に当てはまりますか。複数のアルバイトを掛け持ちしている場合は複数選択してください。（複数回答）



1-3. アルバイトをしている数

- ◆ 2022年全体では、「1つ」が66.1%と最も高く、次いで「2つ」が26.9%、「3つ」が5.9%となった。
- ◆ 2022年全体比では [大学1年生] の「1つ」が全体比+13.5ptと顕著に高く、[大学3年生]の「2つ」が全体比+4.4ptとなった。

Q あなたは現在いくつのアルバイトをしていますか。(単一回答)

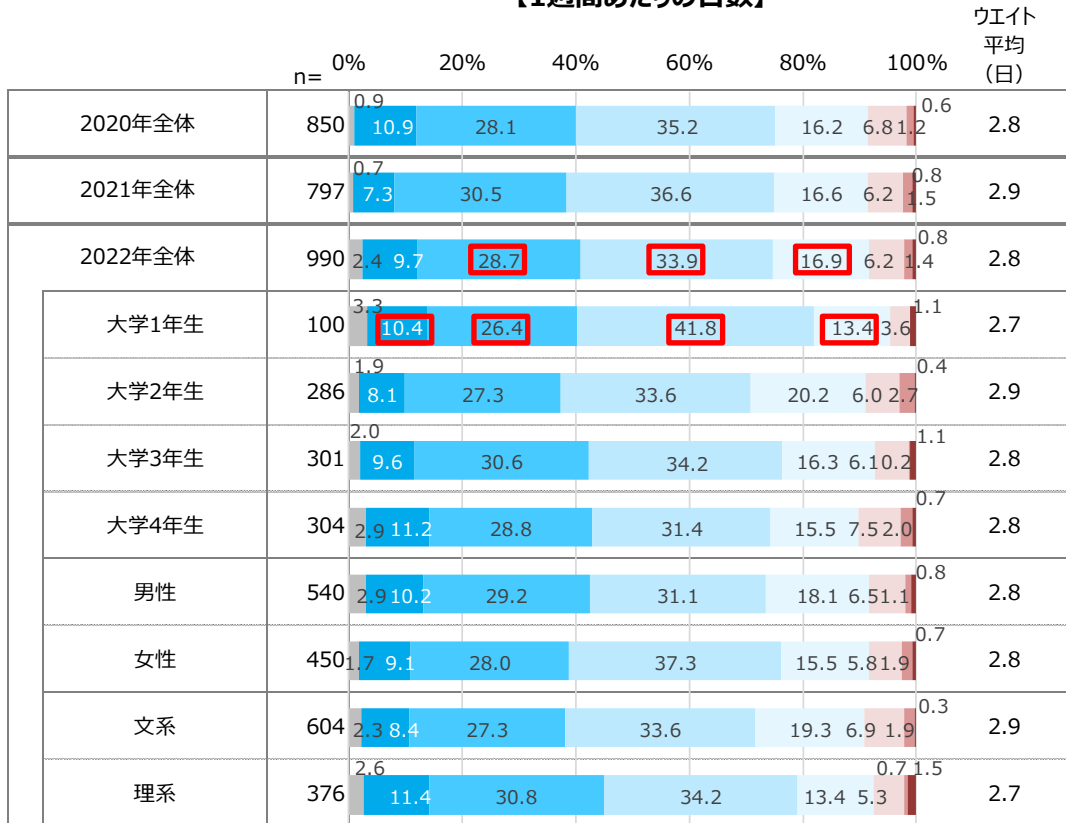


1-4. 1週間あたりの平均アルバイト日数（実態／希望）

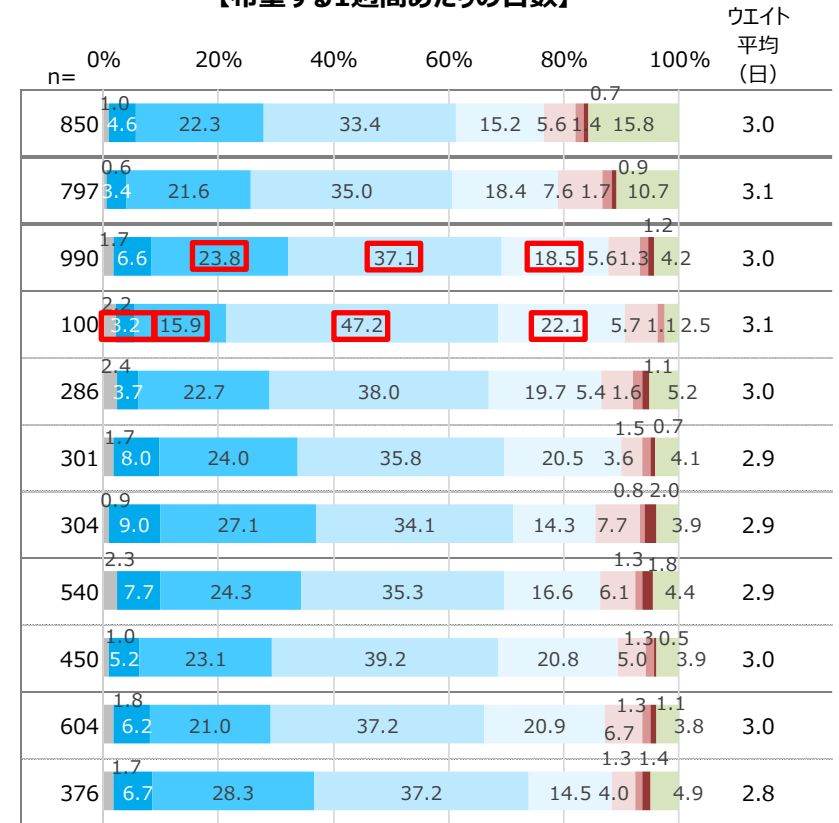
- ◆ 1週間あたりのアルバイト日数を2022年全体でみると、「3日」が33.9%と最も高く、次いで「2日」が28.7%、「4日」が16.9%となった。
- ◆ 希望する1週間あたりのアルバイト日数を2022年全体でみると、「3日」が37.1%と最も高く、次いで「2日」が23.8%、「4日」が18.5%となった。
- ◆ [大学1年生] では、実態と比べて希望する1週間あたりの日数は「1日」「2日」が低く、「3日」「4日」が高くなり、希望するアルバイト日数が多い傾向。

Q 1週間の平均的なアルバイト日数、および希望する1週間あたりのアルバイト日数をお答えください。（単一回答）

【1週間あたりの日数】



【希望する1週間あたりの日数】

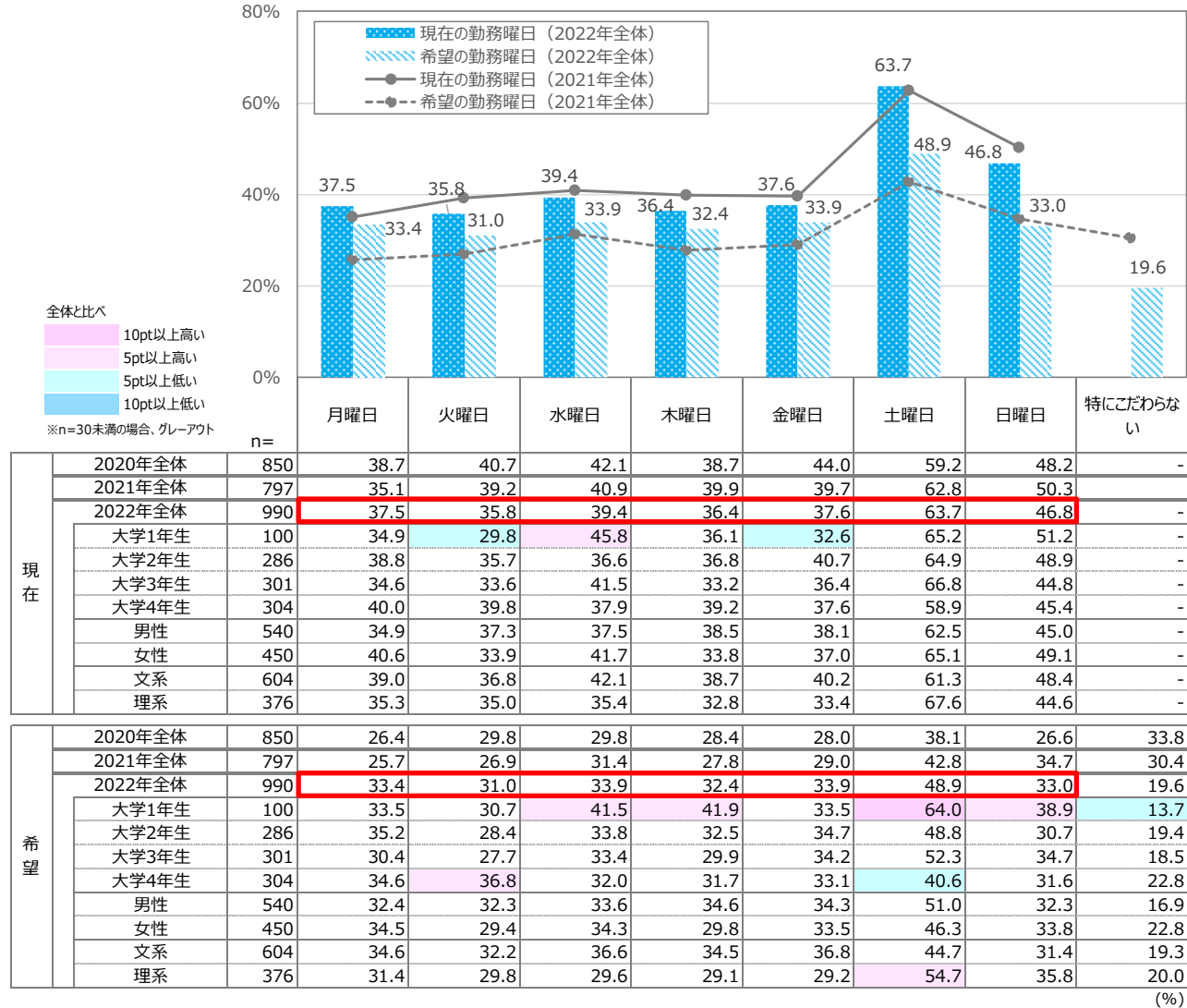


■ 0日 ■ 1日 ■ 2日 ■ 3日 ■ 4日 ■ 5日 ■ 6日 ■ 7日 ■ 特にごだわらない

1-5. アルバイトをしている曜日（実態／希望）

- ◆ 現在のアルバイト曜日を2022年全体でみると、「平日」は4割前後、「土曜日」が6割強で最多、「日曜日」が約5割となった。
- ◆ 希望のアルバイト曜日を2022年全体でみると、「平日」「日曜日」は3割前後、「土曜日」が約5割で最も高い。

Q アルバイトをしている曜日、およびアルバイトを希望する曜日をお答えください。 ※固定シフトでない方は、アルバイトをしていることが多い曜日をお答えください。（複数回答）



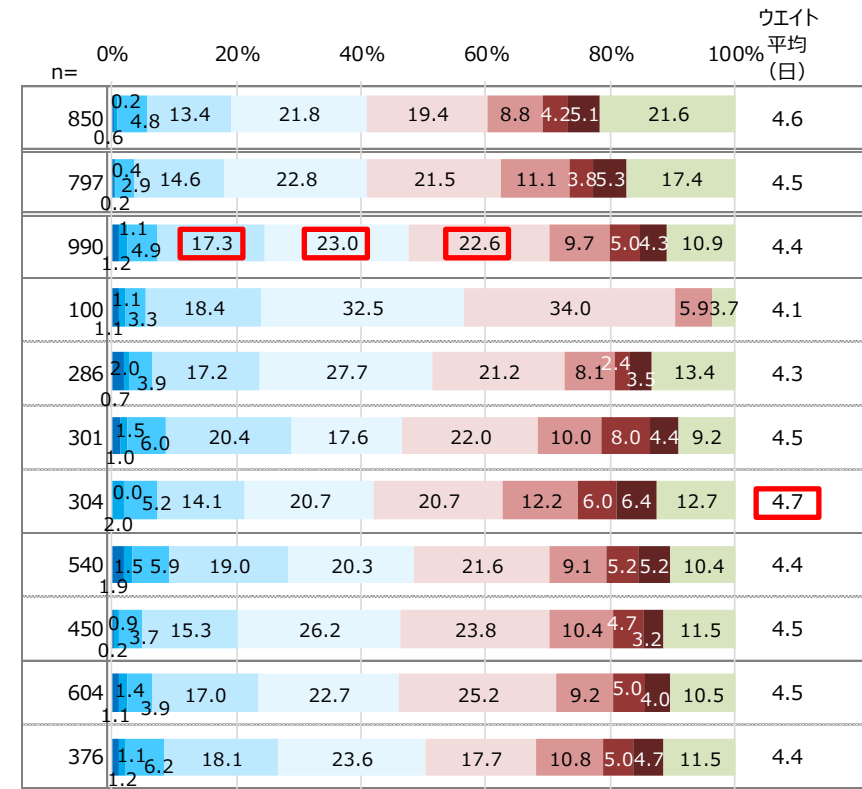
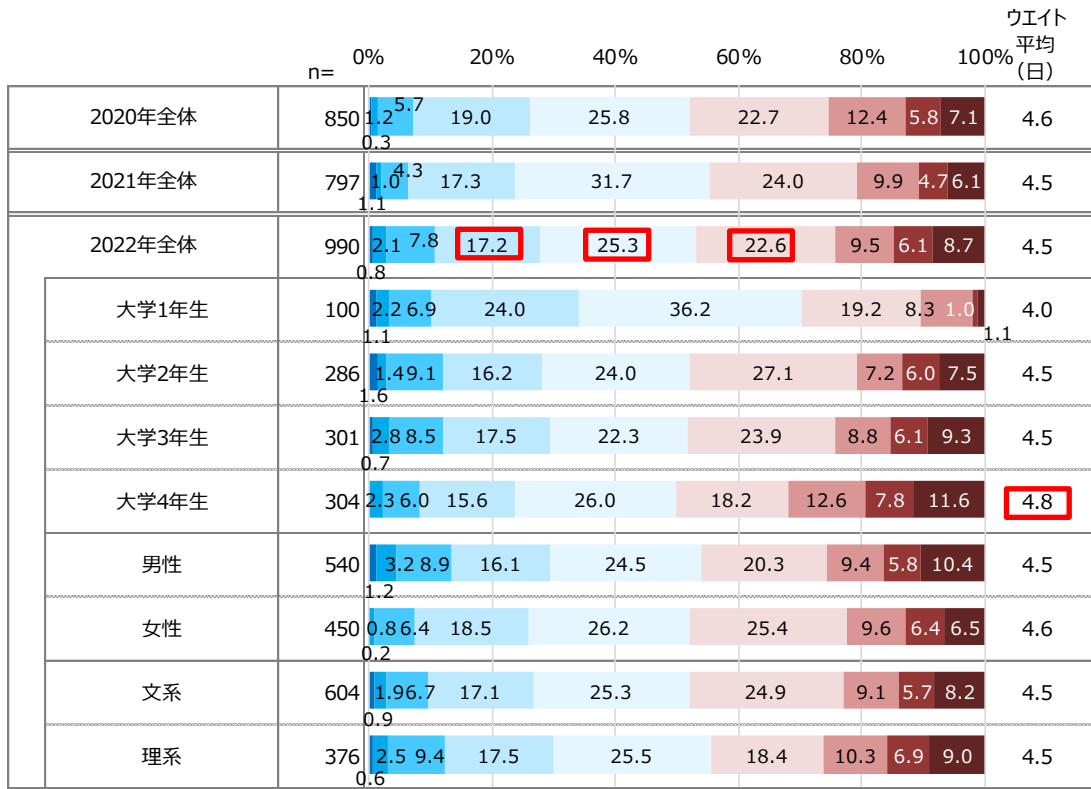
1-6. 1日あたりの平均アルバイト時間（実態／希望）

- ◆ 1日あたりのアルバイト勤務時間を2022年全体でみると、「4時間程度」が25.3%と最も高く、次いで「5時間程度」が22.6%、「3時間程度」が17.2%となった。
- ◆ 希望する1日あたりのアルバイト勤務時間を2022年全体でみると、「4時間程度」が23.0%と最も高く、次いで「5時間程度」が22.6%、「3時間程度」が17.3%となった。
- ◆ 実態と希望は概ね同様の分布となっている。
- ◆ 実態と希望の平均勤務時間は大学4年生で最も長くなった。

Q 1日あたりの平均的な勤務時間、および希望する1日あたりの勤務時間をお答えください。 ※固定シフトでない方も、最も勤務することが多い時間をお答えください。（単一回答）

【1日あたりの勤務時間】

【希望する1日あたりの勤務時間】

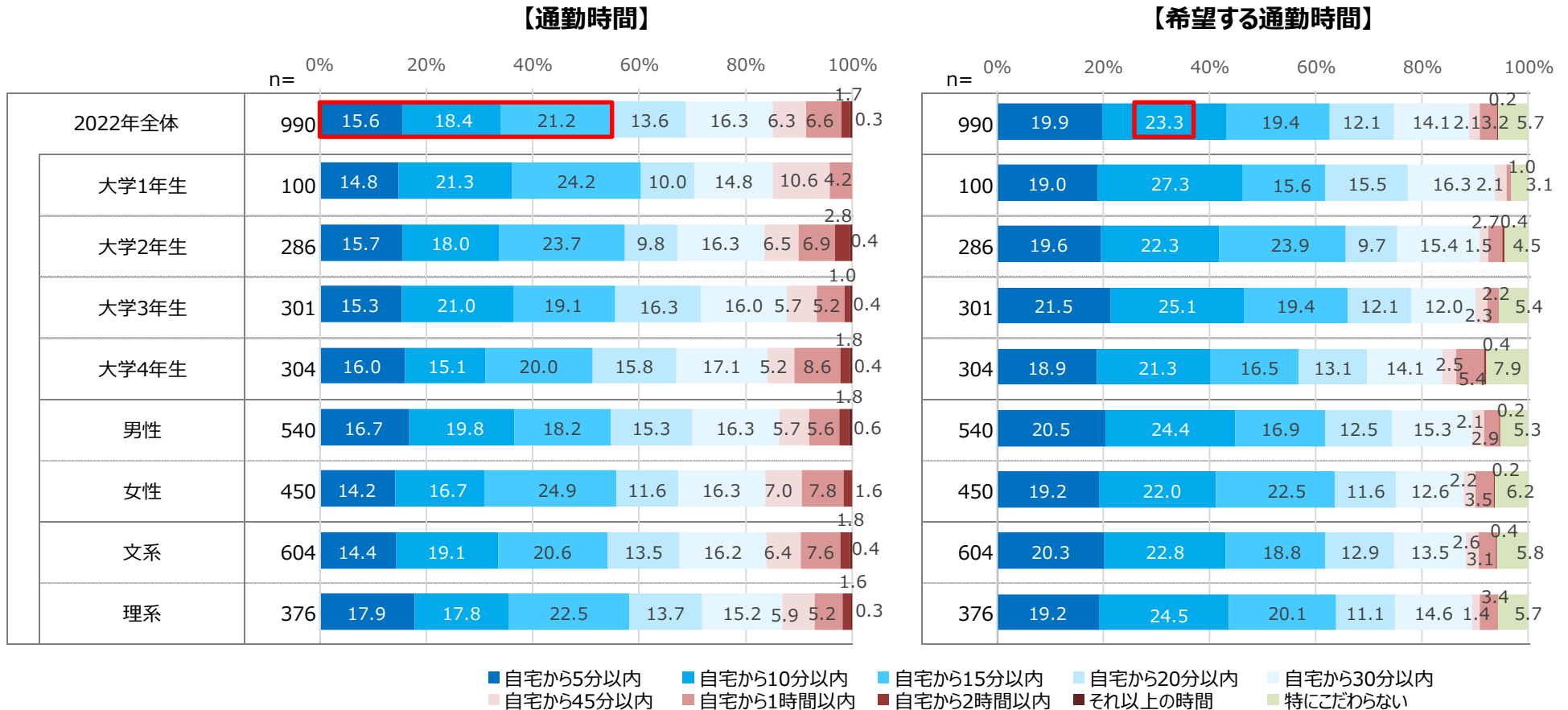


■ 1時間未満(0.5) ■ 1時間程度(1) ■ 2時間程度(2) ■ 3時間程度(3) ■ 4時間程度(4) ※ () 内は ウエイト
■ 5時間程度(5) ■ 6時間程度(6) ■ 7時間程度(7) ■ 8時間以上(8) ■ 特にごだわらない

1-7. アルバイト先への通勤時間（実態／希望）

- ◆ 現在のアルバイト先への通勤時間を2022年全体で見ると、「自宅から15分以内」が21.2%と最も高く、それ以下の通勤時間を含めるとおよそ半数となる。
- ◆ 希望するアルバイト先への勤務時間を2022年全体で見ると、「自宅から10分以内」が23.3%と最も高くなっており、実態より通勤時間が短いアルバイト先の希望が多くなっている。

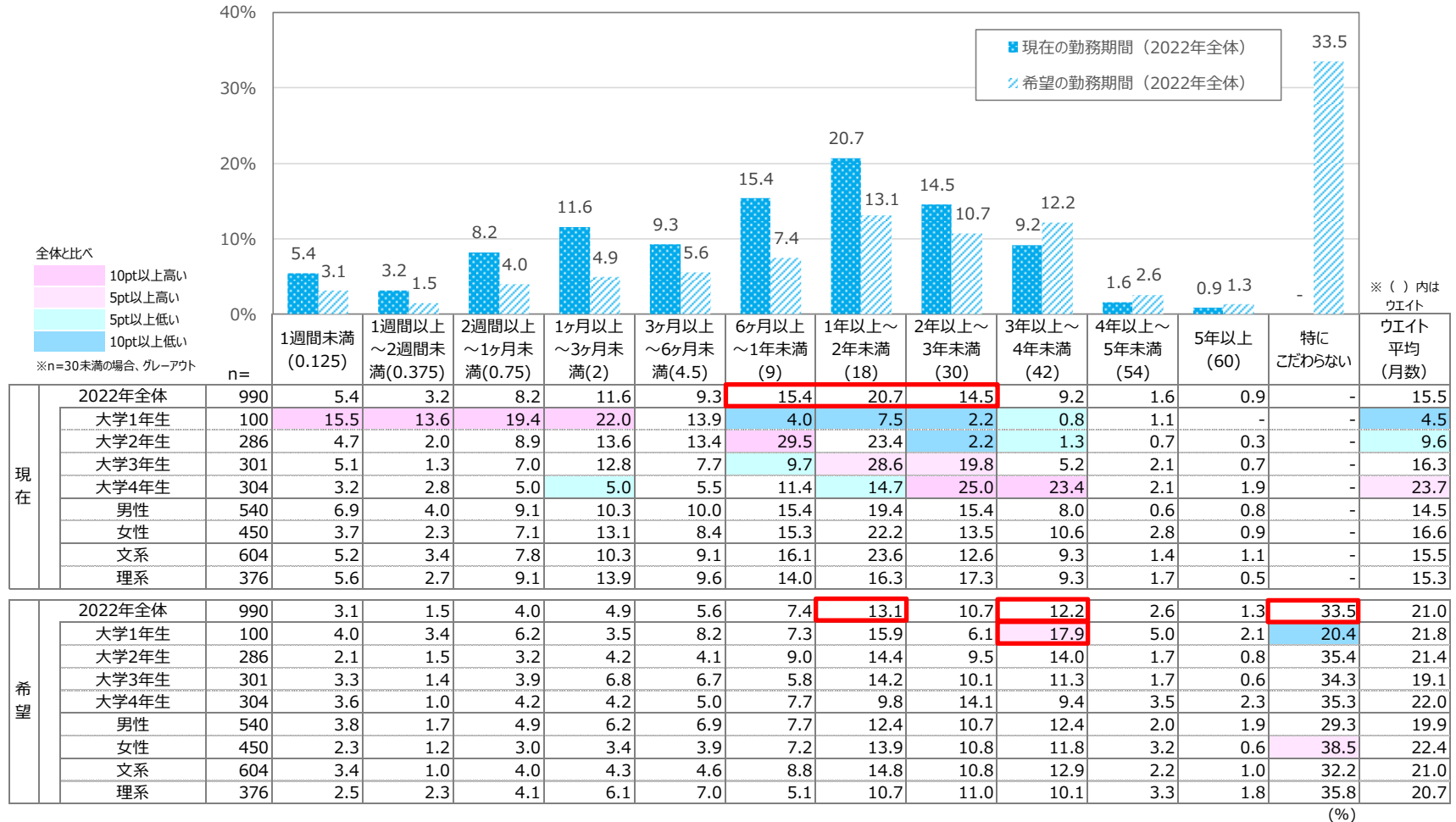
Q 自宅からアルバイト先への通勤時間、および希望する通勤時間をお答えください。（単一回答）



1-8. アルバイトの勤務期間（実態/希望）

- ◆ 現在のアルバイトの勤務期間を2022年全体でみると、「1年以上～2年未満」が20.7%と最も高く、次いで「6か月以上～1年未満」が15.4、「2年以上～3年未満」が14.5%となった。
- ◆ 希望するアルバイトの勤務期間を2022年全体でみると、「特にこだわらない」が33.5%と最も高く、次いで「1年以上～2年未満」が13.1%、「3年以上～4年未満」が12.2%となった。
- ◆ 学年別では「大学1年生」で「3年以上～4年未満」が17.9%と全体より10pt以上高くなり、長くアルバイトを続けたいと思っている傾向にある。

Q アルバイトの勤務期間、および希望する勤務期間をお答えください。（単一回答）

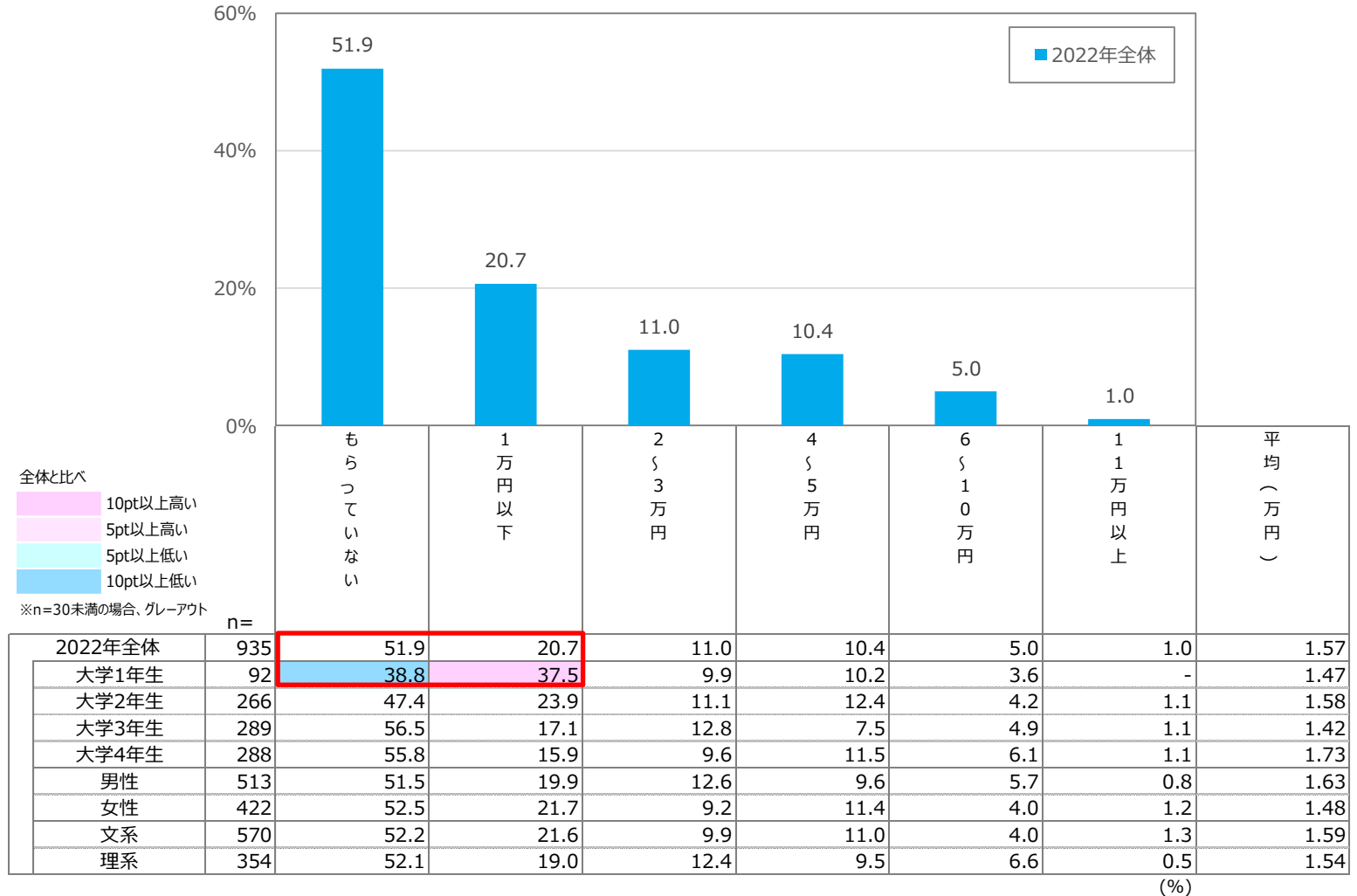


(%)

1-9. 1か月あたりのお小遣いの金額

- ◆ 1か月あたりのお小遣いを2022年全体で見ると、「もらっていない」が51.9%と最も高く半数を占め、次いで「1万円以下」が20.7%となった。
- ◆ 学年別では、[大学1年生]で「もらっていない」が全体より10pt以上低く、「1万円以下」が全体より10pt以上高くなった。

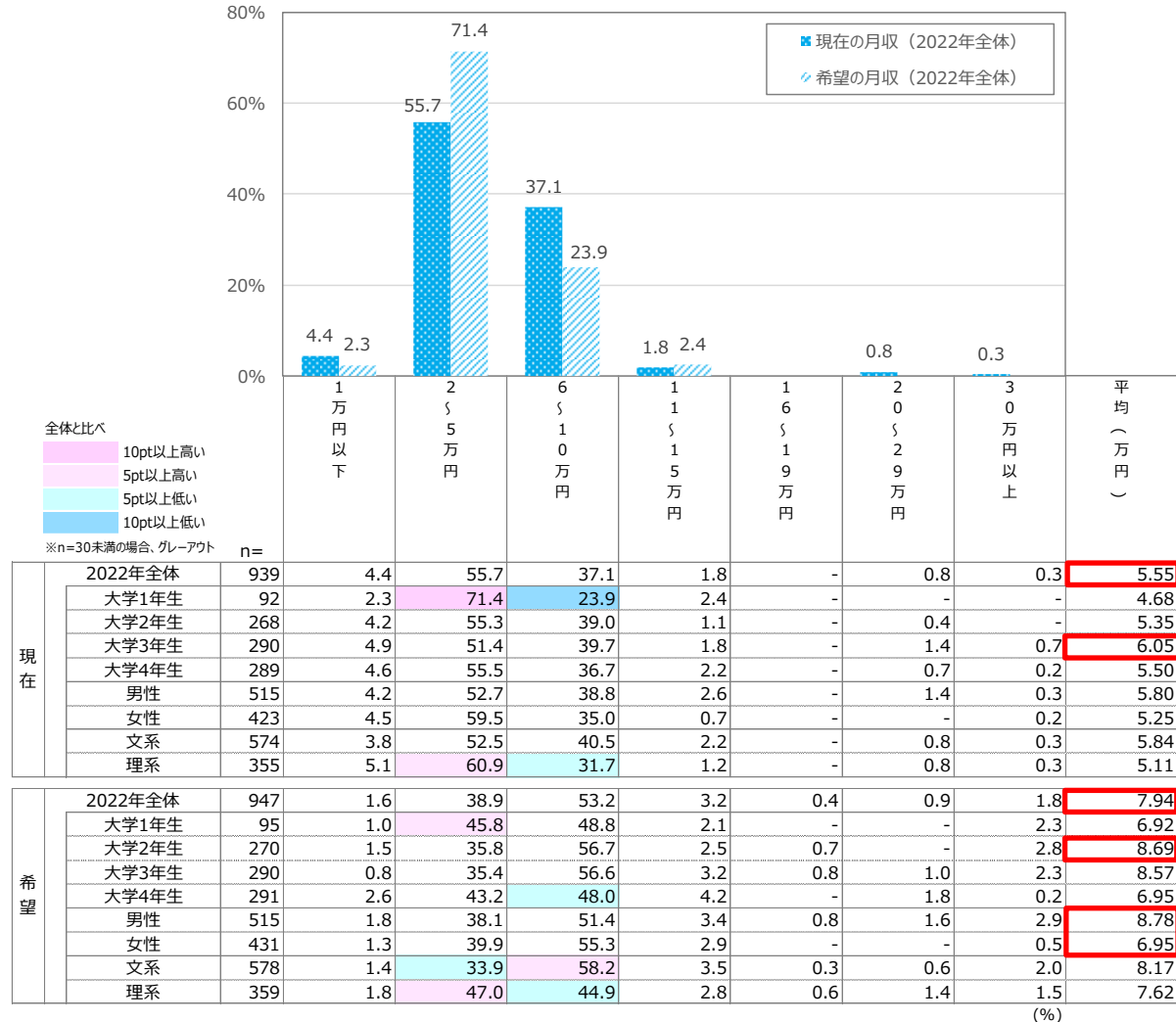
Q あなたの一か月あたりの平均的な親などからのお小遣いの金額をお答えください。(単一回答)



1-10. 1か月あたりのアルバイトの収入（実態／希望）

- ◆ 2022年全体では、現在の1か月あたりのアルバイトの収入平均は5.55万円、希望するアルバイトの収入平均は7.94万円となり、実態よりも2.22万円希望の金額が多い。
- ◆ 学年別では、現在の1か月あたりのアルバイトの収入平均は【大学3年生】が6.05万円と最も高く、希望するアルバイトの収入平均は【大学2年生】が8.69万円と最も高くなった。
- ◆ 性別では、実態は男女で概ね同様の金額だったが、希望するアルバイトの収入平均では【男性】は8.78万円、【女性】は6.95万円と男性の方が女性より希望する金額が多くなった。

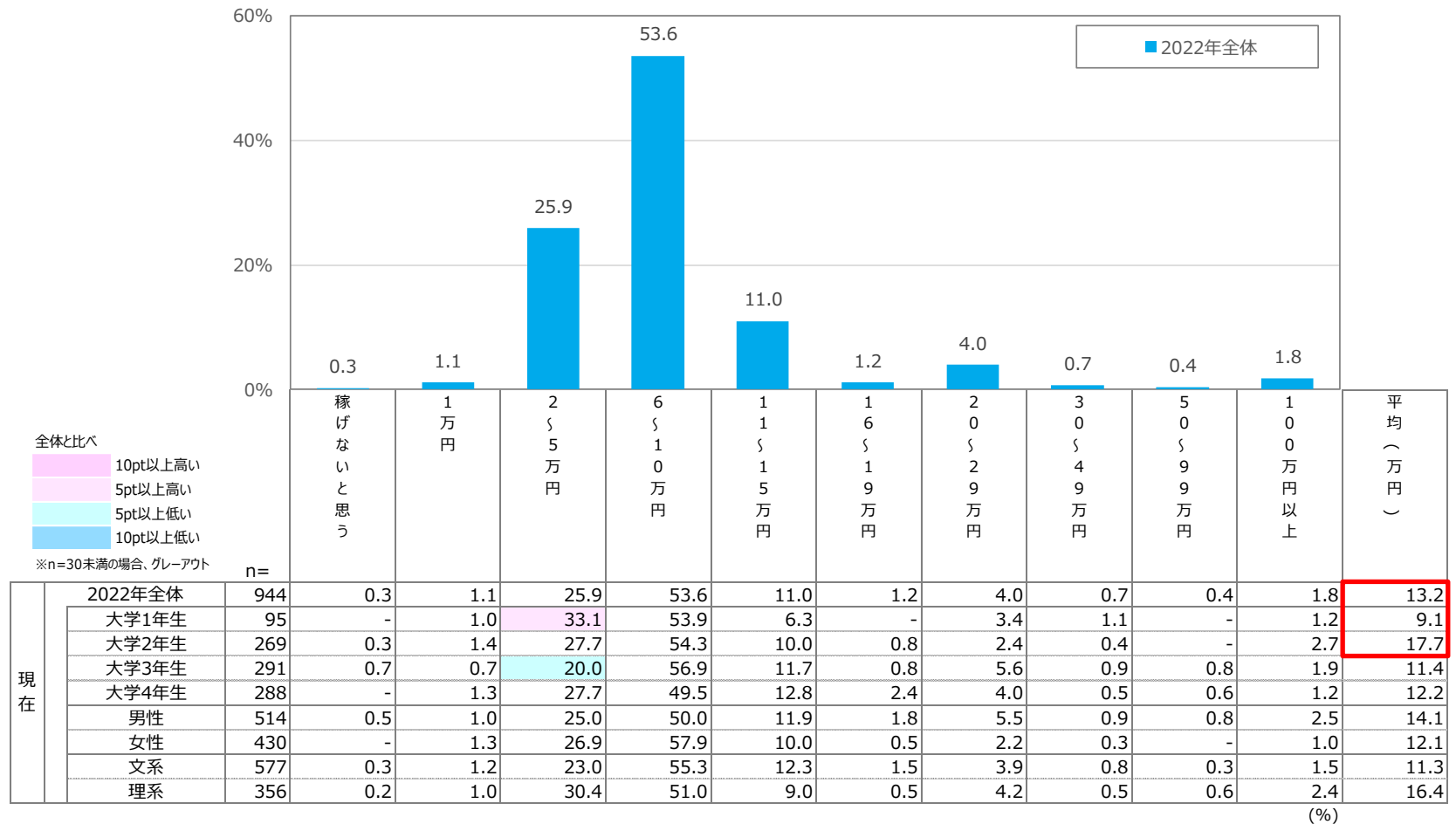
Q あなたの一か月あたりの平均的なアルバイトの収入をお答えください。※額面でなく、手取り（実際の振込額など）でお答えください。（単一回答）



1-11. 1か月あたりの自分の能力で最大限稼げると思う収入

- ◆ 2022年全体では、1か月あたりの自分の能力で最大限稼げると思う収入平均は13.2万円となり、1か月あたりの希望収入平均より5.26万円多くなった。
- ◆ 学年別では、1か月あたりの自分の能力で最大限稼げると思う収入平均は[大学2年生]が17.7万円と最も高く、[大学1年生]が9.1万円と最も低くなった。

Q あなたの一か月あたりの平均的な自分の能力で最大限これくらい稼げると思う収入をお答えください。(単一回答)

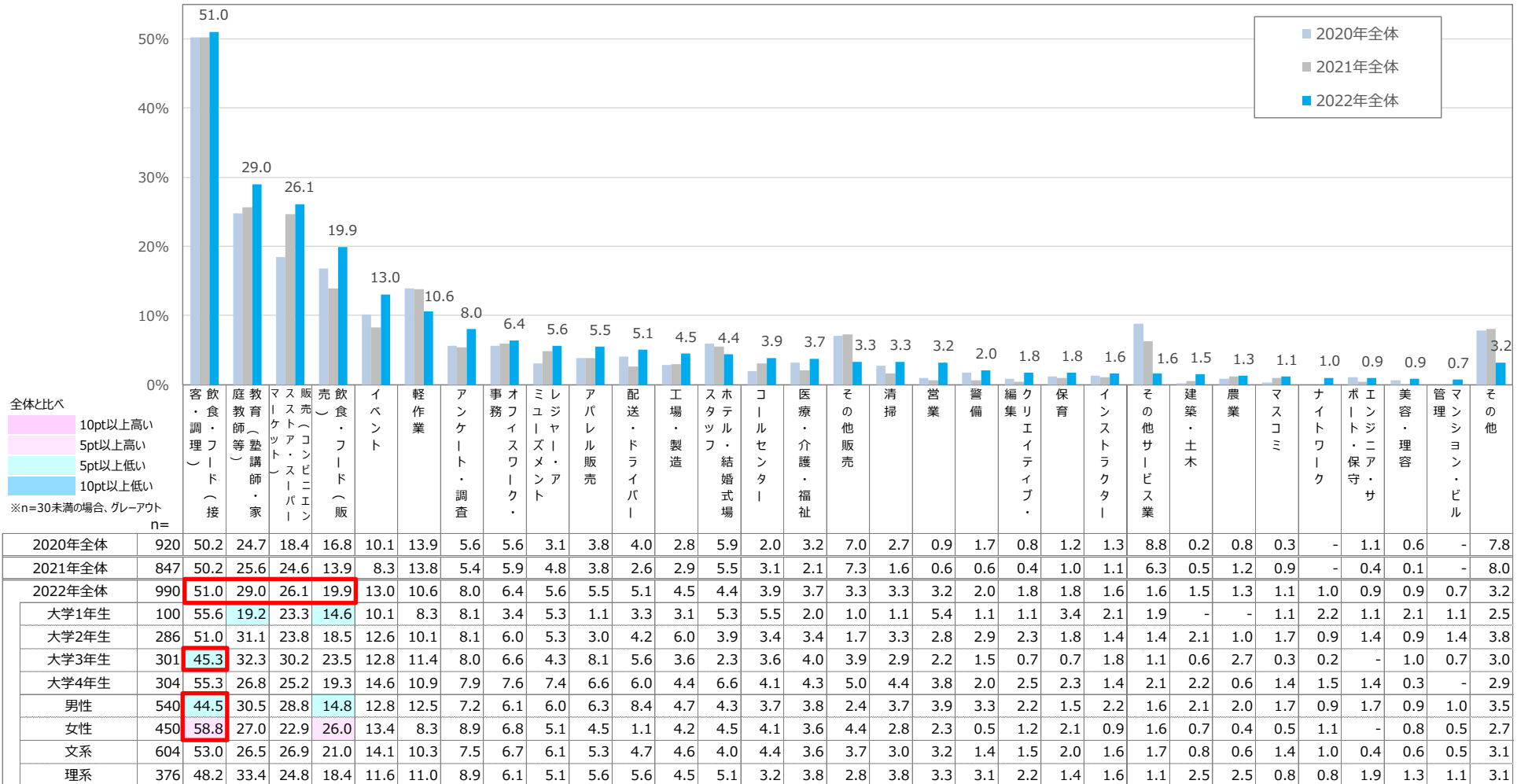


1-12. 経験のあるアルバイトの職種

- ◆ 経験のあるアルバイトの職種を2022年全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」が51.0%と最も高く半数を占め、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が29.0%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が26.1%、「飲食・フード（販売）」が19.9%となった。
- ◆ 「飲食・フード（接客・調理）」は学年別では「大学3年生」が45.3%と全体より5pt以上低く、2020年の入学した時期に緊急事態宣言や休校などの行動制限が行われていたことが影響していると考えられる。
- ◆ 「飲食・フード（接客・調理）」は性別では「女性」が58.8%、「男性」が44.5%と女性の経験比率が男性より高い。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【今まで経験のある職種】（複数回答）

※2022年全体のスコアで降順ソート

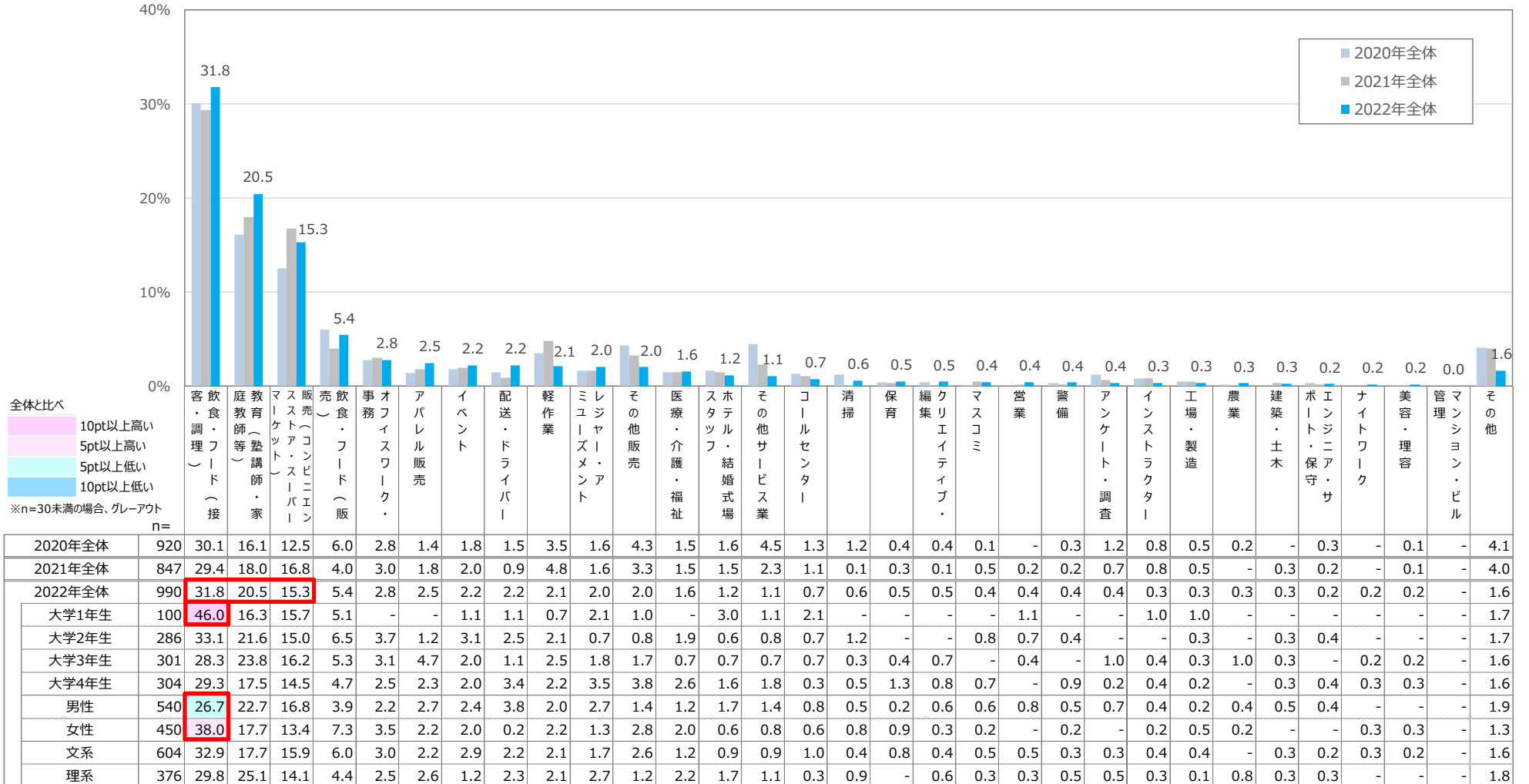


1-13. 現在のアルバイトの職種

- ◆ 現在のアルバイトの職種を2022年全体で見ると、「飲食・フード（接客・調理）」が31.8%と最も高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が20.5%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が15.3%となった。
- ◆ 「飲食・フード（接客・調理）」は【大学1年生】で従事している割合が特に多く、約半数となった。また、【男性】より【女性】比率のほうが高い。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【現在の職種（複数ある場合メインのものひとつ）】（単一回答）

※2022年全体のスコアで降順ソート

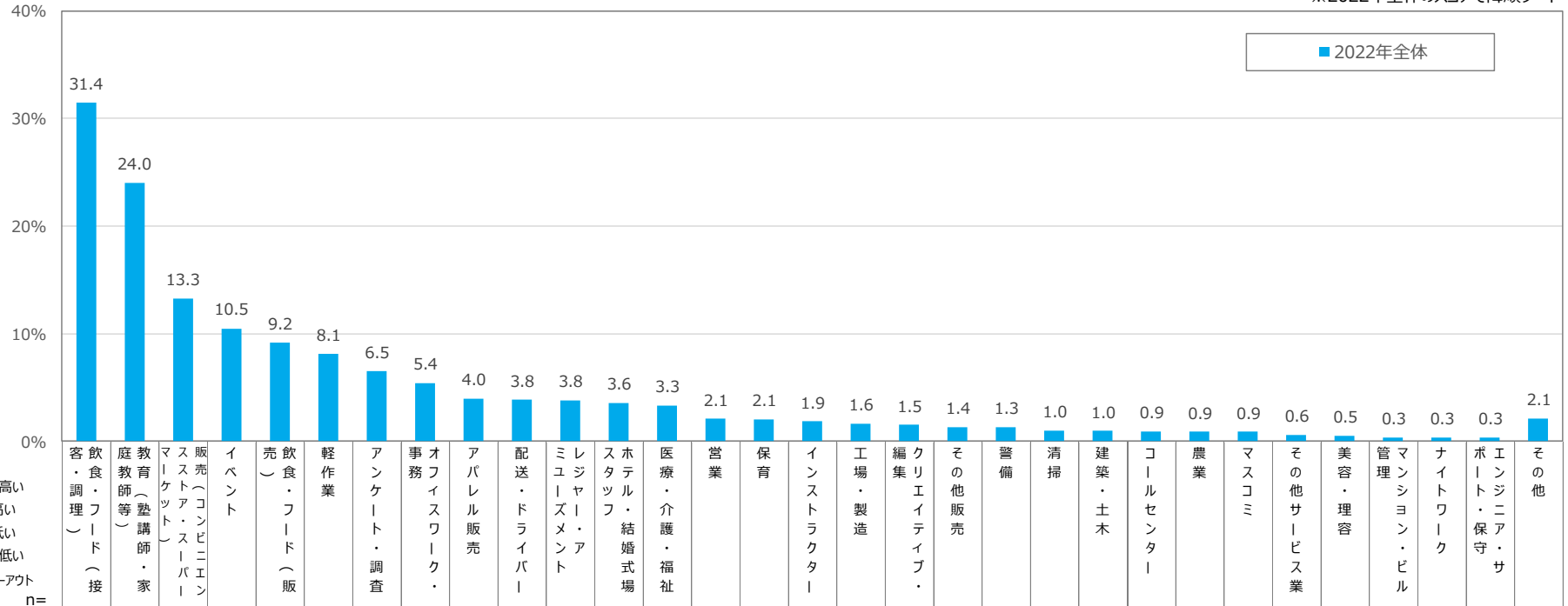


1-14. 副業／掛け持ちのアルバイトの職種

- ◆ 現在の掛け持ちのアルバイト（主なアルバイト以外のアルバイト）の職種を2022年全体で見ると、「飲食・フード（接客・調理）」が31.4%と最も高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が24.0%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が13.3%、「イベント」が10.5%となった。
- ◆ 2022年全体比では【大学2年生】 【女性】の「飲食・フード（接客・調理）」が全体より5pt以上高くなった。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【現在の副業（掛け持ち）の職種】（複数回答）

※2022年全体のスコアで降順ソート



全体と比べ
 10pt以上高い
 5pt以上高い
 5pt以上低い
 10pt以上低い
 ※n=30未満の場合、グレーアウト

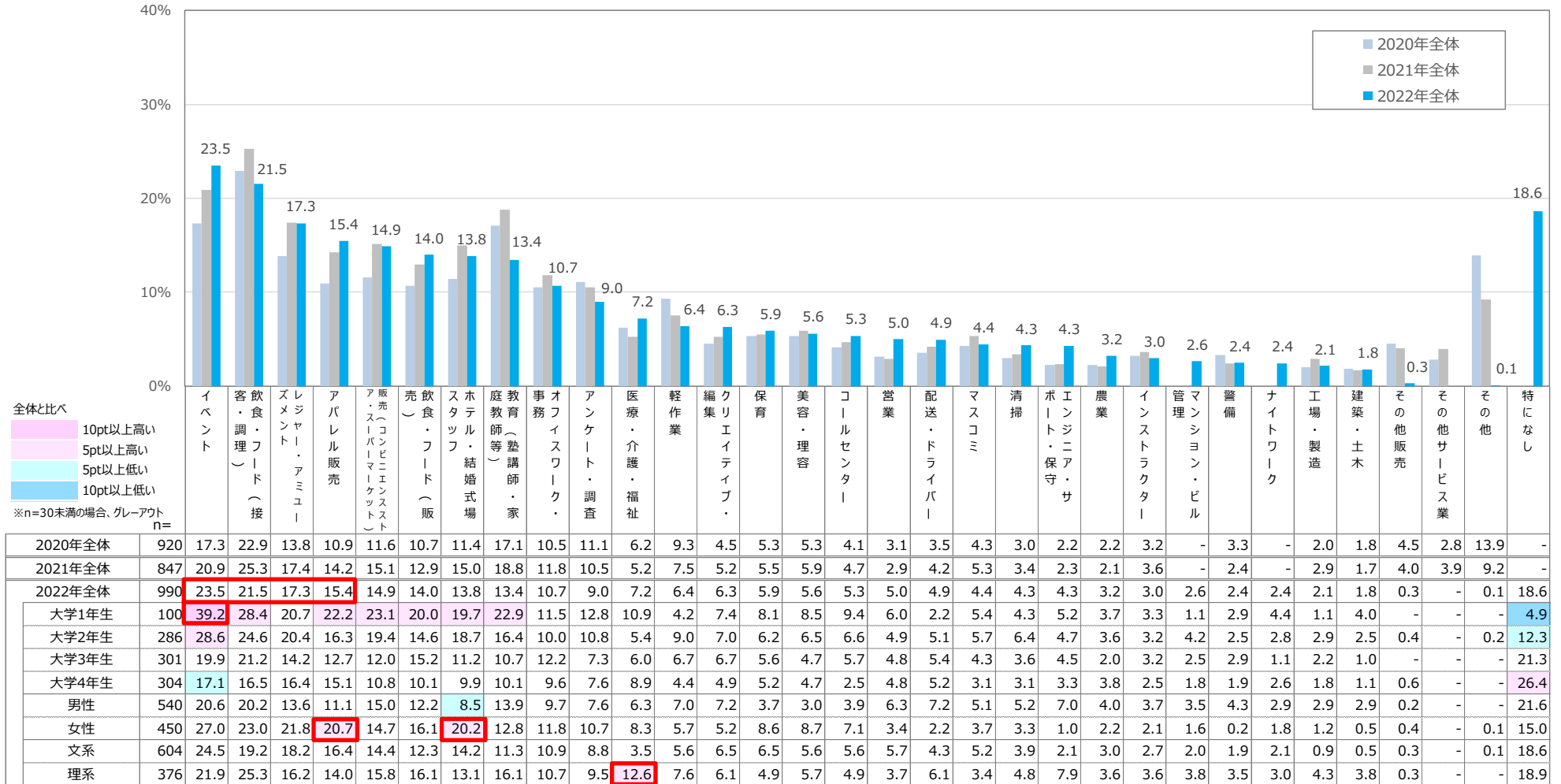
	n=	2022年全体	336	31.4	24.0	13.3	10.5	9.2	8.1	6.5	5.4	4.0	3.8	3.8	3.6	3.3	2.1	2.1	1.9	1.6	1.5	1.4	1.3	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.6	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	2.1
2022年全体	336	31.4	24.0	13.3	10.5	9.2	8.1	6.5	5.4	4.0	3.8	3.8	3.6	3.3	2.1	2.1	1.9	1.6	1.5	1.4	1.3	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.6	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	2.1		
大学1年生	20	34.9	13.9	31.2	13.3	21.7	5.5	10.8	5.5	5.4	11.0	11.0	5.5	-	16.5	10.9	5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	-	5.5	5.5	5.5	-	4.0	
大学2年生	108	38.0	27.3	10.2	7.7	9.0	7.6	5.5	3.4	1.3	2.7	4.1	2.8	1.7	0.7	1.2	0.9	1.8	2.7	-	2.0	2.0	2.0	2.0	0.7	0.9	0.7	-	-	-	-	-	1.0	1.8	
大学3年生	101	27.3	21.4	14.1	12.2	9.9	9.8	8.3	5.1	8.5	2.7	3.2	3.1	4.4	1.0	1.0	2.2	2.8	-	0.7	2.2	2.2	2.2	1.0	1.1	1.9	-	1.0	0.5	-	-	-	-	3.3	
大学4年生	106	28.1	25.1	12.1	11.1	6.2	7.5	5.0	7.8	2.1	4.7	2.7	4.5	4.6	1.7	2.3	1.8	0.6	2.1	3.6	-	-	-	-	-	-	2.1	1.0	-	-	-	-	-	0.9	
男性	182	26.9	25.4	18.1	8.5	8.6	8.7	4.7	5.0	4.8	6.0	5.3	3.0	2.7	2.3	1.7	2.3	1.4	1.6	0.8	1.9	1.8	1.8	0.6	1.6	1.1	1.6	-	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	2.3	
女性	153	36.8	22.3	7.6	12.9	9.8	7.4	8.7	6.0	3.1	1.3	2.0	4.3	4.1	1.9	2.5	1.3	1.8	1.4	2.0	0.7	-	1.4	-	0.7	-	1.4	0.3	-	-	-	-	-	1.9	
文系	211	33.0	22.6	12.9	11.1	9.5	9.3	8.0	5.9	4.3	3.5	3.0	2.0	2.4	2.2	2.5	2.0	1.7	0.9	2.2	0.5	0.5	0.5	0.9	0.4	1.4	1.0	0.8	0.5	0.5	-	-	-	1.9	
理系	123	29.0	26.7	13.9	9.5	7.8	6.1	4.0	4.8	3.5	4.5	5.1	6.2	5.0	2.0	1.3	1.6	1.5	2.6	-	2.7	1.8	1.8	0.9	1.7	-	-	-	-	-	-	0.9	2.5		

1-15. やってみたいアルバイトの職種

- ◆ やってみたい職種を2022年全体で見ると、「イベント」が23.5%と最も高く、次いで「飲食・フード（接客・調理）」が21.5%、「レジャー・アミューズメント」が17.3%、「アパレル販売」が15.4%となった。
- ◆ 学年別では「大学1年生」の「イベント」が39.2%と全体より10pt以上高くなった。
- ◆ 性別では「女性」の「アパレル販売」「ホテル・結婚式場スタッフ」が全体より5pt以上高くなった。
- ◆ 文理では「理系」の「医療・介護・福祉」が全体より5pt以上高くなった。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【やってみたい職種】（複数回答）

※2022年全体のスコアで降順ソート

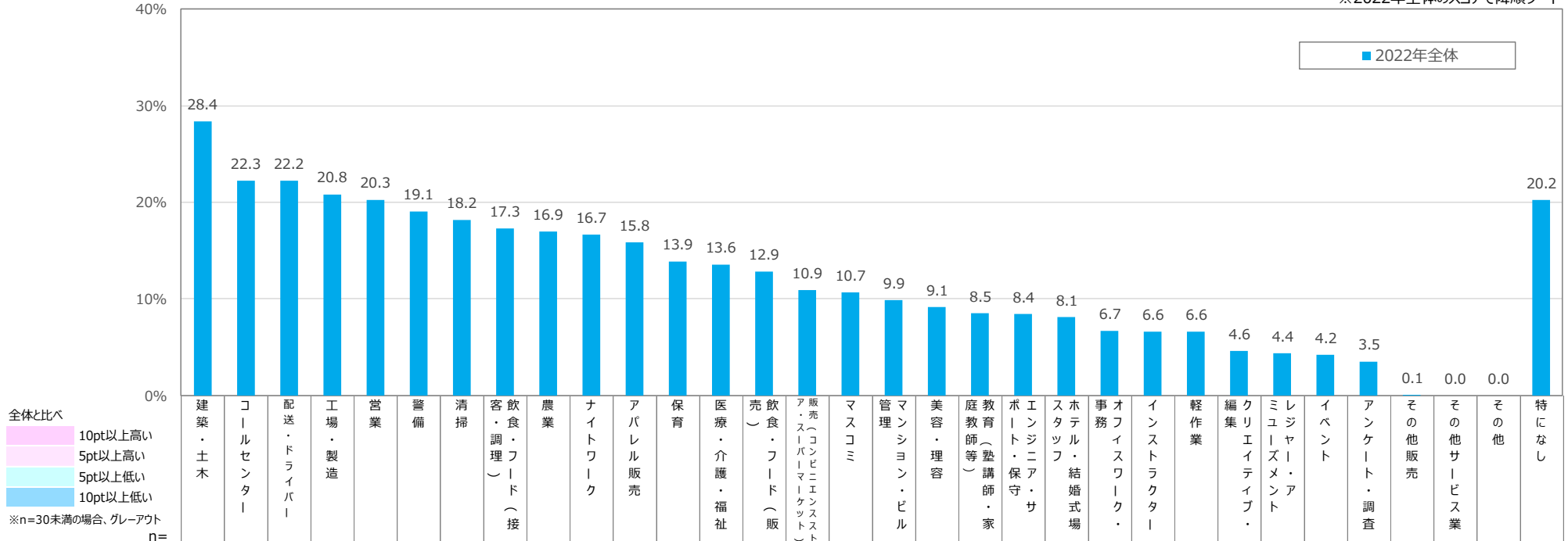


1-16. やりたくないアルバイトの職種

- ◆ 特にやりたくない職種を2022年全体で見ると、「建築・土木」が28.4%と最も高く、次いで「コールセンター」が22.3%、「配送・ドライバー」が22.2%となった。重労働や精神的に負荷が高そうというイメージの職種は避けられる傾向にある。
- ◆ 性別では、「特になし」が男性で24.1%に対し、女性で15.5%となり、女性の方がやりたくない職種が多い。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【特にやりたくない職種】（複数回答）

※2022年全体のスコアで降順ソート



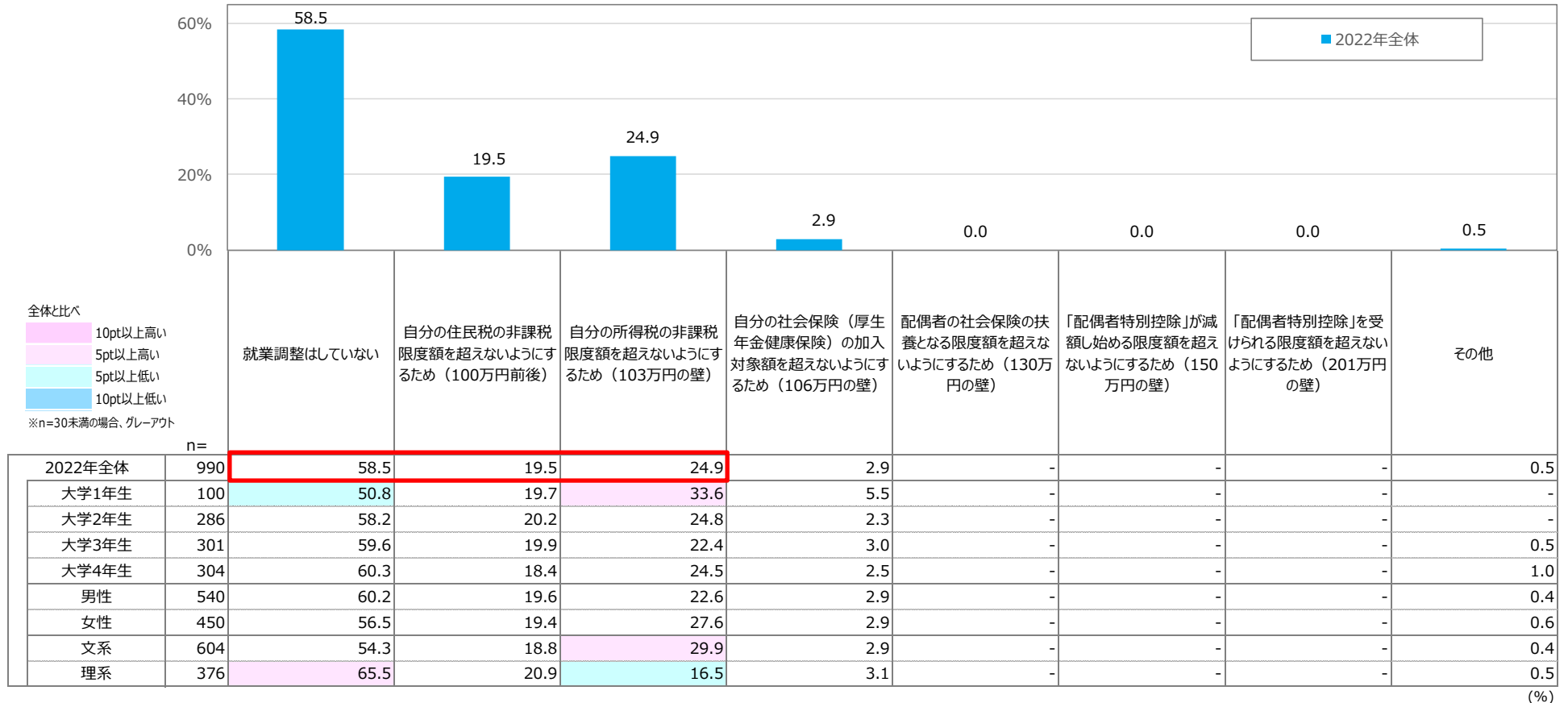
全体と比べ
 10pt以上高い
 5pt以上高い
 5pt以上低い
 10pt以上低い
 ※n=30未満の場合、グレーアウト
 n=

	2022年全体	990	28.4	22.3	22.2	20.8	20.3	19.1	18.2	17.3	16.9	16.7	15.8	13.9	13.6	12.9	10.9	10.7	9.9	9.1	8.5	8.4	8.1	6.7	6.6	6.6	4.6	4.4	4.2	3.5	0.1	-	-	20.2
2022年全体	990	28.4	22.3	22.2	20.8	20.3	19.1	18.2	17.3	16.9	16.7	15.8	13.9	13.6	12.9	10.9	10.7	9.9	9.1	8.5	8.4	8.1	6.7	6.6	6.6	4.6	4.4	4.2	3.5	0.1	-	-	20.2	
大学1年生	100	30.1	23.3	29.4	25.2	17.7	22.3	17.7	8.4	21.9	15.7	13.5	15.6	14.5	4.4	3.2	5.9	13.0	7.4	9.4	12.8	6.5	7.9	10.8	8.3	5.7	3.2	1.1	2.7	-	-	-	13.0	
大学2年生	286	33.5	22.8	22.1	24.1	19.6	20.2	18.0	16.7	17.4	17.7	13.9	14.5	16.2	9.9	13.0	13.1	9.7	8.7	8.6	9.2	6.3	8.9	4.5	5.8	4.0	3.9	3.8	3.9	-	-	-	17.3	
大学3年生	301	23.4	19.3	20.3	16.0	17.7	15.5	17.1	19.0	14.8	14.9	16.4	14.5	11.8	16.8	11.8	11.4	8.6	10.6	7.6	7.2	10.2	7.1	6.6	7.3	5.7	5.6	4.6	3.2	-	-	-	22.3	
大学4年生	304	27.9	24.4	21.9	21.0	24.3	20.5	19.5	19.2	17.0	17.7	17.9	12.1	12.6	14.5	10.6	9.2	10.2	8.6	9.0	7.4	8.2	3.8	7.3	6.1	3.7	4.0	5.3	3.7	0.3	-	-	23.3	
男性	540	19.6	19.0	14.5	14.3	18.4	12.3	14.1	19.1	10.9	12.6	13.1	15.1	11.6	15.2	11.5	9.6	5.1	11.2	8.4	4.1	8.3	7.3	6.1	4.6	3.9	4.3	4.7	4.2	-	-	-	24.1	
女性	450	38.9	26.1	31.5	28.7	22.6	27.2	23.0	15.1	24.2	21.5	19.1	12.5	16.0	10.1	10.2	11.9	15.5	6.7	8.6	13.6	7.8	5.9	7.3	8.9	5.5	4.4	3.6	2.7	0.2	-	-	15.5	
文系	604	32.4	23.2	24.9	23.8	20.6	22.0	20.9	17.2	17.6	17.8	16.9	13.1	16.3	12.4	9.6	10.8	10.8	7.7	8.2	9.7	7.5	6.3	6.5	7.1	5.2	4.5	4.0	4.2	0.2	-	-	18.9	
理系	376	22.4	21.0	18.0	16.4	20.3	14.5	13.9	17.4	16.0	14.5	14.2	15.5	9.6	13.7	13.3	10.8	8.5	11.3	9.2	6.7	9.2	7.5	7.0	6.0	3.8	4.2	4.7	2.5	-	-	-	21.9	

1-17. 就業調整有無

◆ 2022年全体では、「就業調整はしていない」が58.5%と最も高く、次いで「自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため（103万円の壁）」が24.9%、「自分の住民税の非課税限度額を超えないようにするため」が19.5%となった。

Q あなたはアルバイトで就業調整をしていますか。している方は、就業調整をしている理由について当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答）
 ※就業調整とは：所得税や住民税の非課税限度額や、配偶者の雇用保険・厚生年金の加入要件、あるいは配偶者手当の支給要件などを意識して、年収を一定額以下に抑えるために就労時間を調整すること。

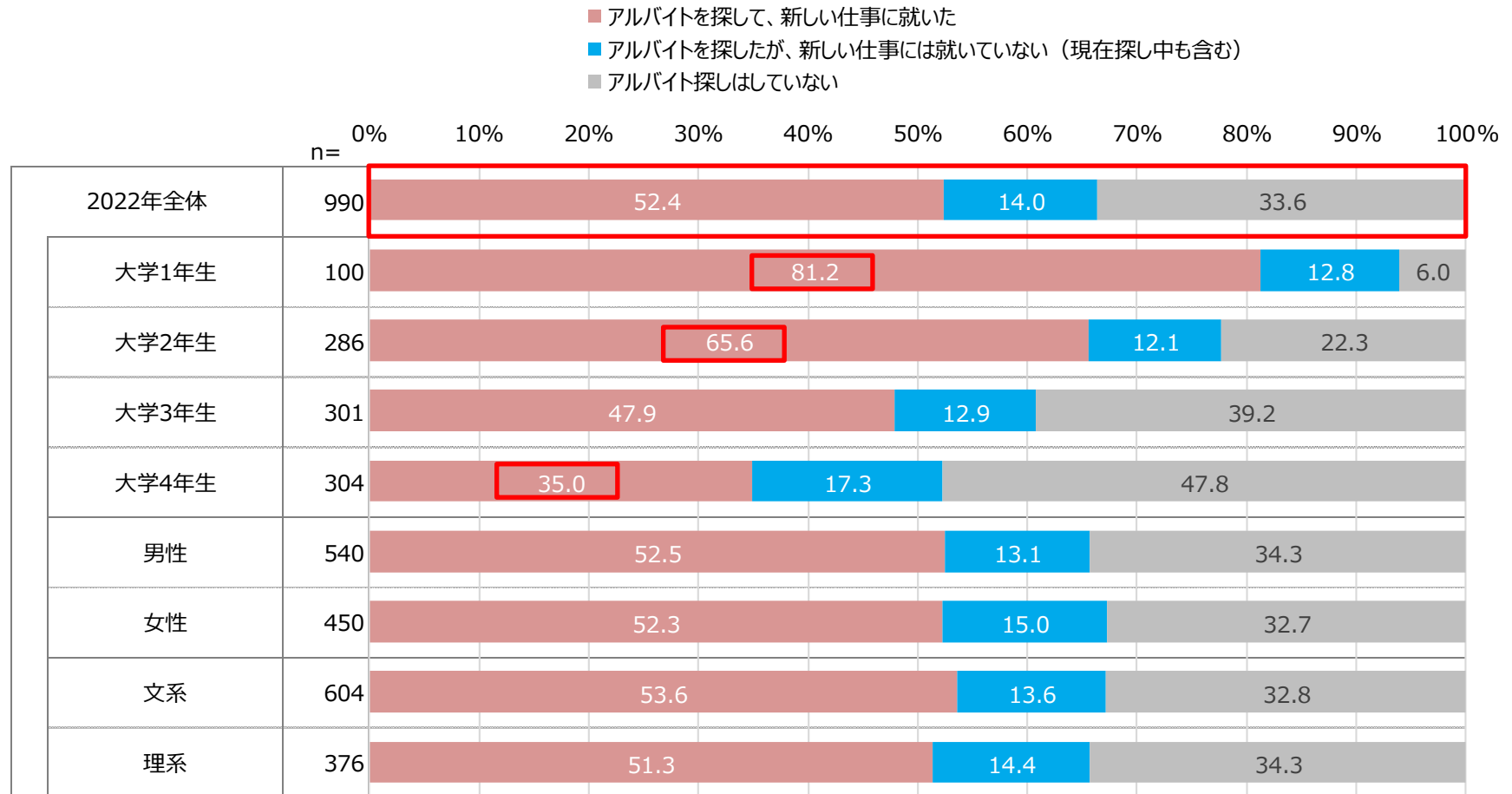


2. 大学生のアルバイト探し

2-1.直近1年間のアルバイト探し経験

- ◆ 2022年全体では、直近1年間で「アルバイトを探して、新しい仕事に就いた」が52.4%と半数を占め、「アルバイトを探したが、新しい仕事には就いていない」は14.0%、「アルバイト探しは行っていない」は33.6%となった。
- ◆ 直近1年間で「アルバイトを探して、新しい仕事に就いた」は [大学1年生] で81.2%と最も高く、次いで [大学2年生] で65.6%となり、[大学4年生] で35.0%と最も低くなった。

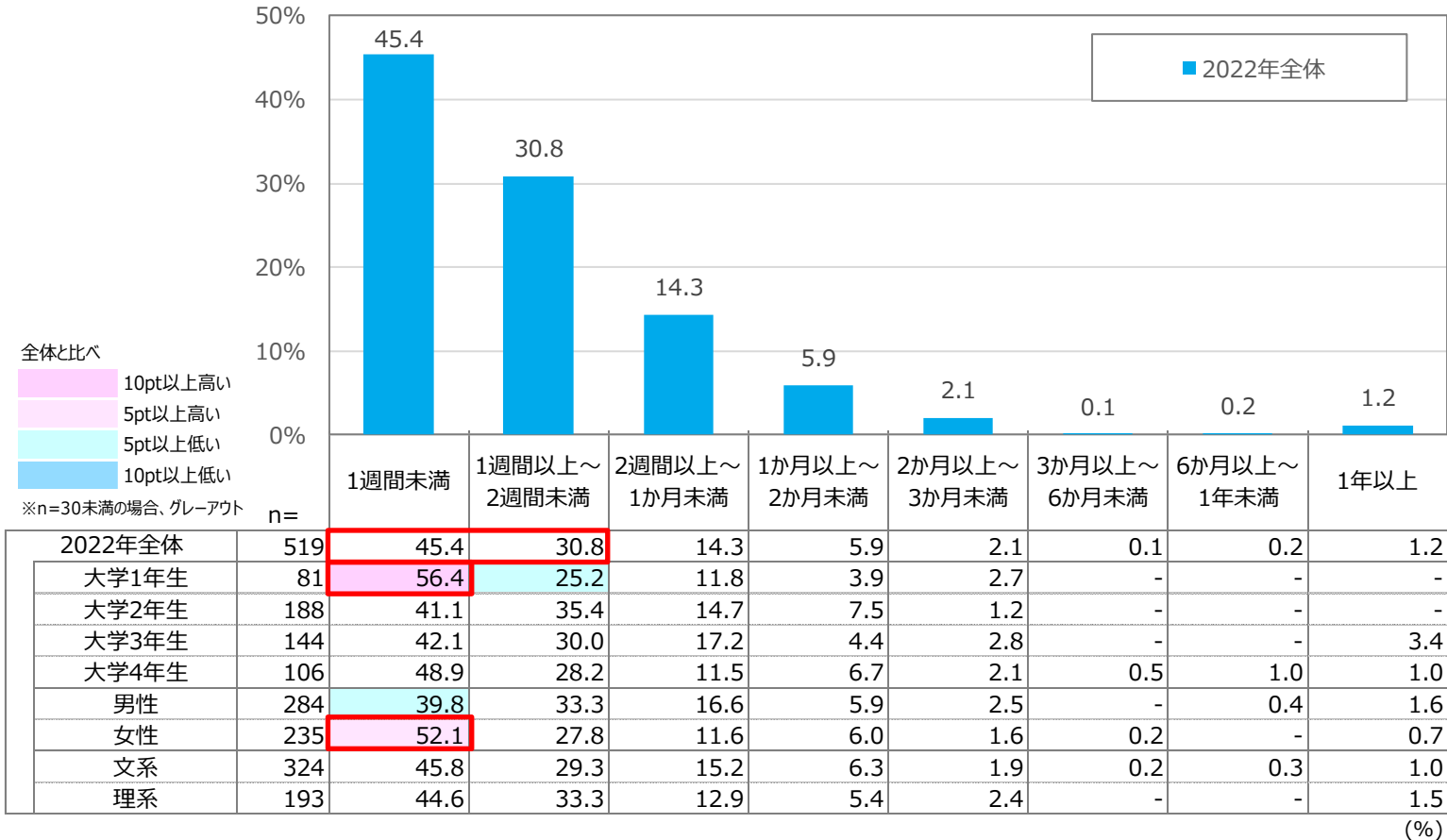
Q 直近1年間のあなたのアルバイト探しの経験として、当てはまるものをお選びください。（単一回答）



2-2. アルバイトを探してから採用されるまでの期間

- ◆ 2022年全体では、「1週間未満」が45.4%と最も高く、次いで「1週間以上～2週間未満」が30.8%となった。
- ◆ 学年別では [大学1年生] の「1週間未満」が56.4%、性別では [女性] の「1週間未満」が全体より高くなった。

Q 直近1年間のあなたのアルバイト探しの経験で、採用されるまでどの程度かかりましたか。
 ※複数採用経験がある場合は、直近のものについてお答えください。(単一回答)

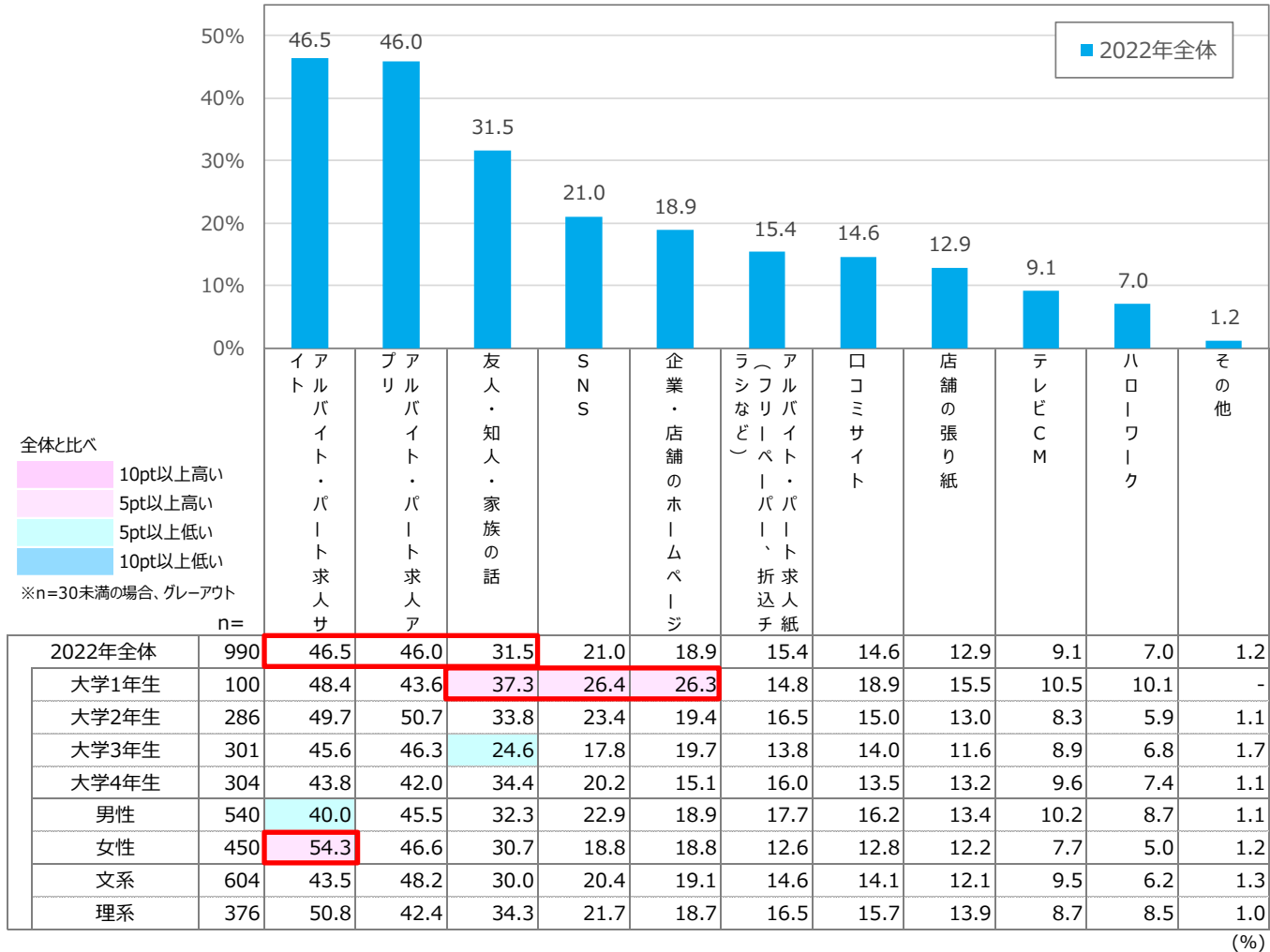


2-3. アルバイト探しでの情報収集源

- ◆ 2022年全体では、「アルバイト・パート求人サイト」が46.5%と最も高く、次いで「アルバイト・パート求人アプリ」が46.0%、「友人・知人・家族の話」が31.5%となった。
- ◆ 2022年全体比では [大学1年生] の「友人・知人・家族の話」「SNS」「企業・店舗のホームページ」、[女性] の「アルバイト・パート求人サイト」が全体より5pt以上高くなった。大学1年生は多様な方法で情報収集を行っている様子がうかがえる。

Q 直近のアルバイト探しの際に、情報収集のために使用したものを教えてください。（複数回答）

※2022年全体のスコアで降順ソート

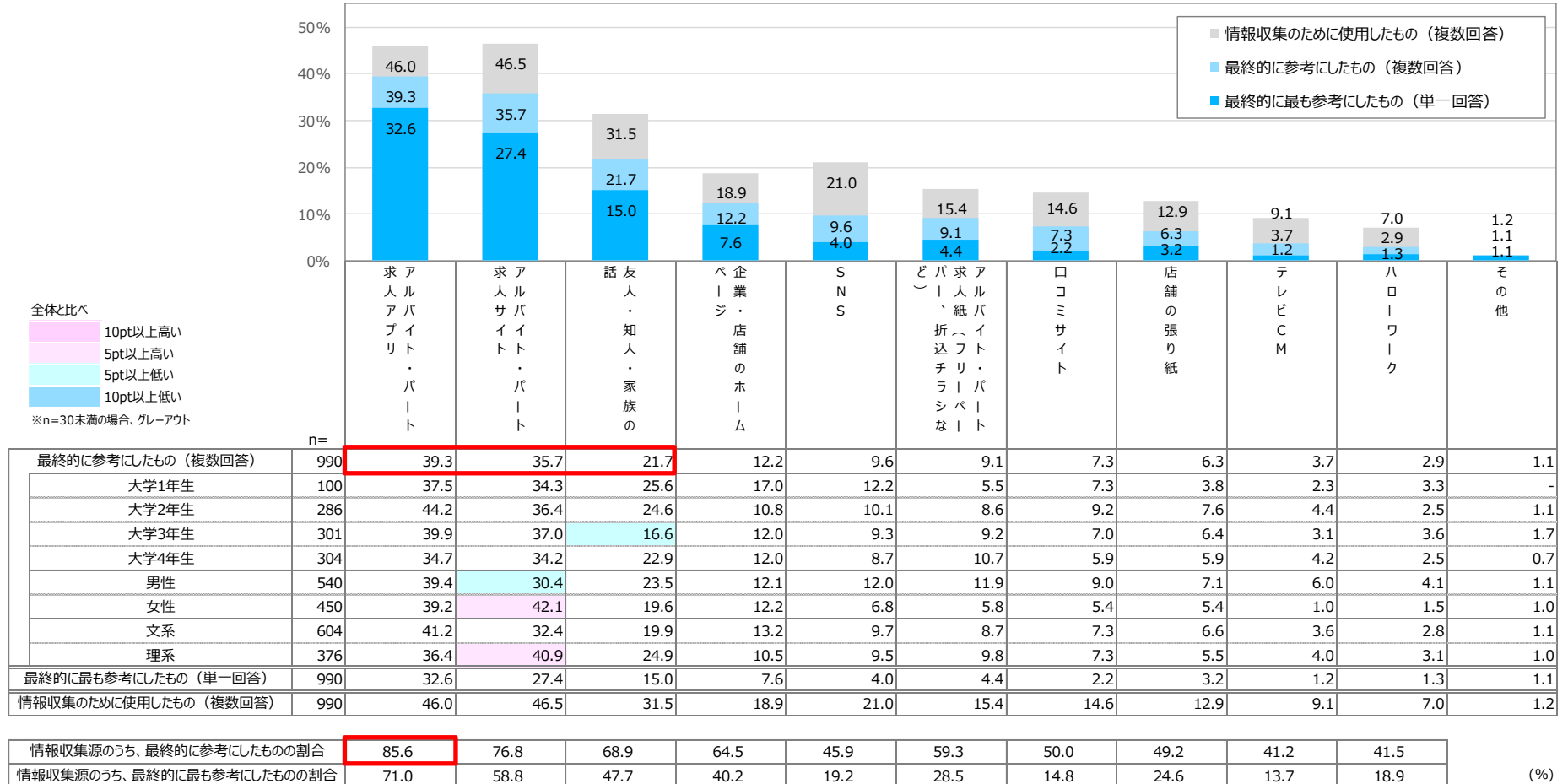


2-4. アルバイト探しでの応募参考

- ◆ アルバイト探しで応募する際に最終的に参考にしたものを2022年全体で見ると、「アルバイト・パート求人アプリ」が39.3%と最も高く、次いで「アルバイト・パート求人サイト」が35.7%、「友人・知人・家族の話」が21.7%となり、情報収集源と同様の傾向となった。
- ◆ 情報収集源のうち最終的に参考にしたものの割合としては、「アルバイト・パート求人アプリ」が85.6%と8割を超え、アルバイト先の決定で重要な情報源となっている。

Q 直近のアルバイト探しの際に、最終的にアルバイト先を応募する際に参考にしたものを教えてください。（単一回答/複数回答）

※「最終的に参考にしたもの」の2022年全体のスコアで降順ソート

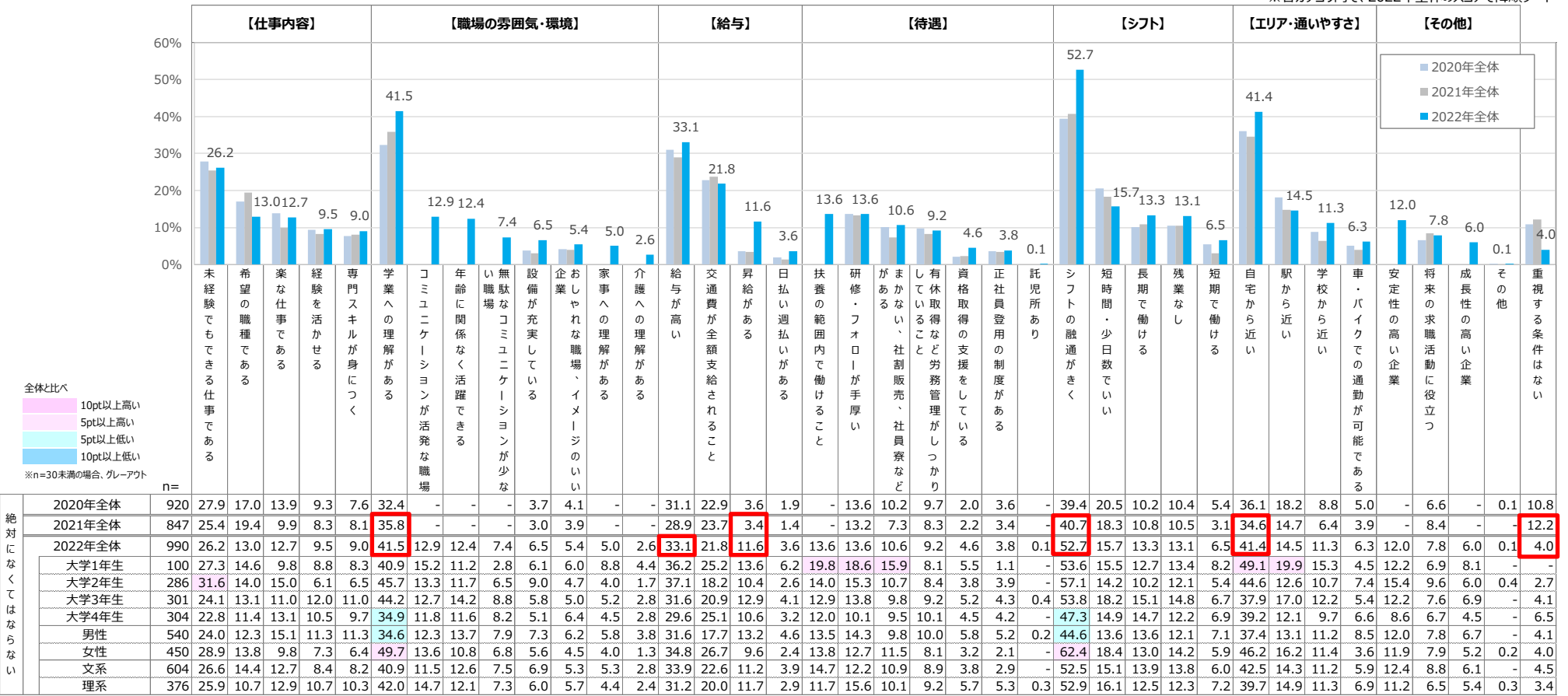


2-5. アルバイトの必須条件

- ◆ 2022年全体では、「シフトの融通がきく」が52.7%と最も高く、次いで「学業への理解がある」が41.5%、「自宅から近い」が41.4%、「給与が高い」が33.1%となった。
- ◆ 前年比では、「重視する条件はない」が8.2pt減と大きく減少し、アルバイトの必須条件として「シフトの融通がきく」が12.0pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「昇給がある」が8.2pt増、「自宅から近い」が6.8pt増、「学業への理解がある」が5.7pt増となった。

Q あなたがアルバイトを探す際に、絶対になくなくてはならないことをすべてお選びください。（複数回答）

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート



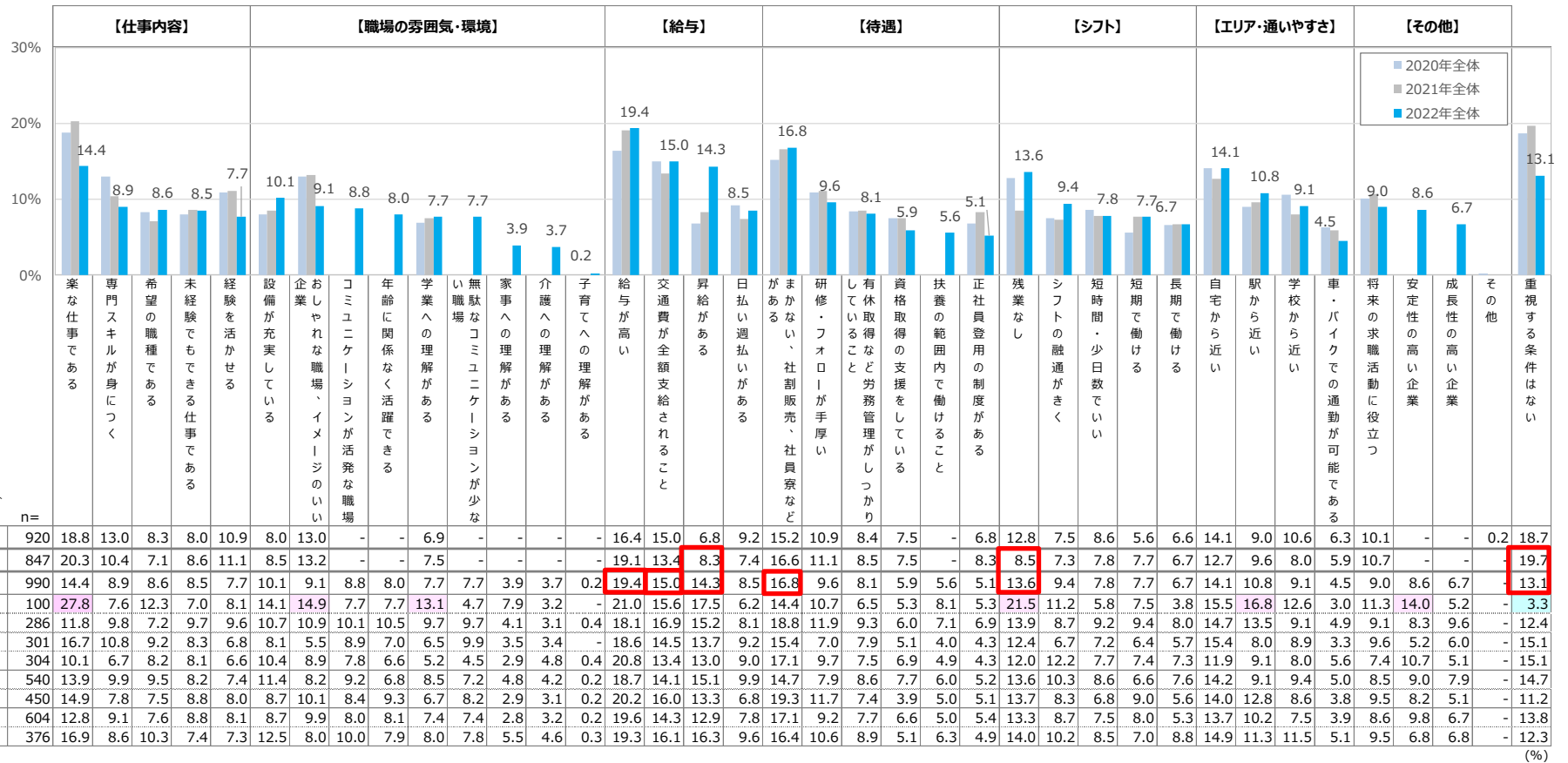
絶対になくなくてはならない

2-6. アルバイトのあったら良いが必須ではない条件

- ◆ 2022年全体では、「給与が高い」が19.4%と最も高く、次いで「まかない、社割販売、社員寮などがある」が16.8%、「交通費が全額支給されること」が15.0%となった。
- ◆ 前年比では、「重視する条件はない」が6.6pt減と大きく減少し、アルバイトのあったら良いが、必須ではない条件として「昇給がある」が6.0pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「残業なし」が5.1pt増となった。

Q あなたがアルバイトを探す際に、あったら良いが、必須ではないことをすべてお選びください。（複数回答）

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート

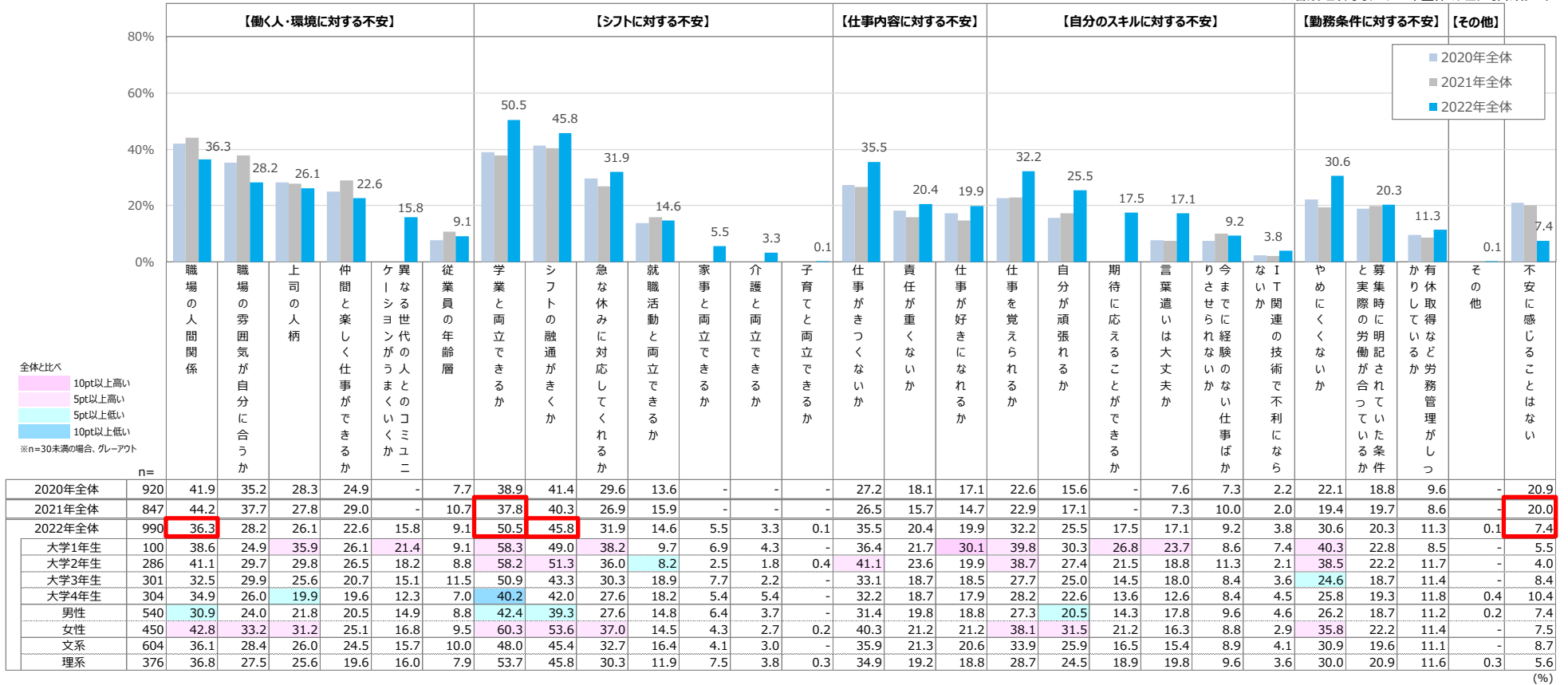


2-7. アルバイトを始める際に不安を感じること（当てはまるものすべて）

- ◆ 2022年全体では、「学業と両立できるか」が50.5%と最も高く、次いで「シフトの融通がきくか」が45.8%、「職場の人間関係」が36.3%となった。
- ◆ 前年比では、「不安を感じることはない」が12.6pt減と大きく減少し、アルバイトを始める際に不安を感じることで「学業と両立できるか」が12.7pt増と最も上げ幅が大きくなった。

Q 新しくアルバイトを始める際に、不安を感じることで当てはまるものをお選びください。（複数回答）

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート

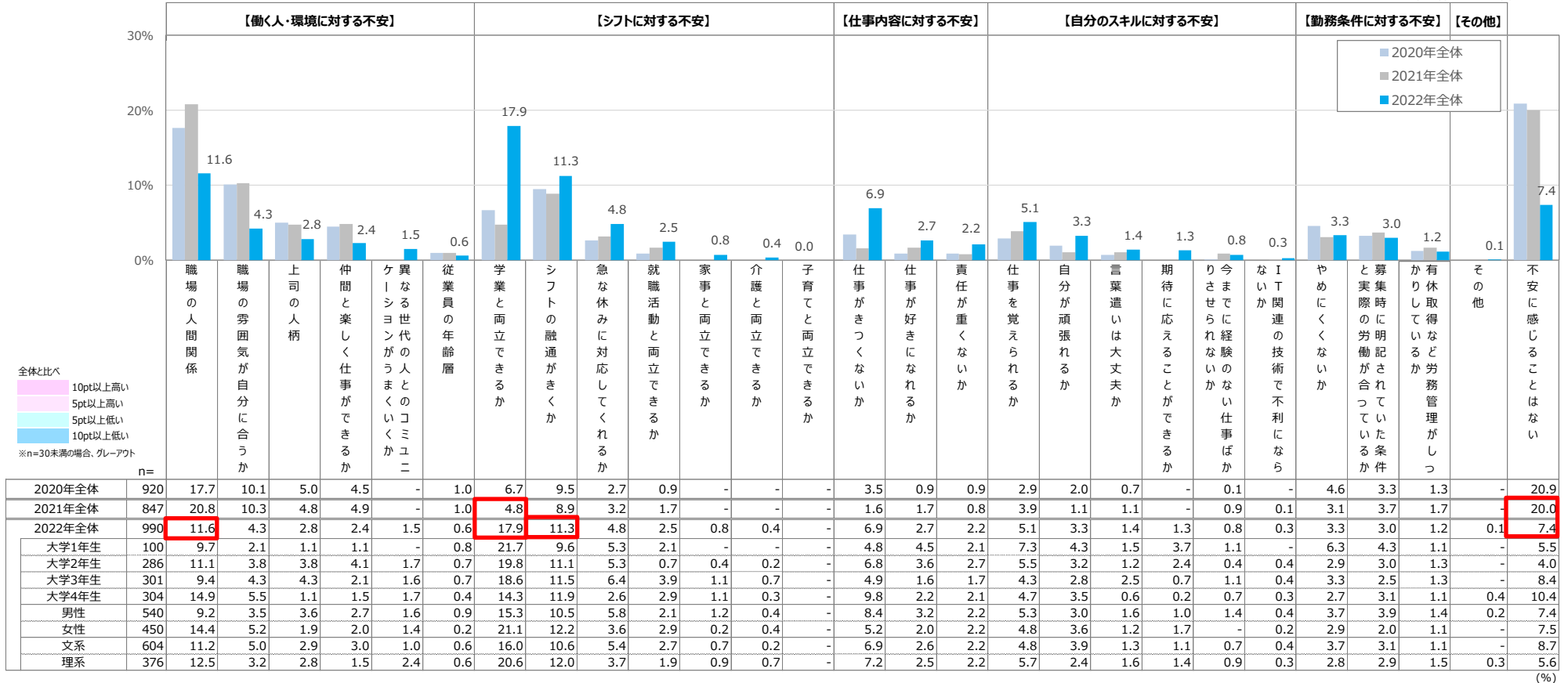


2-7. アルバイトを始める際に不安を感じること（最も当てはまる）

- ◆ 2022年全体では、「学業と両立できるか」が17.9%と最も高く、次いで「職場の人間関係」が11.6%、「シフトの融通がきくか」が11.3%となった。
- ◆ 前年比では、「不安を感じることはない」が12.6pt減と大きく減少し、アルバイトを始める際に最も不安を感じることで「学業と両立できるか」が13.1pt増と最も上げ幅が大きくなった。

Q 新しくアルバイトを始める際に、不安を感じることで当てはまるものをお選びください。（単一回答）

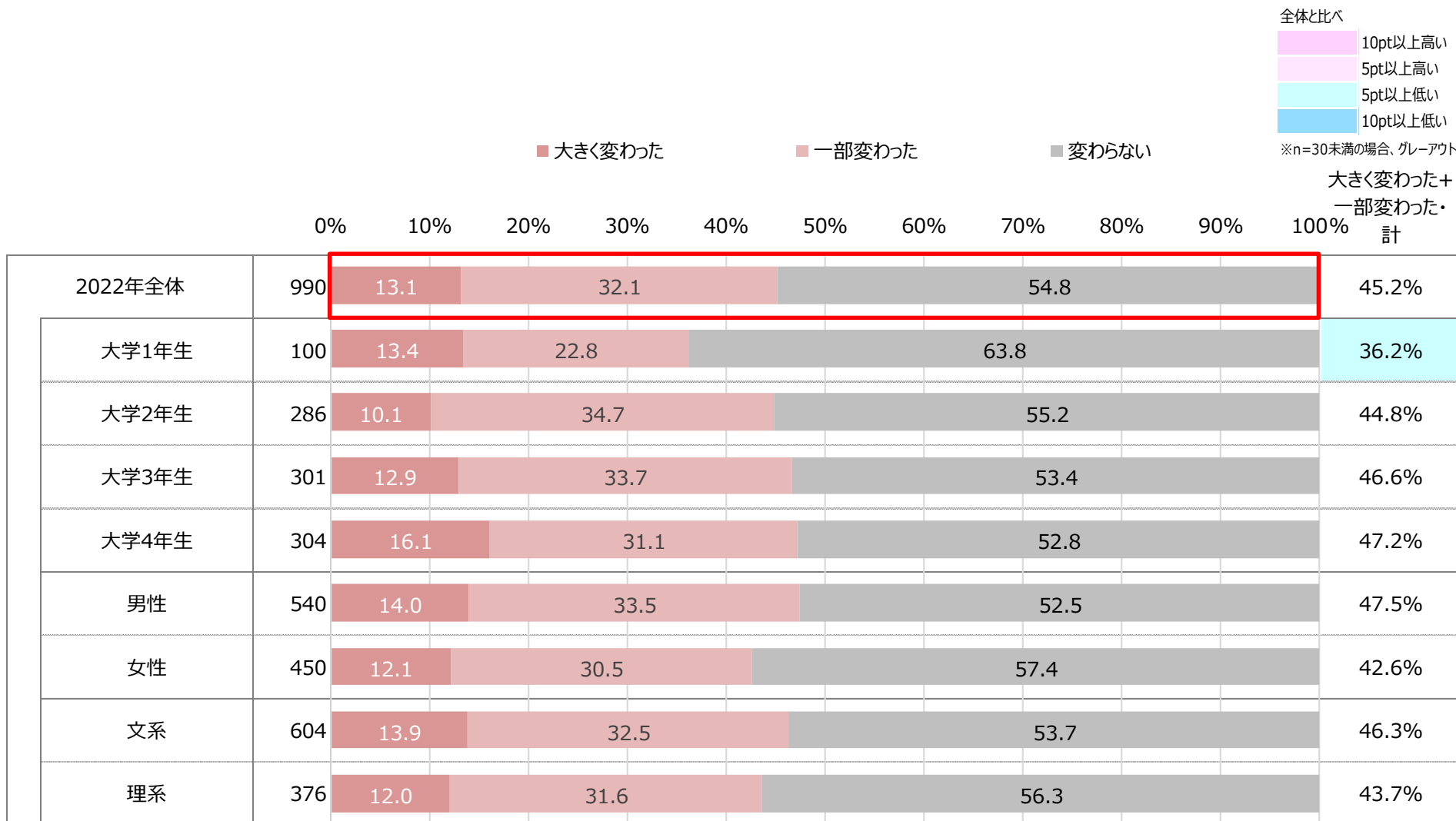
※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアを降順ソート



2-8. コロナの影響によるアルバイト選択基準の変化

- ◆ 2022年全体では、「変わらない」が54.8%と最も高く、次いで「一部変わった」が32.1%、「大きく変わった」が13.1%となった。
- ◆ 学年別では、[大学4年生]で「大きく変わった」が16.1%とやや高い。

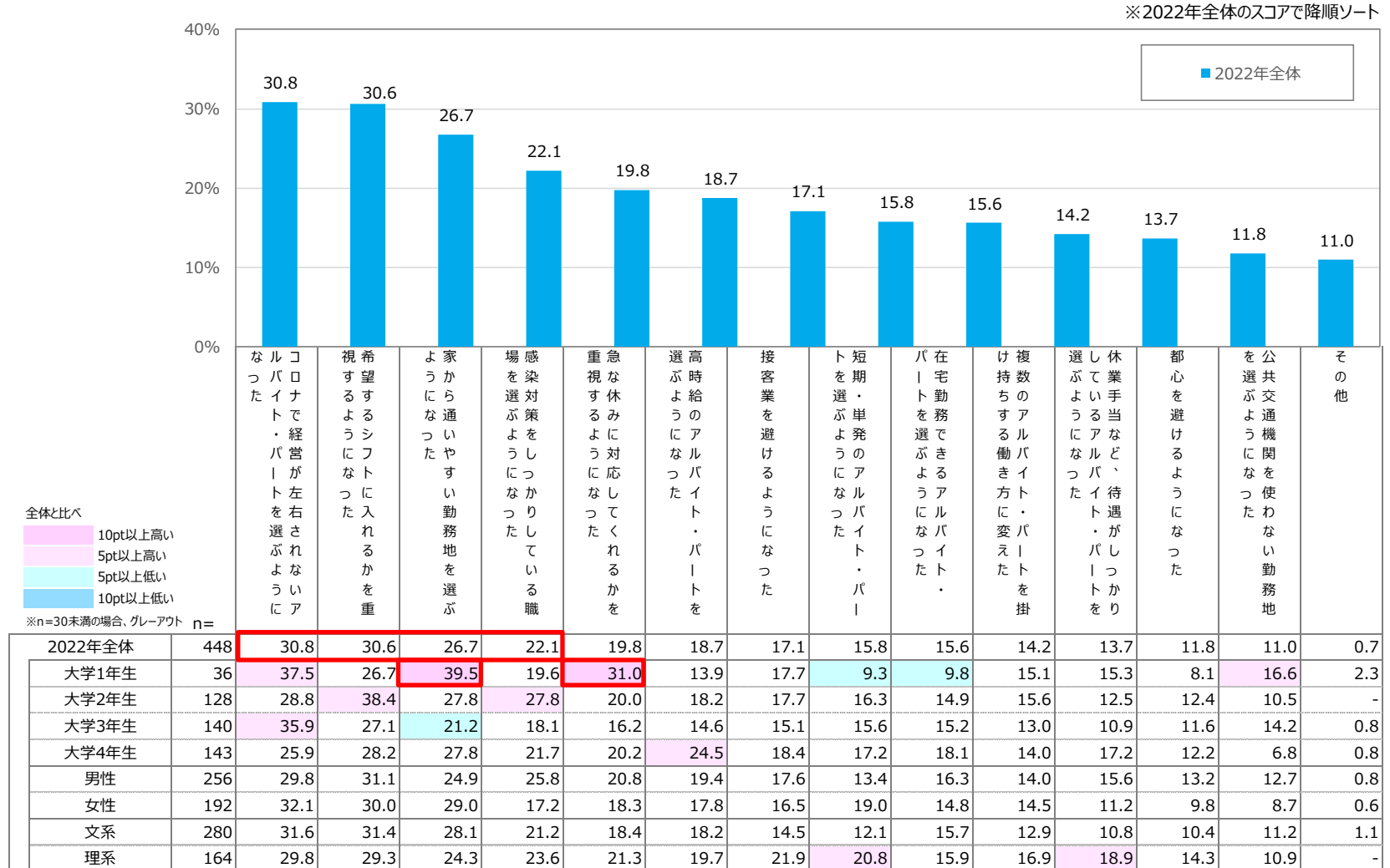
Q コロナ禍でアルバイトを選ぶ基準が変わりましたか。(単一回答)



2-9. コロナの影響によるアルバイト選択基準の変化内容

- ◆ 2022年全体では、「コロナで経営が左右されないアルバイト・パートを選ぶようになった」が30.8%と最も高く、次いで「希望するシフトに入れるかを重視するようになった」が30.6%、「家から通いやすい勤務地を選ぶようになった」が26.7%、「感染対策をしっかりとっている職場を選ぶようになった」が22.1%となった。
- ◆ 全体比では、[大学1年生]の「家から通いやすい勤務地を選ぶようになった」「急な休みに対応してくれるかを重視するようになった」が全体より10pt以上高くなった。

Q コロナ禍でアルバイトを選ぶ基準として変わったものをお選びください。（複数回答）

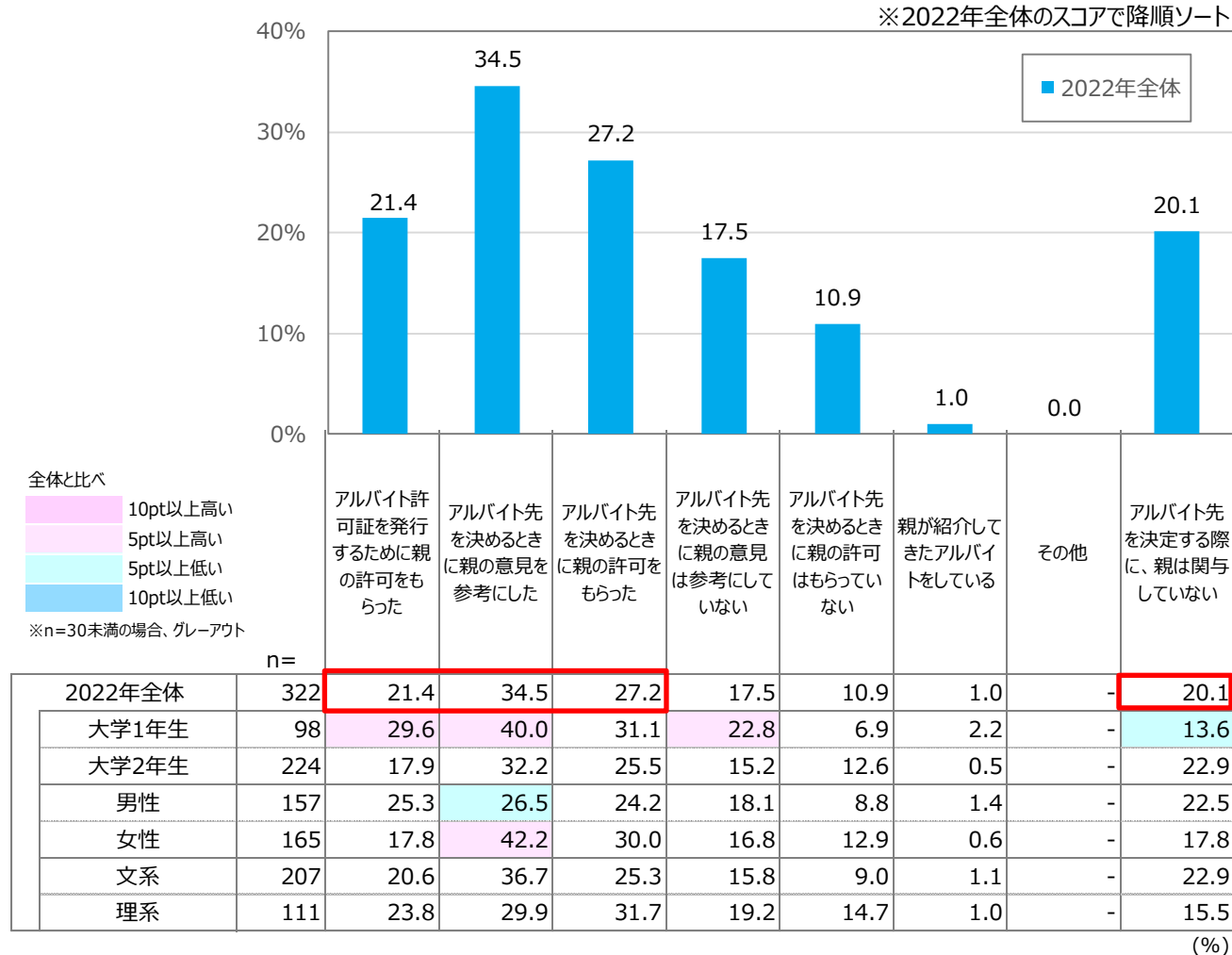


(%)

2-10. アルバイト探しに関する親の関与

- ◆ 2022年全体では、「アルバイト先を決めるときに親の意見を参考にした」が34.5%と最も高く、次いで「アルバイト先を決めるときに親の許可をもらった」が27.2%、「アルバイト許可証を発行するために親の許可をもらった」が21.4%となった。
- ◆ 一方で、「アルバイト先を決定する際に、親は関与していない」は20.1%となった。

Q 現在のアルバイト先を決定する際の親の関与についてお答えください。【ベース：20歳未満で現在アルバイトをしている】（複数回答）

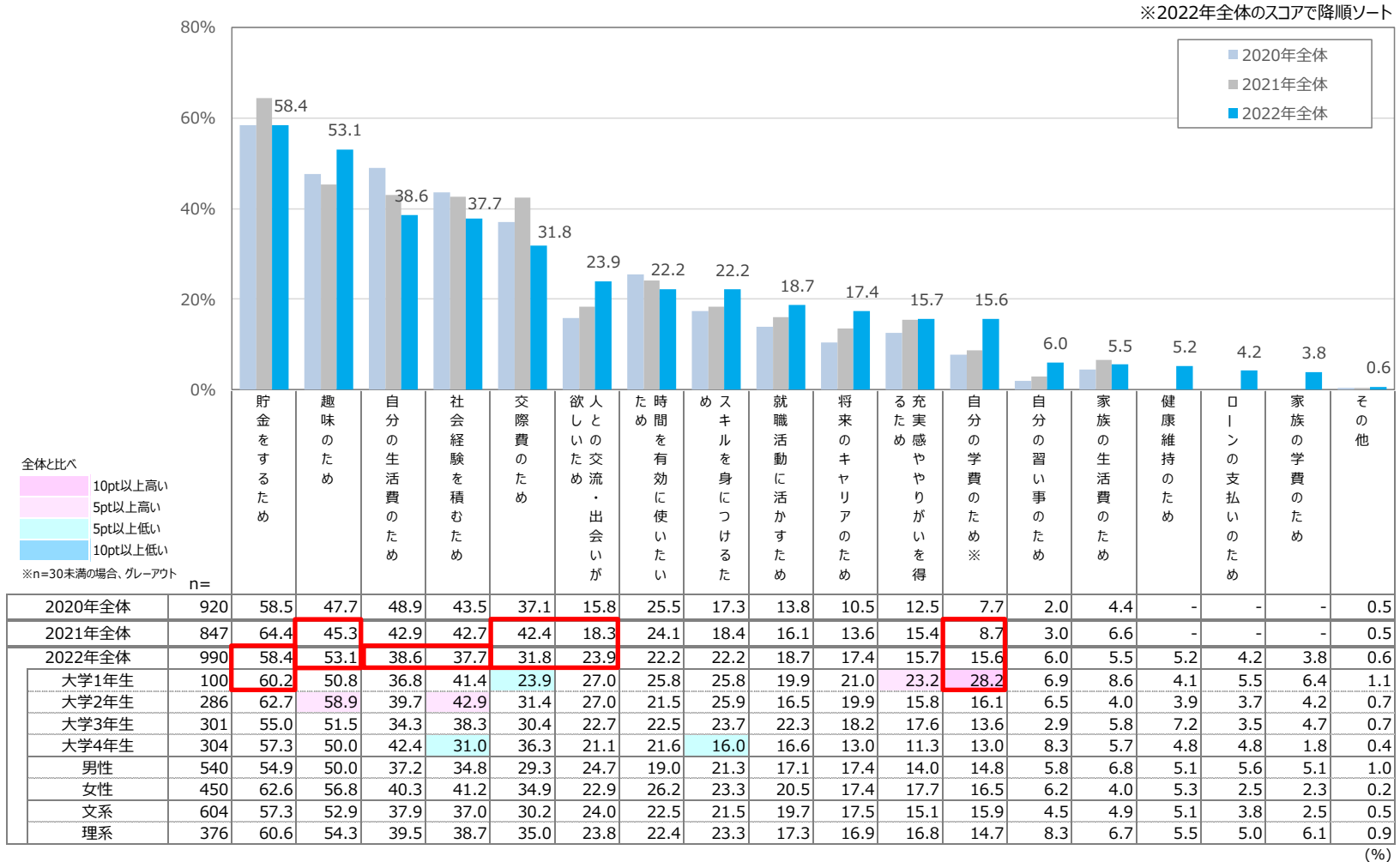


3. 大学生の就業意識

3-1. アルバイトの目的（当てはまるものすべて）

- ◆ 2022年全体では、「貯金をするため」が58.4%と最も高く、次いで「趣味のため」が53.1%、「自分の生活費のため」が38.6%、「社会経験を積むため」が37.7%となった。
- ◆ 前年比では、「趣味のため」が7.8pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「自分の学費のため」が6.9pt増、「人との交流・出会いが欲しいため」が5.6pt増となり、「交際費のため」が10.6pt減と最も下げ幅が大きかった。
- ◆ 学年別では、[大学1年生]で「自分の学費のため」が全体より10pt以上高くなった。

Q あなたがアルバイトをする目的をお答えください。（複数回答）

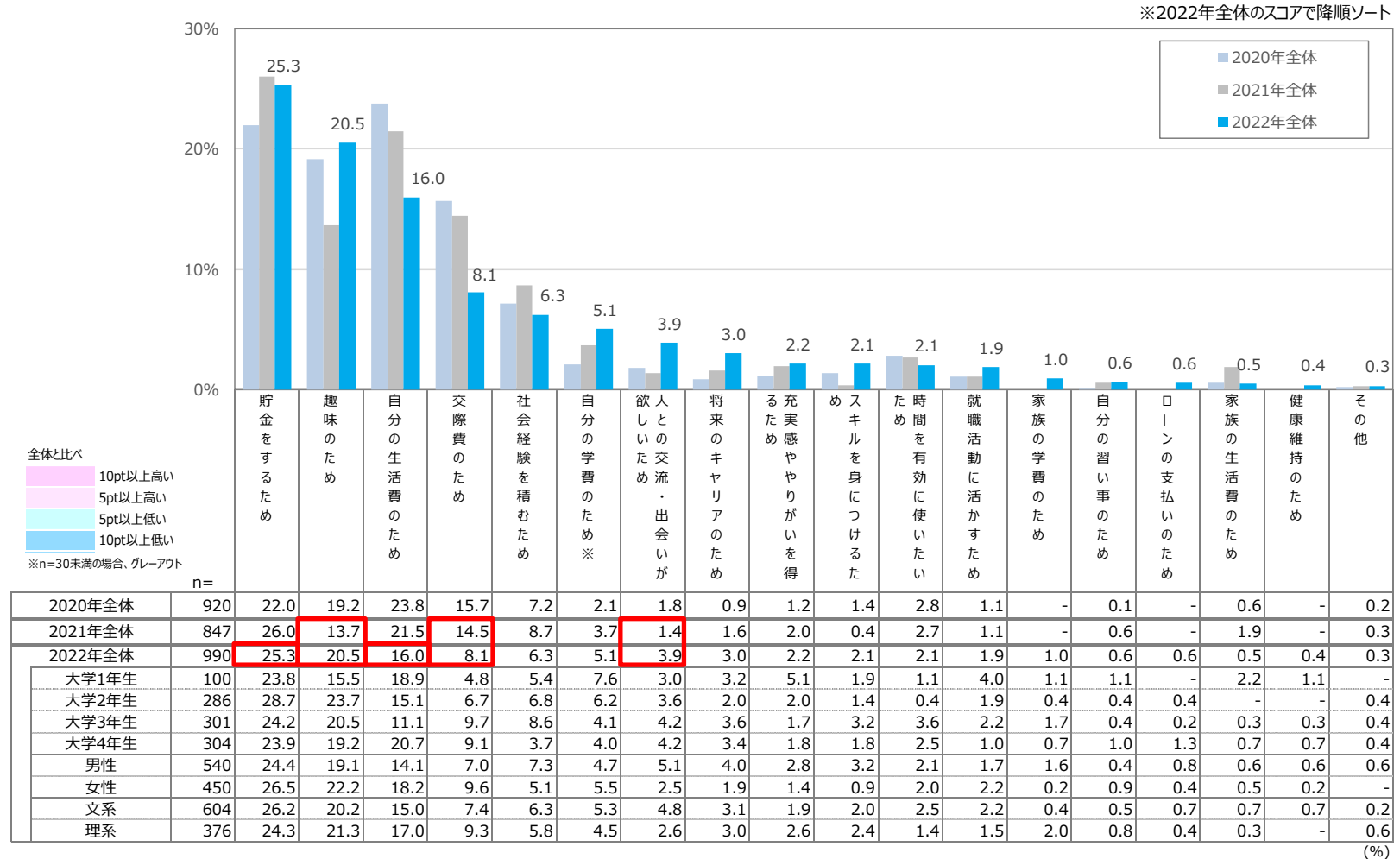


※2020年・2021年調査の「自分の学費のため」は、「授業料を払うため」の数値を記載している

3-1. アルバイトの目的（最も当てはまる）

- ◆ 2022年全体では、「貯金をするため」が25.3%と最も高く、次いで「趣味のため」が20.5%、「自分の生活費のため」が16.0%となった。
- ◆ 前年比では、「趣味のため」が6.8pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「人との交流・出会いが欲しいため」が2.5pt増となり、「交際費のため」が6.4pt減と最も下げ幅が大きかった。

Q あなたがアルバイトをする目的をお答えください。（単一回答）



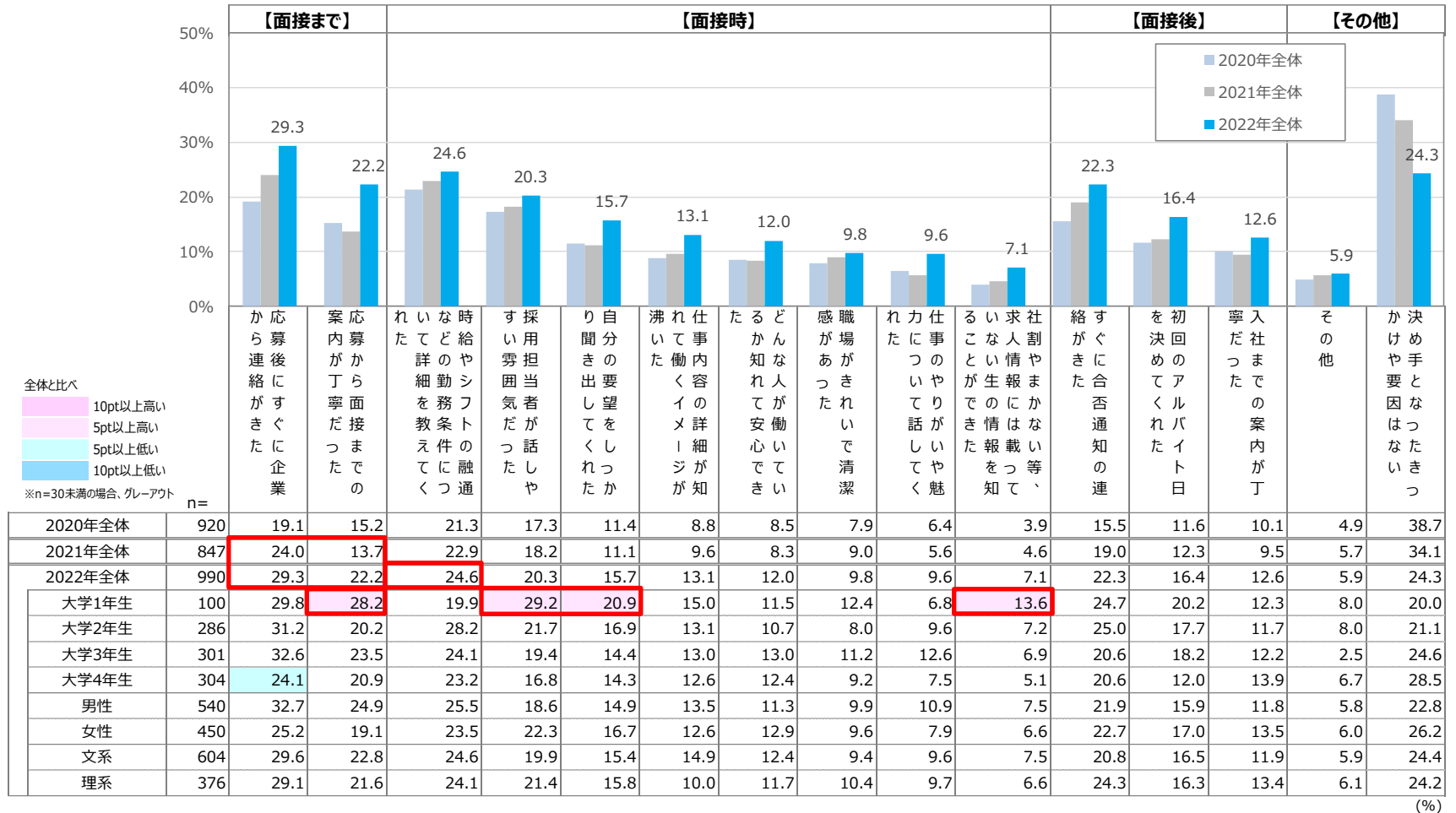
※2020年・2021年調査の「自分の学費のため」は、「授業料を払うため」の数値を記載している

3-2. アルバイト先を決めた要因（当てはまるものすべて）

- ◆ 2022年全体では、「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が29.3%と最も高く、次いで「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた」が24.6%となった。
- ◆ 前年比では、「応募から面接までの案内が丁寧だった」が8.5pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が5.3pt増となった。
- ◆ 全体比では【大学1年生】の「採用担当者が話やすい雰囲気だった」「応募から面接までの案内が丁寧だった」「自分の要望をしっかりと聞き出してくれた」「社割やまかない等、求人情報には載っていない生の情報を知ることができた」が全体より5pt以上高くなった。

Q 現在のアルバイトについて、応募してから入社を決めるまでの期間で、入社の決め手となるきっかけや決定打となった要因について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート

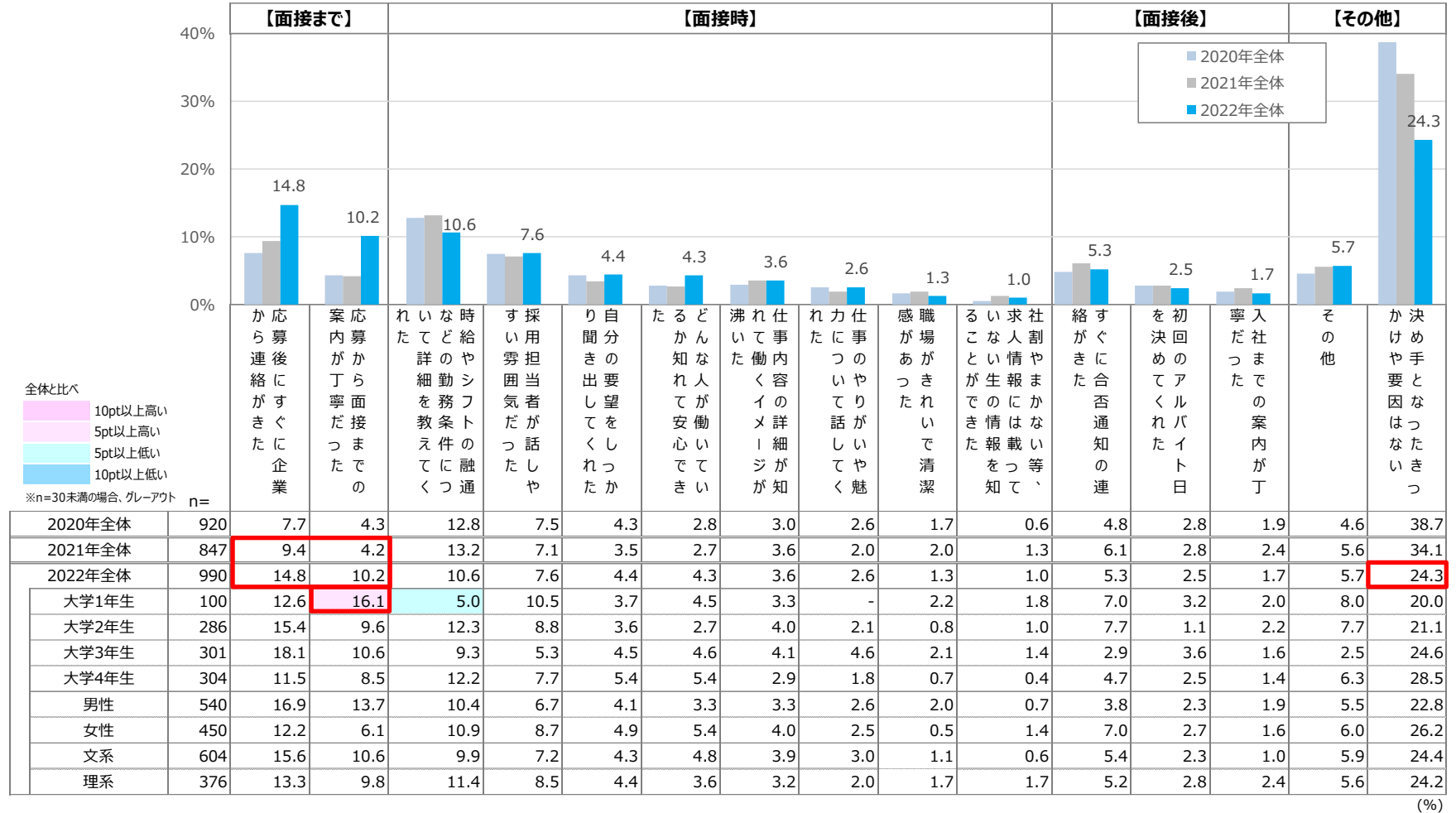


3-2. アルバイト先を決めた要因（最も当てはまる）

- ◆ 2022年全体では、「決め手となったきっかけや要因はない」が24.3%と最も高く、次いで「応募後すぐに企業から連絡がきた」が14.8%となった。
- ◆ 前年比では、「応募から面接までの案内が丁寧だった」が6.0pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「応募後すぐに企業から連絡がきた」が5.4pt増となった。
- ◆ 全体比では「大学1年生」の「応募から面接までの案内が丁寧だった」が全体より5pt以上高くなった。

Q 現在のアルバイトについて、応募してから入社を決めるまでの期間で、入社を決め手となるきっかけや決定打となった要因について、当てはまるものをお答えください。（単一回答）

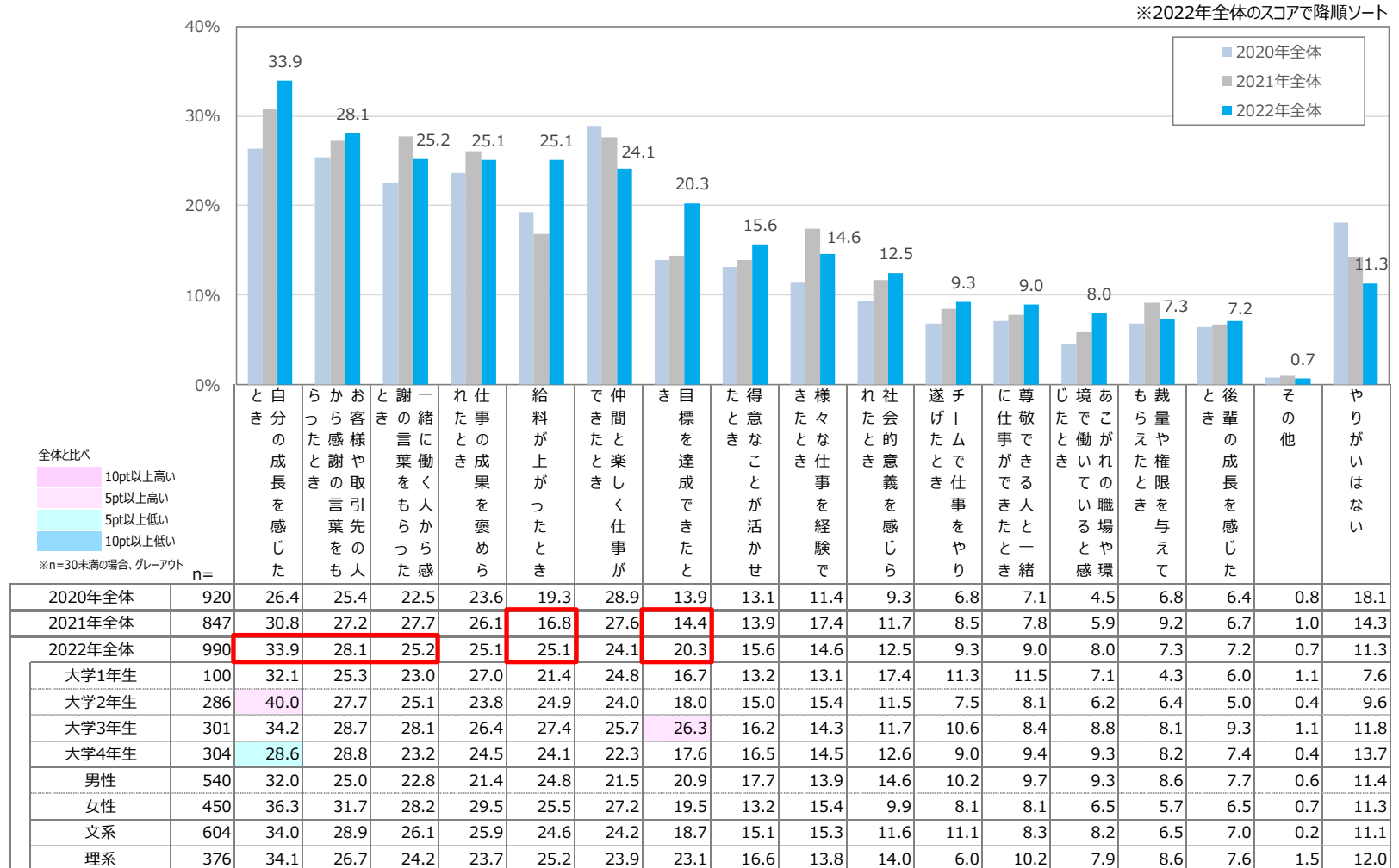
※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート



3-3. アルバイトのやりがい（当てはまるものすべて）

- ◆ 2022年全体では、「自分の成長を感じたとき」が33.9%と最も高く、次いで「お客様や取引先の人から感謝の言葉もらったとき」が28.1%、「一緒に働く人から感謝の言葉もらったとき」が25.2%となった。
- ◆ 前年比では、「給料が上がったとき」が8.3pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「目標を達成できたとき」が5.9pt増となった。

Q あなたがアルバイト先でやりがいを感じたときに、当てはまるものをお選びください。（複数回答）

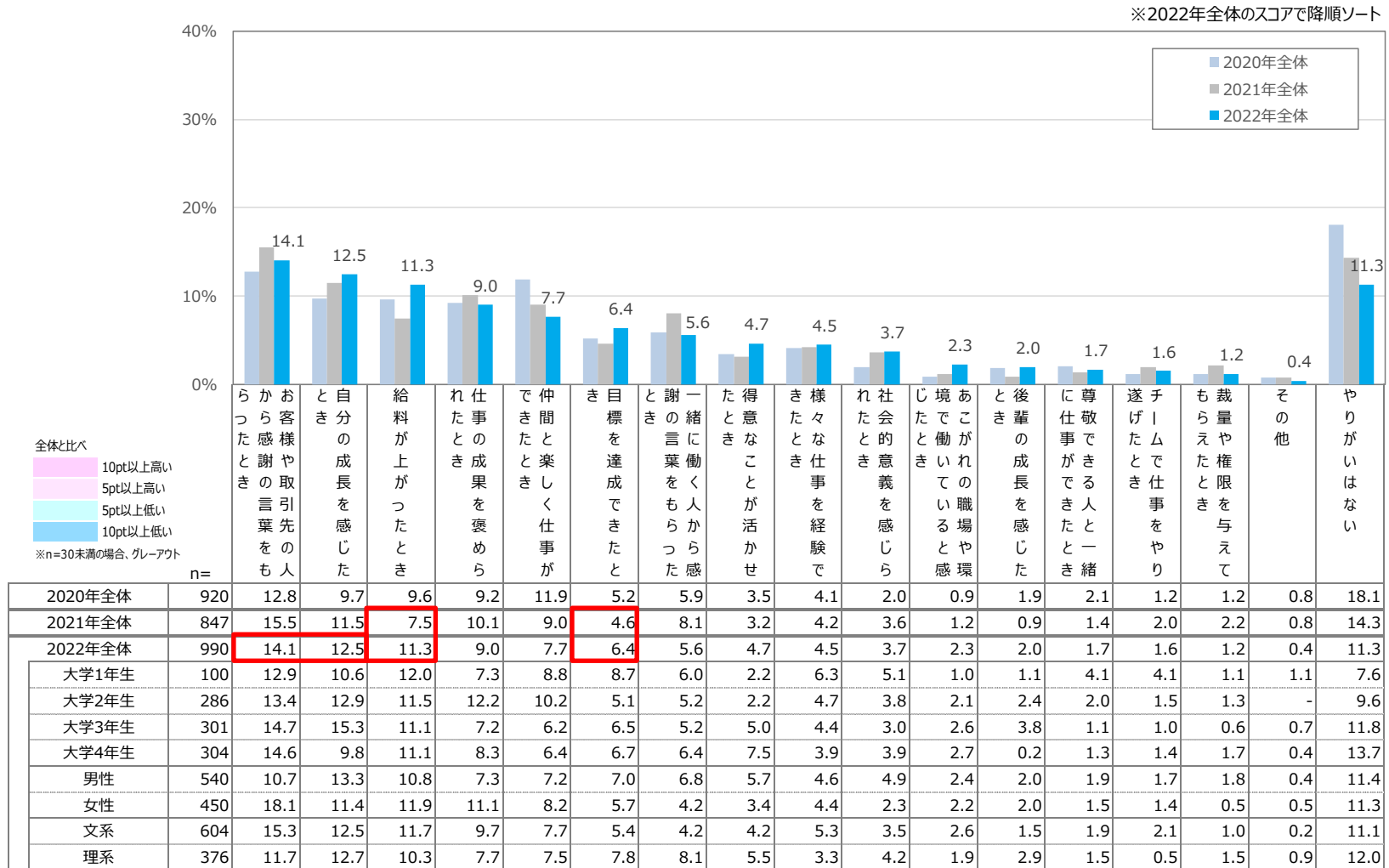


(%)

3-3. アルバイトのやりがい（最も当てはまる）

- ◆ 2022年全体では、「お客様や取引先の人から感謝の言葉もらったとき」が14.1%と最も高く、次いで「自分の成長を感じたとき」が12.5%、「給料が上がったとき」が11.3%となった。
- ◆ 前年比では、「給料が上がったとき」が3.8pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「目標を達成できたとき」が1.8pt増となった。

Q あなたがアルバイト先でやりがいを感じたときに、当てはまるものをお選びください。（単一回答）

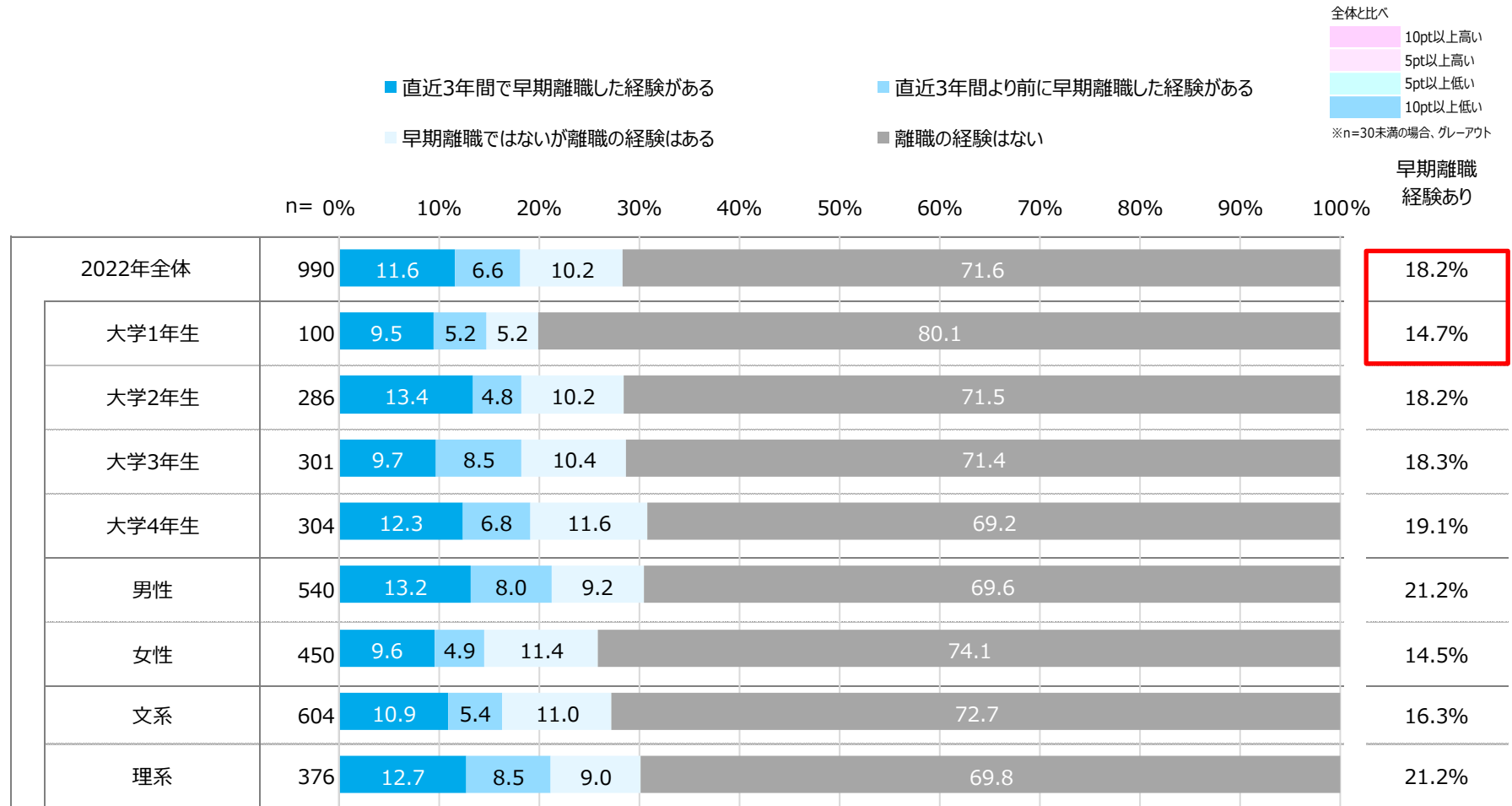


3-4. 早期離職経験

- ◆ 2022年全体では、「早期離職経験あり（直近3年間で早期離職経験あり+直近3年間より前に早期離職経験あり）」は18.2%。
- ◆ 全体比では [大学1年生] が14.7%と全体よりやや低い。

Q あなたのアルバイトの早期離職経験について当てはまるものひとつお選びください。（単一回答）

※ここでの「早期離職」とは：引越し等のやむを得ない状況は含まず、就業当初は長期勤務予定だったアルバイトを【1ヶ月以内】に辞めることを指す。

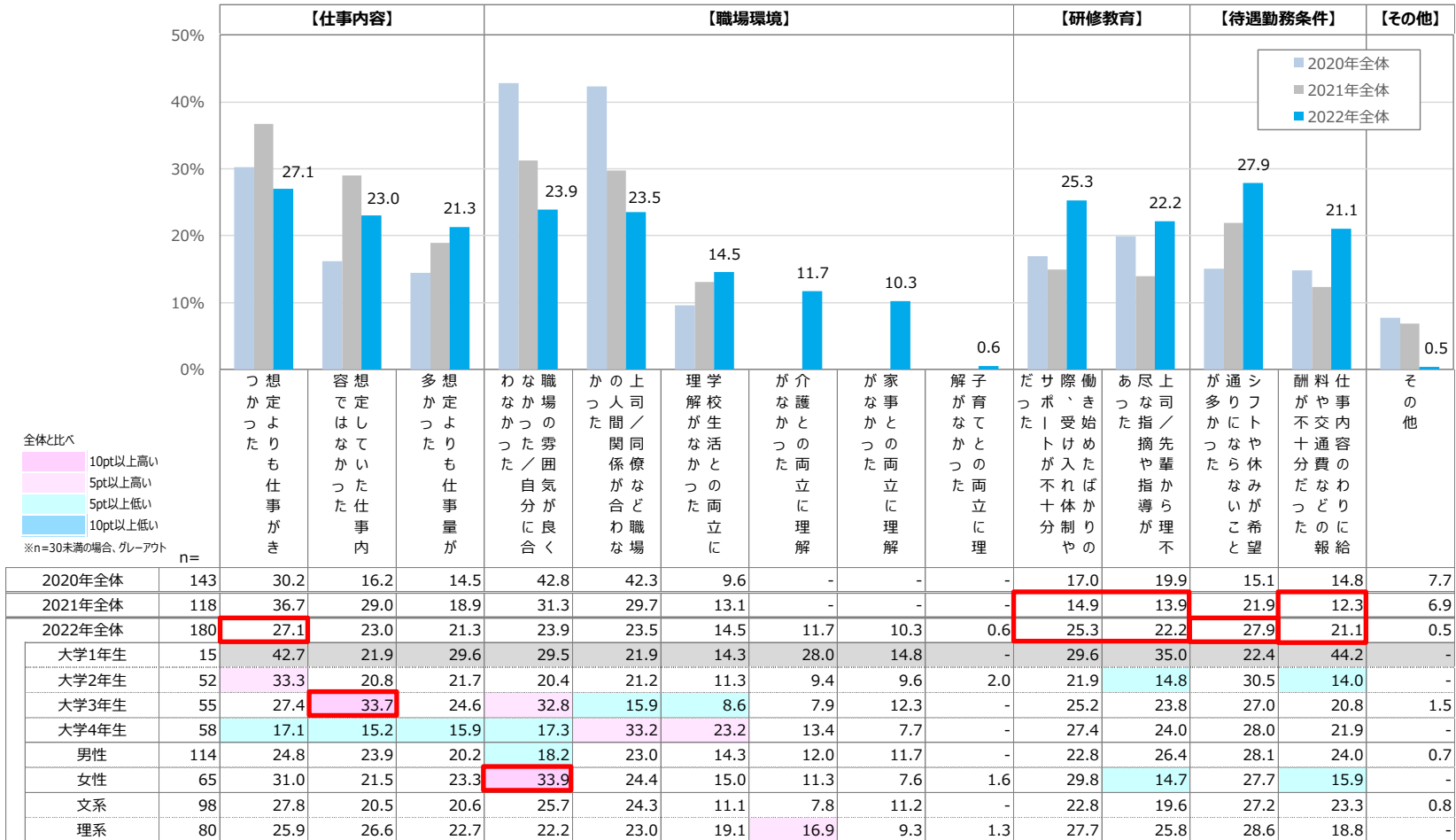


3-5. 早期離職理由（当てはまるものすべて）

- ◆ 2022年全体では、「シフトや休みが希望通りにならないことが多かった」が27.9%と最も高く、次いで「想定よりも仕事が見つかった」が27.1%、「働き始めたばかりの際、受け入れ体制やサポートが不十分だった」が25.3%となった。
- ◆ 前年比では、「働き始めたばかりの際、受け入れ体制やサポートが不十分だった」が10.4pt増と最も高く、次いで「仕事内容のわりに給料や交通費などの報酬が不十分だった」が8.8pt増、「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」が8.3pt増となった。
- ◆ 全体比では【大学3年生】の「想定していた仕事内容ではなかった」、【女性】の「職場の雰囲気が良くなかった/自分に合わなかった」が全体より10pt以上高くなった。

Q 直近の早期離職の要因となったこととして、当てはまるものをお選びください。
【ベース：早期離職経験あり】（複数回答）

※各カテゴリ内、2022年全体のスコアを降順ソート



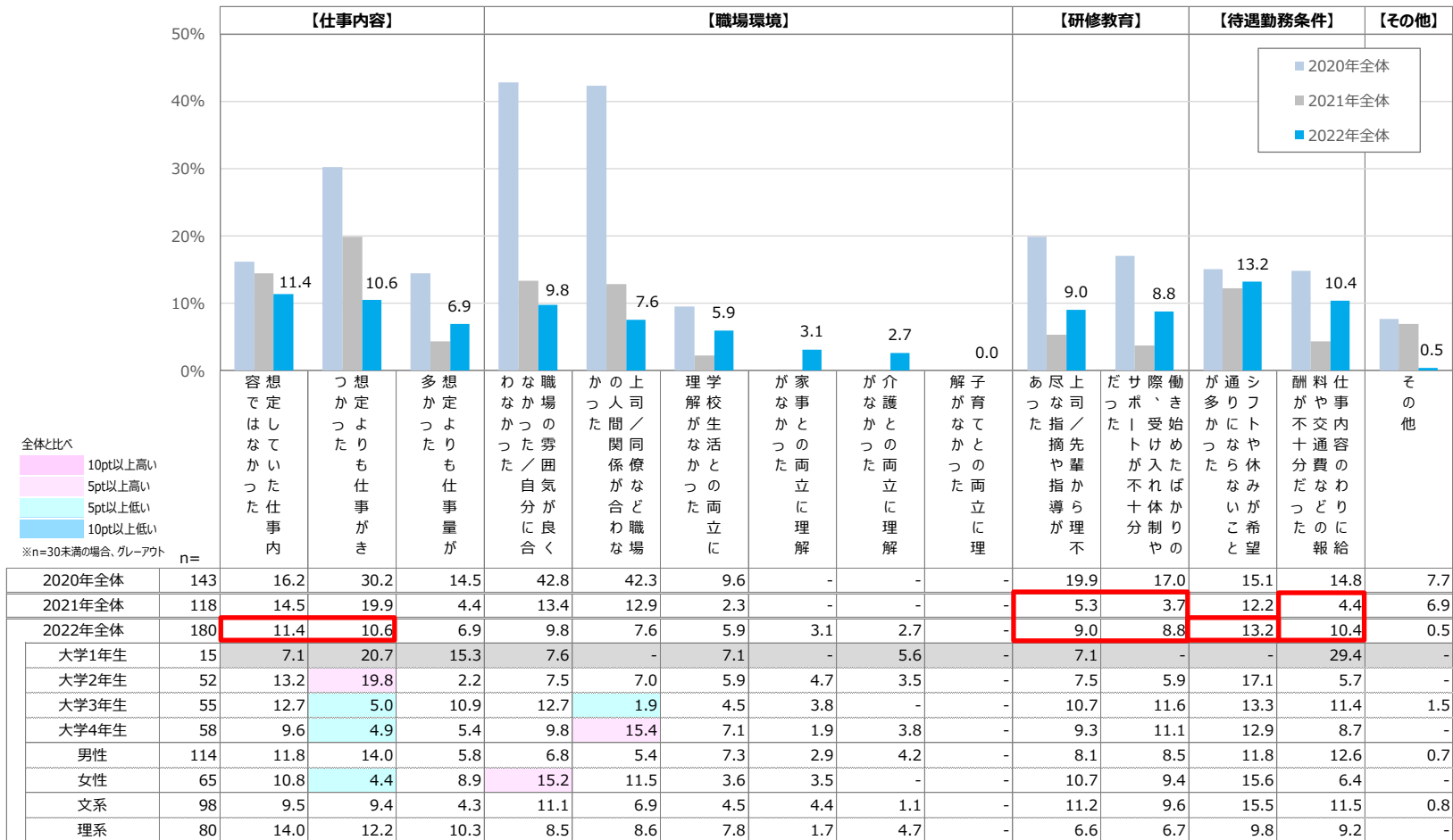
(%)

3-5. 早期離職理由（最も当てはまる）

- ◆ 2022年全体では、「シフトや休みが希望通りにならないことが多かった」が13.2%と最も高く、次いで「想定していた仕事内容ではなかった」が11.4%、「想定よりも仕事が見つかった」が10.6%となった。
- ◆ 前年比では、「仕事内容のわりに給料や交通費などの報酬が不十分だった」が6.0pt増と最も高く、次いで「働き始めたばかりの際、受け入れ体制やサポートが不十分だった」が5.1pt増、「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」が3.7pt増となった。

Q 早期離職の要因となったこととして、当てはまるものをお選びください。
【ベース：早期離職経験あり】（単一回答）

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート



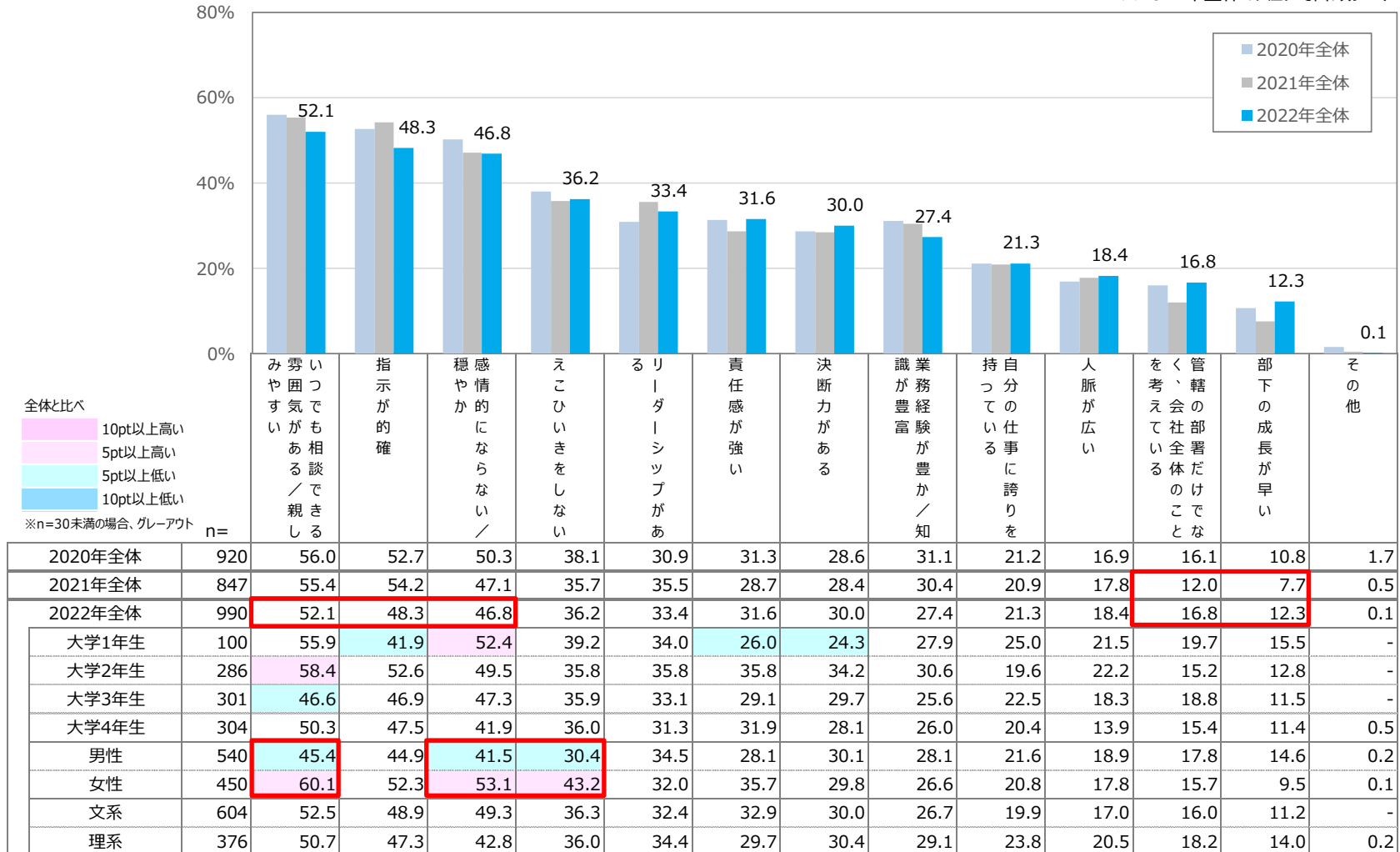
(%)

3-6. アルバイト先の理想の上司像（当てはまるものすべて）

- ◆ 2022年全体では、「いつでも相談できる雰囲気がある/親しみやすい」が52.1%と最も高く半数を占め、次いで「指示が的確」が48.3%、「感情的にならない/穏やか」が46.8%となった。
- ◆ 前年比では、「管轄の部署だけでなく、会社全体のことを考えている」が4.8pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「部下の成長が早い」が4.6pt増となった。
- ◆ 性別では、[女性]の「いつでも相談できる雰囲気がある/親しみやすい」「感情的にならない/穏やか」「えこひいきしない」が男性より高い傾向。

Q あなたが考えるアルバイト先の理想の上司像として、当てはまるものをお選びください。（複数回答）

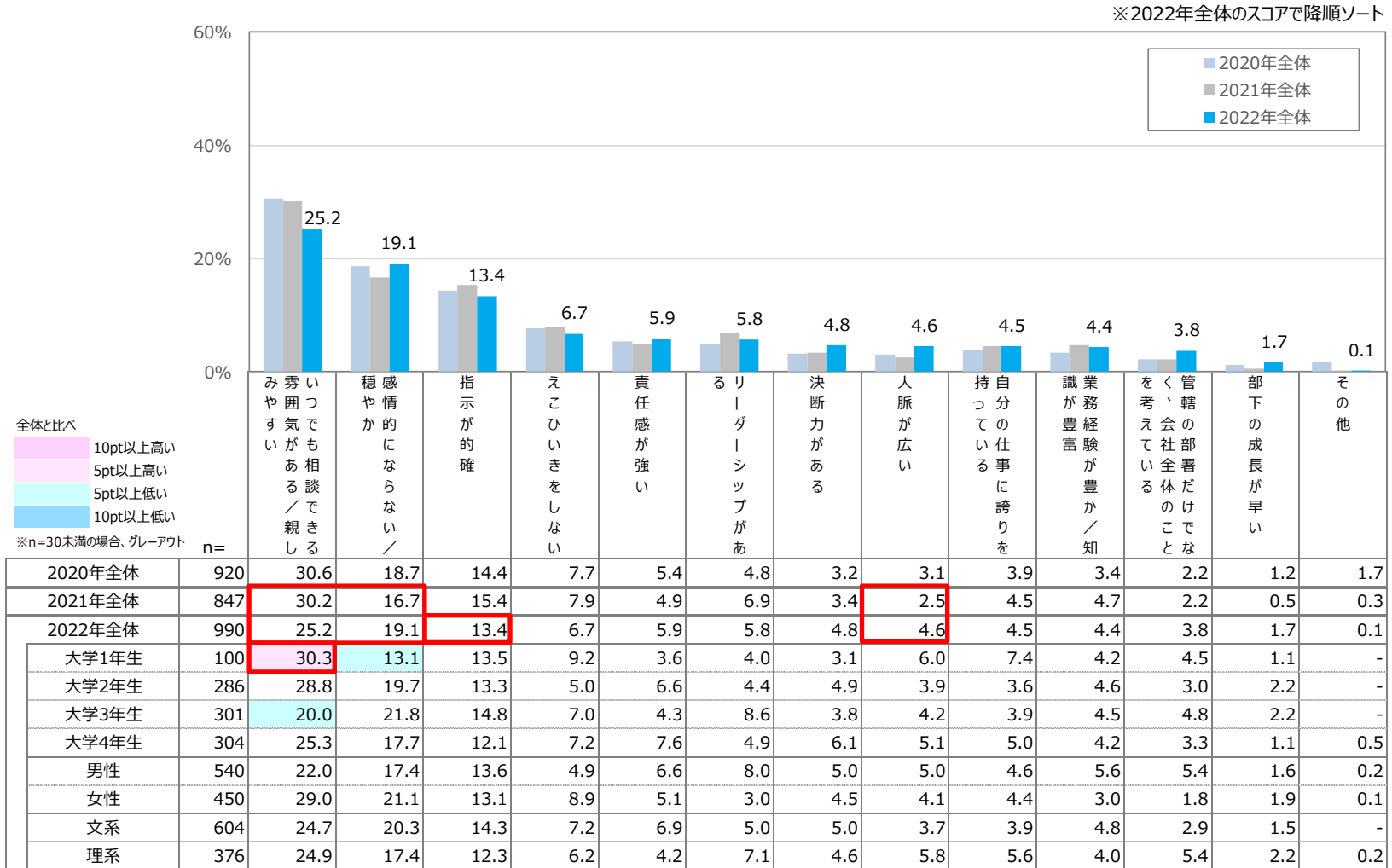
※2022年全体のスコアで降順ソート



3-6. アルバイト先の理想の上司像（最も当てはまる）

- ◆ 2022年全体では、「いつでも相談できる雰囲気がある/親しみやすい」が25.2%と最も高く、次いで「感情的にならない/穏やか」が19.1%、「指示が的確」が13.4%となった。
- ◆ 前年比では、「感情的にならない/穏やか」が2.4pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「人脈が広い」が2.1pt増となった。
- ◆ 2022年全体比では【大学1年生】の「いつでも相談できる雰囲気がある/親しみやすい」が全体より5pt以上高くなった。

Q あなたが考えるアルバイト先の理想の上司像として、当てはまるものをお選びください。（単一回答）

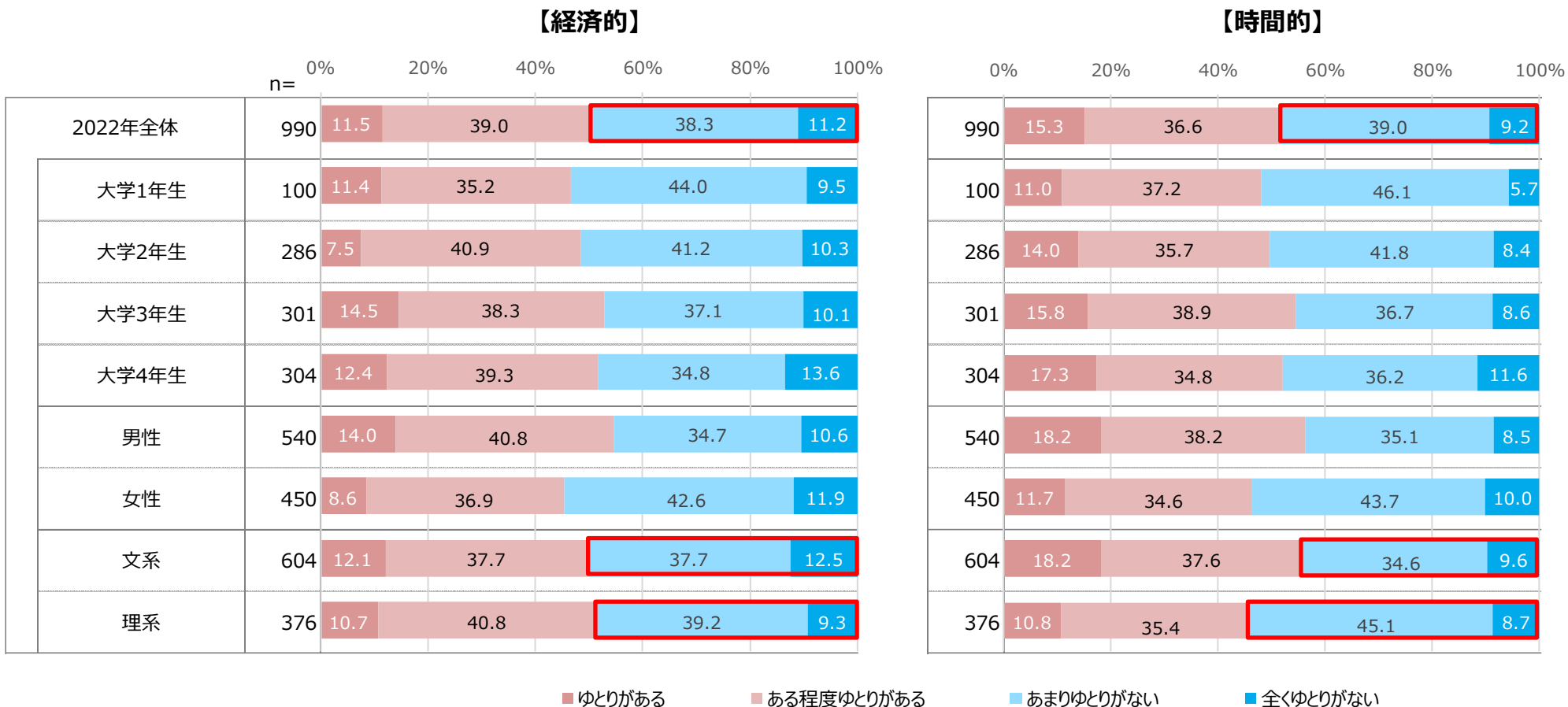


(%)

3-7. 経済的・時間的ゆとりの有無

- ◆ 経済的なゆとりがあるかを2022年全体でみると、「ゆとりがない・計（あまりゆとりがない+全くゆとりがない）」は49.5%となった。
- ◆ 時間的なゆとりがあるかを2022年全体でみると、「ゆとりがない・計（あまりゆとりがない+全くゆとりがない）」は48.2%となった。
- ◆ 文理では、経済的にゆとりがあるかは概ね同様の傾向だったが、時間的に「ゆとりがない・計（あまりゆとりがない+全くゆとりがない）」は [文系] が44.2%に対して、[理系] が53.8%と理系の方が文系より高くなった。

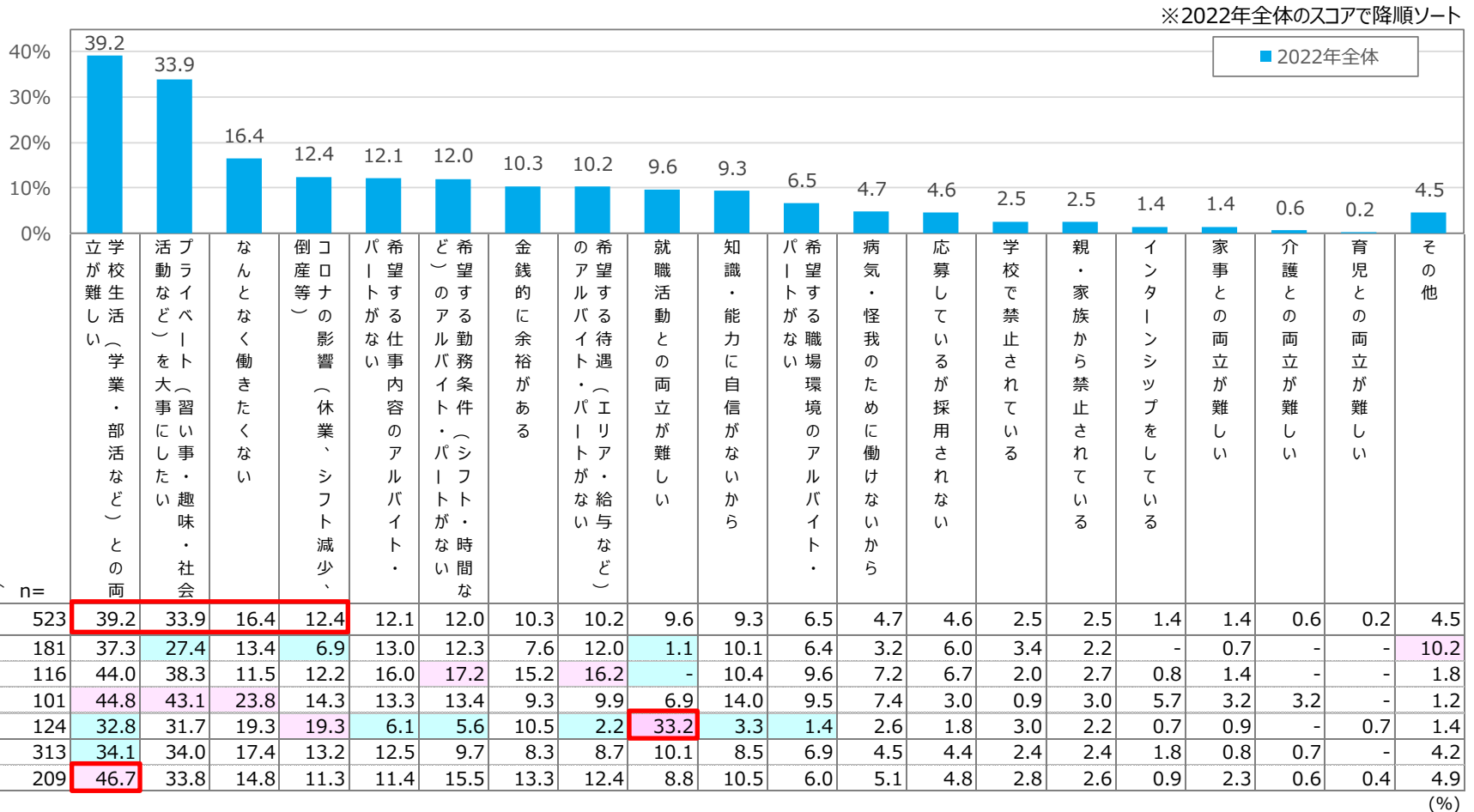
Q 経済的・時間的なゆとりがあるかについて教えてください。（単一回答）



3-8. アルバイトをしていない理由（当てはまるものすべて）

- ◆ 2022年全体では、「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」が39.2%と最も高く、次いで「プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい」が33.9%、「なんとなく働きたくない」が16.4%、「コロナの影響（休業、シフト減少、倒産等）」が12.4%となった。
- ◆ [大学4年生]では「就職活動との両立が難しい」が33.2%と最も高くなった。
- ◆ 性別では、「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」は[男性]が34.1%に対して、[女性]が46.7%と女性の方が男性より高い。

Q 現在アルバイトをしていない理由として、当てはまるものをお選びください。
【ベース：現在アルバイトをしていない人】（複数回答）

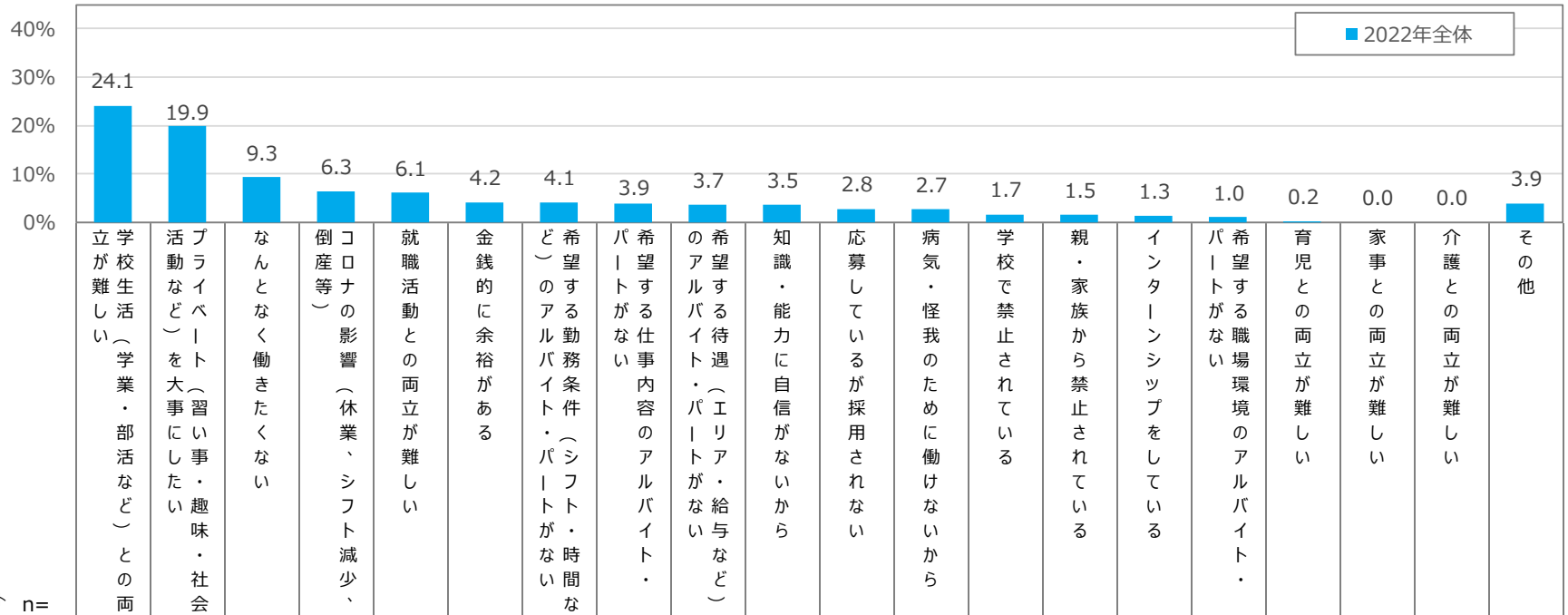


3-8. アルバイトをしていない理由（最も当てはまる）

- ◆ 2022年全体では、「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」が24.1%と最も高く、次いで「プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい」が19.9%、「なんとなく働きたくない」が9.3%、「コロナの影響（休業、シフト減少、倒産等）」が6.3%となった。
- ◆ [大学4年生] では「就職活動との両立が難しい」が22.3%と最も高くなった。

Q 現在アルバイトをしていない理由として、当てはまるものをお選びください。
【ベース：現在アルバイトをしていない人】（単一回答）

※2022年全体のスコアで降順ソート



全体と比べ
 10pt以上高い
 5pt以上高い
 5pt以上低い
 10pt以上低い

※n=30未満の場合、グレーアウト

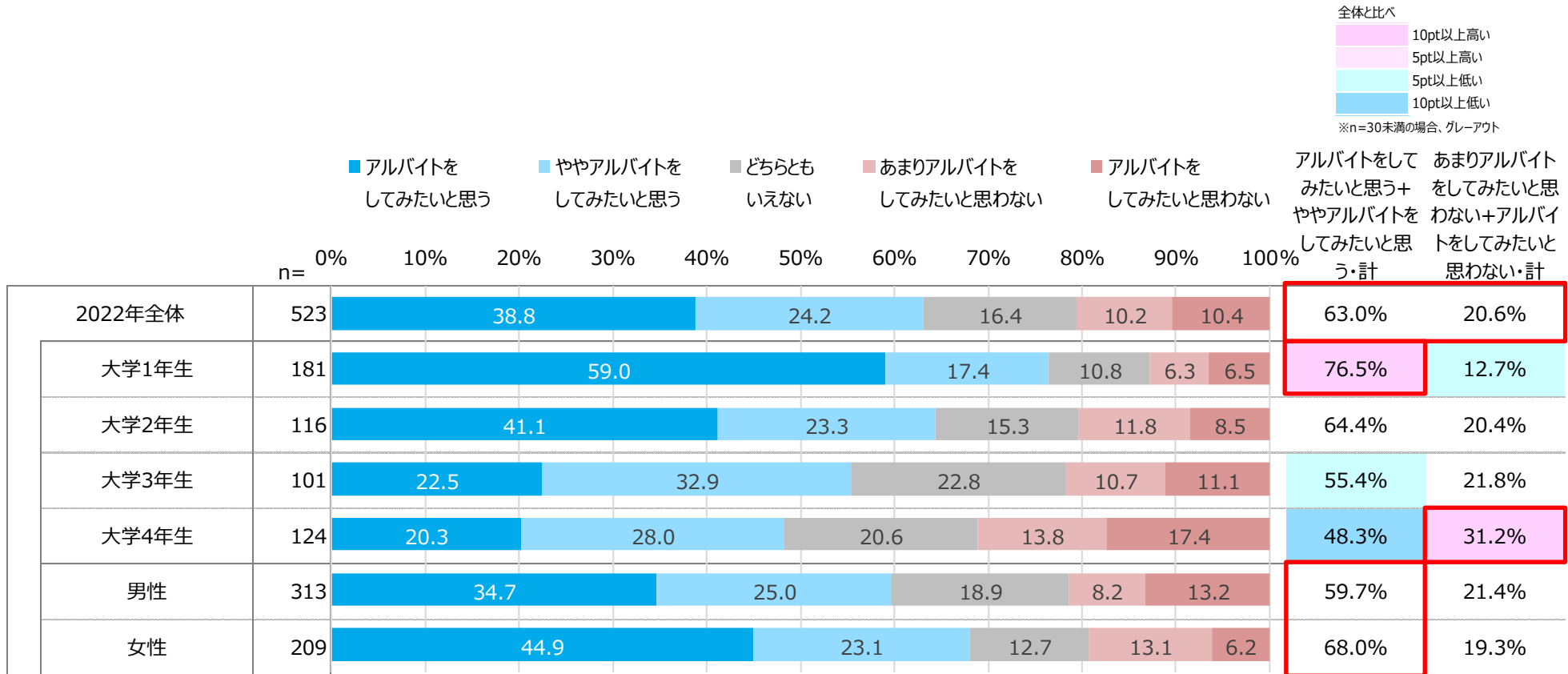
	n	2022年全体	学校生活（学業・部活など）との両立が難しい	プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい	なんとなく働きたくない	コロナの影響（休業、シフト減少、倒産等）	就職活動との両立が難しい	金銭的に余裕がある	希望するアルバイト条件（シフト・時間など）のアルバイトがない	希望する仕事内容のアルバイトがない	希望する待遇（エリア・給与など）のアルバイトがない	知識・能力に自信がないから	応募しているが採用されない	病気・怪我のために働けないから	学校で禁止されている	親・家族から禁止されている	インターンシップをしている	希望する職場環境のアルバイトがない	育児との両立が難しい	家事との両立が難しい	介護との両立が難しい	その他
2022年全体	523	24.1	19.9	9.3	6.3	6.1	4.2	4.1	3.9	3.7	3.5	2.8	2.7	1.7	1.5	1.3	1.0	0.2	-	-	-	3.9
大学1年生	181	26.5	17.4	9.4	4.1	0.6	1.6	5.4	4.0	4.2	5.4	4.8	2.0	2.8	2.2	-	0.5	-	-	-	-	9.1
大学2年生	116	23.3	22.0	6.0	5.1	-	6.5	7.4	6.8	7.9	2.0	3.0	3.7	2.0	1.7	0.8	1.0	-	-	-	-	0.8
大学3年生	101	28.9	23.4	12.2	6.5	3.0	3.6	1.0	0.9	2.5	5.6	1.2	2.9	-	-	4.8	2.4	-	-	-	-	1.2
大学4年生	124	17.3	18.7	9.8	10.5	22.3	6.3	1.5	3.5	-	0.7	0.8	2.6	1.0	1.5	0.7	0.7	0.7	0.7	-	-	1.4
男性	313	22.6	22.3	10.5	7.4	6.1	3.5	3.4	3.8	2.7	3.3	2.5	2.6	1.7	1.2	1.5	0.9	-	-	-	-	3.8
女性	209	26.3	16.2	7.4	4.6	6.0	5.2	5.1	4.1	5.2	4.0	3.2	2.7	1.6	2.0	0.9	1.1	0.4	-	-	-	4.0

(%)

3-9. アルバイト就業意向【学期中】

- ◆ 学期中のアルバイト就業意向を2022年全体でみると、「就業意向あり（アルバイトをしてみたいと思う+ややアルバイトをしてみたいと思う）」は63.0%、「就業意向なし（あまりアルバイトをしてみたいと思わない+アルバイトをしてみたいと思わない）」は20.6%となった。
- ◆ 「就業意向あり」は大学1年生で76.5%と全体より10pt以上高く、「就業意向なし」は就職活動で忙しい大学4年生で31.2%と全体より10pt以上高くなった。
- ◆ 性別では、「就業意向あり」は【男性】が59.7%に対して、【女性】が68.0%となり、女性の方が男性より就業意向が高くなった。

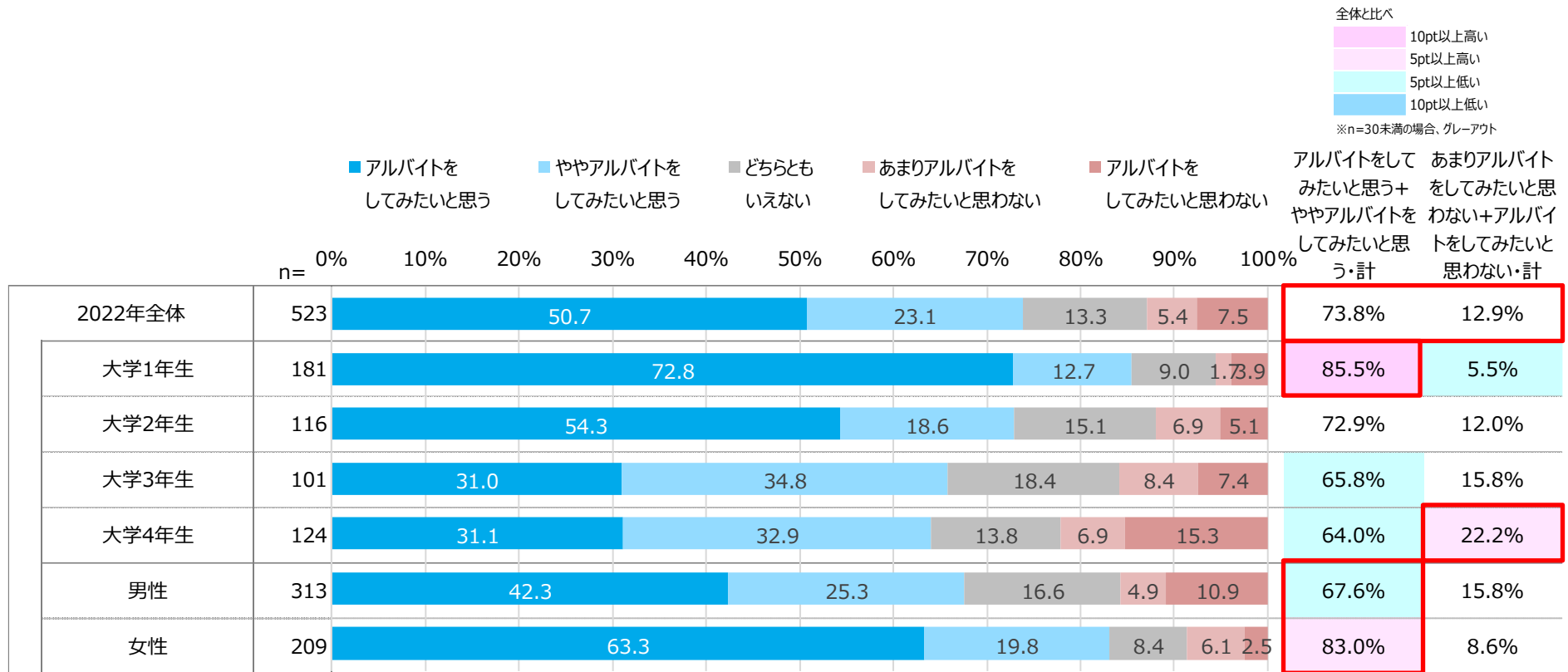
Q あなたは、大学生の間にアルバイトをしてみたいと思いますか。
 【ベース：現在アルバイトをしていない人】：学期中（ふだんの学校に通っているとき、休日含む）（単一回答）



3-9. アルバイト就業意向【長期休み中】

- ◆ 長期休み中のアルバイト就業意向を2022年全体で見ると、「就業意向あり（アルバイトをしてみたいと思う+ややアルバイトをしてみたいと思う）」は73.8%、「就業意向なし（あまりアルバイトをしてみたいと思わない+アルバイトをしてみたいと思わない）」は12.9%となった。
- ◆ 「就業意向あり」は大学1年生で85.5%と全体より10pt以上高く、「就業意向なし」は就職活動で忙しい大学4年生で22.2%と全体より5pt以上高くなった。
- ◆ 性別では、「就業意向あり」は【男性】が67.6%に対して、【女性】が83.0%となり、女性の方が男性より就業意向が高くなった。

Q あなたは、大学生の間にアルバイトをしてみたいと思いますか。
 【ベース：現在アルバイトをしていない人】：春休み・夏休みなどの長期休み中（単一回答）

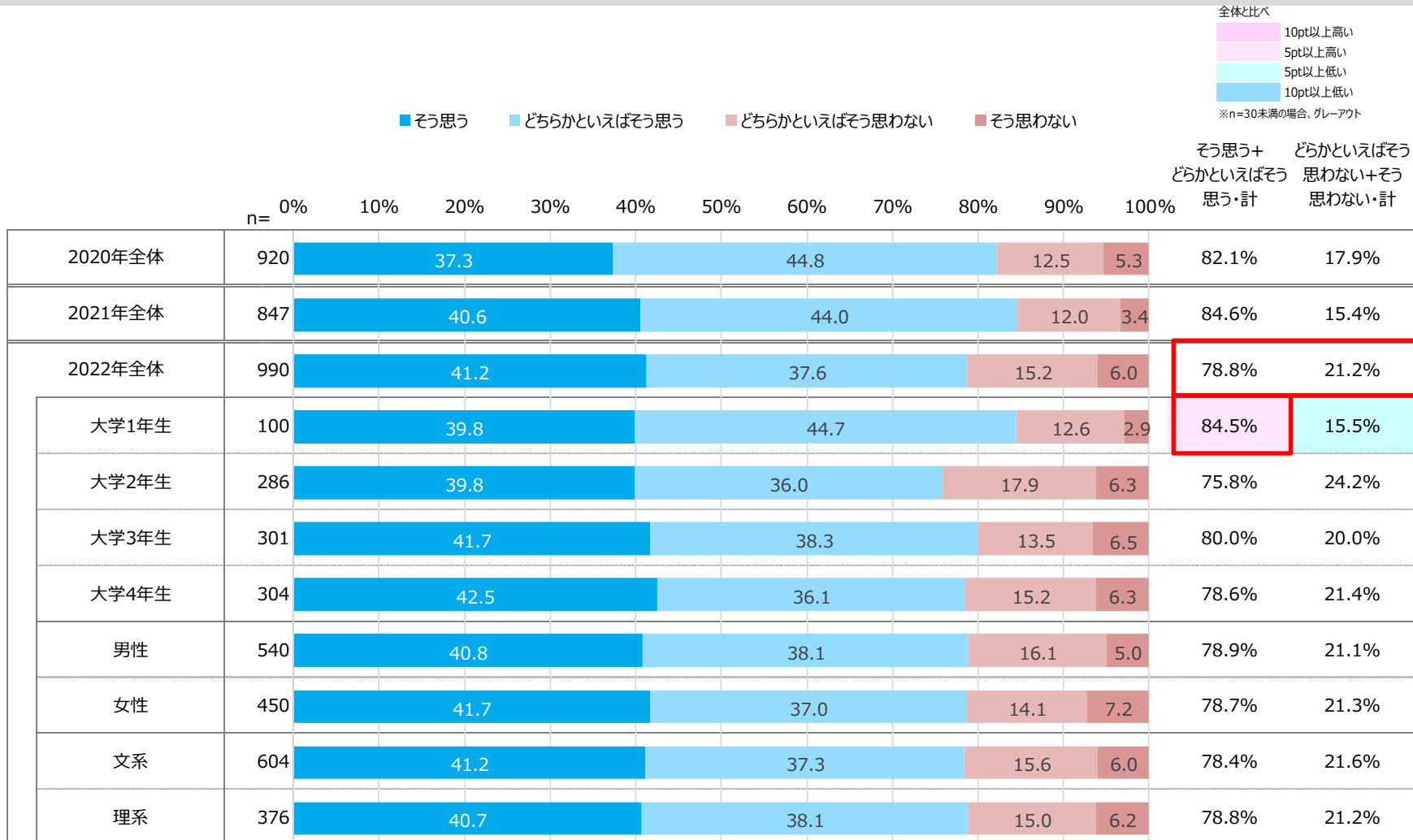


4. 現在のアルバイト先への意識

4-1. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイト先で長く働きたいと思える】

- ◆ 2022年全体では、現在のアルバイト先で「長く働きたい・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は78.8%、「長く働きたくない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない・計）」は21.2%となった。
- ◆ 前年比では、「長く働きたい・計」は5.8pt減となった。
- ◆ 「長く働きたい・計」は大学1年生で84.5%と全体より5pt以上高くなった。

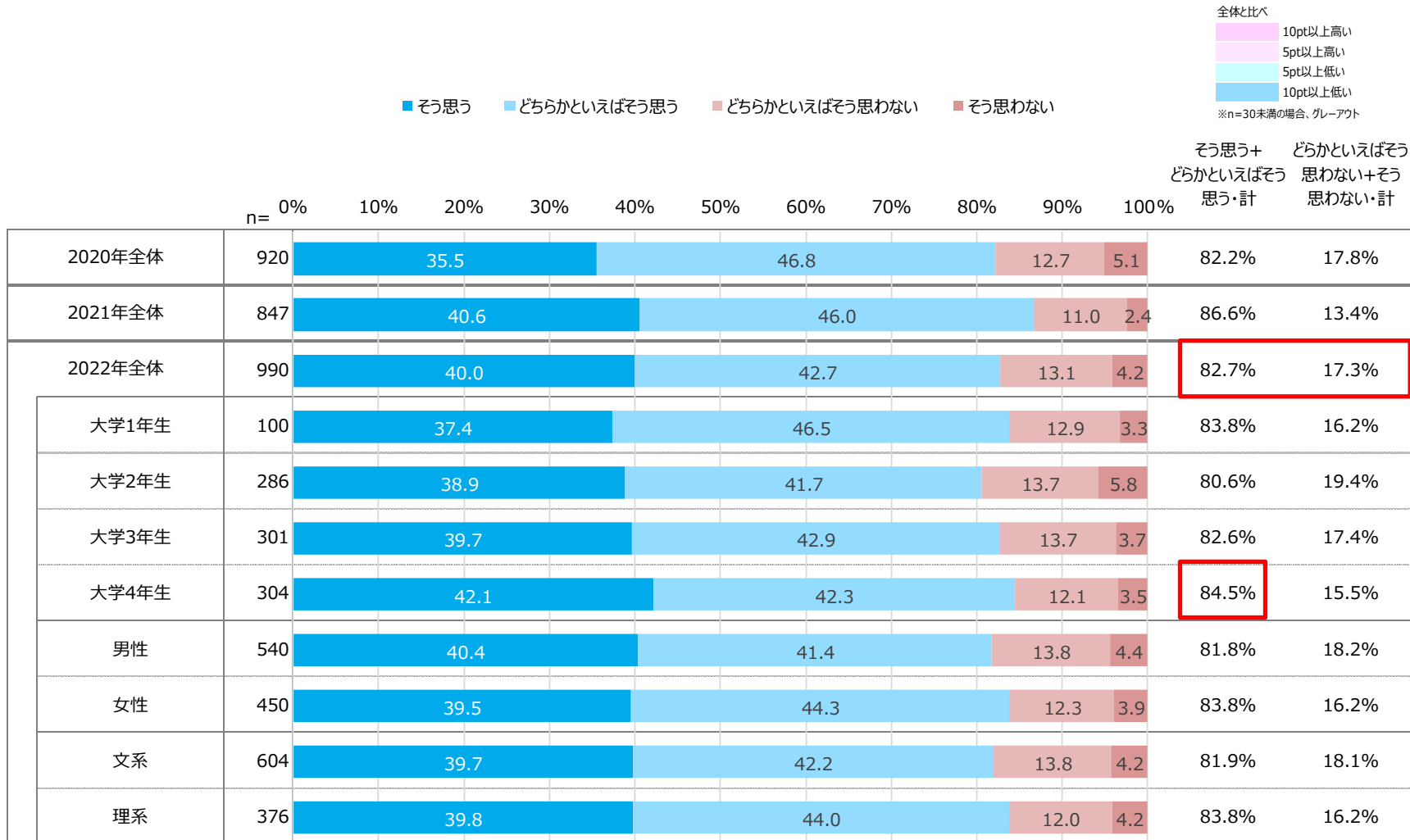
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度当てはまると思いますか。
【現在のアルバイト先で長く働きたいと思える】（単一回答）



4-2. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイト先に満足している】

- ◆ 2022年全体では、現在のアルバイト先に「満足・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は82.7%、「不満・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない・計）」は17.3%となった。
- ◆ 前年比では、「満足・計」は3.9pt減となった。
- ◆ 全体比では【大学4年生】で「満足・計」が84.5%とやや高い。

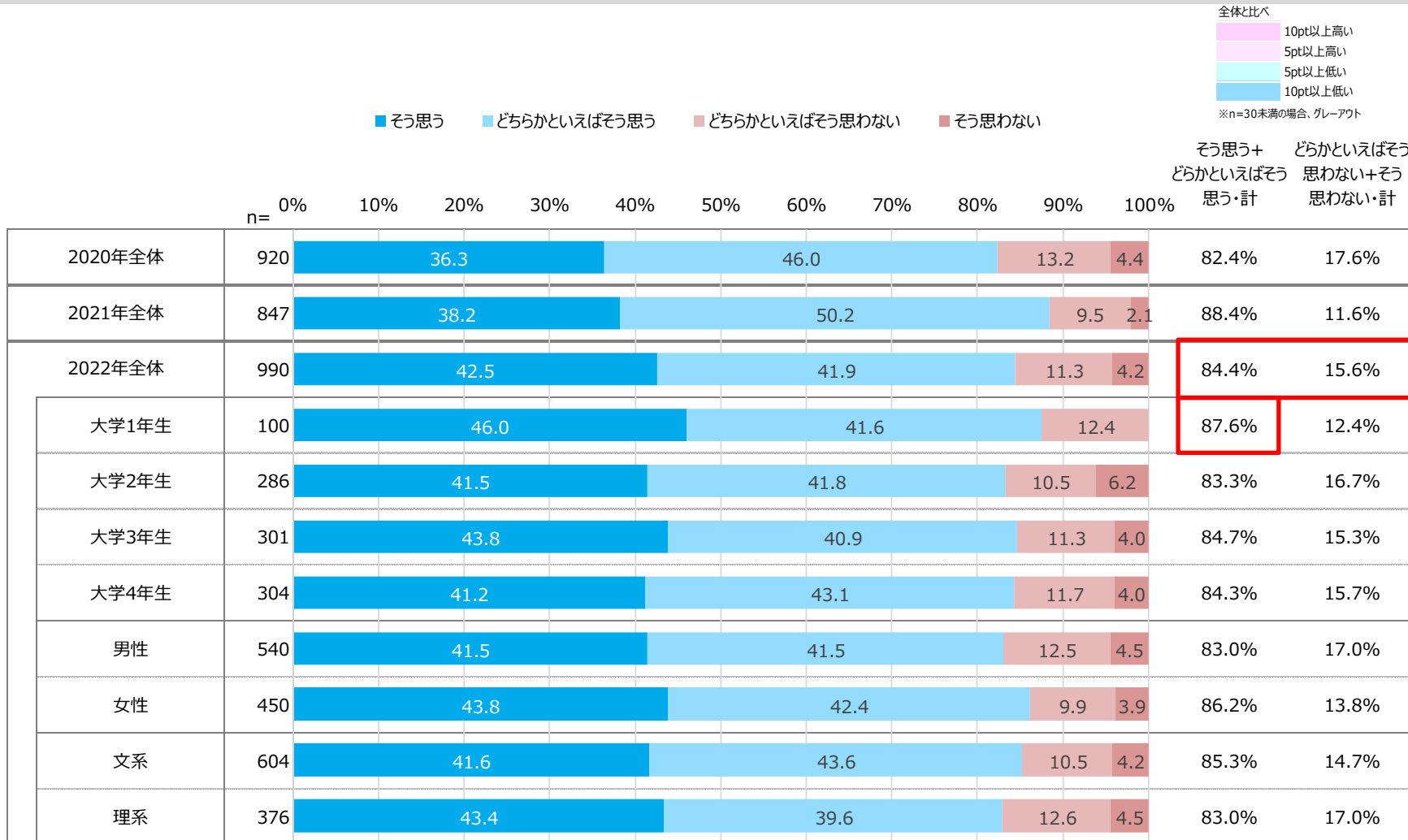
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度当てはまると思いますか。
【現在のアルバイト先に満足している】（単一回答）



4-3. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイトに前向きに取り組める】

- ◆ 2022年全体では、現在のアルバイトに「前向き・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は84.4%、「前向きでない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない・計）」は15.6%となった。
- ◆ 前年比では、「前向き・計」は4.0pt減となった。
- ◆ 全体比では【大学1年生】で「前向き・計」が87.6%とやや高い。

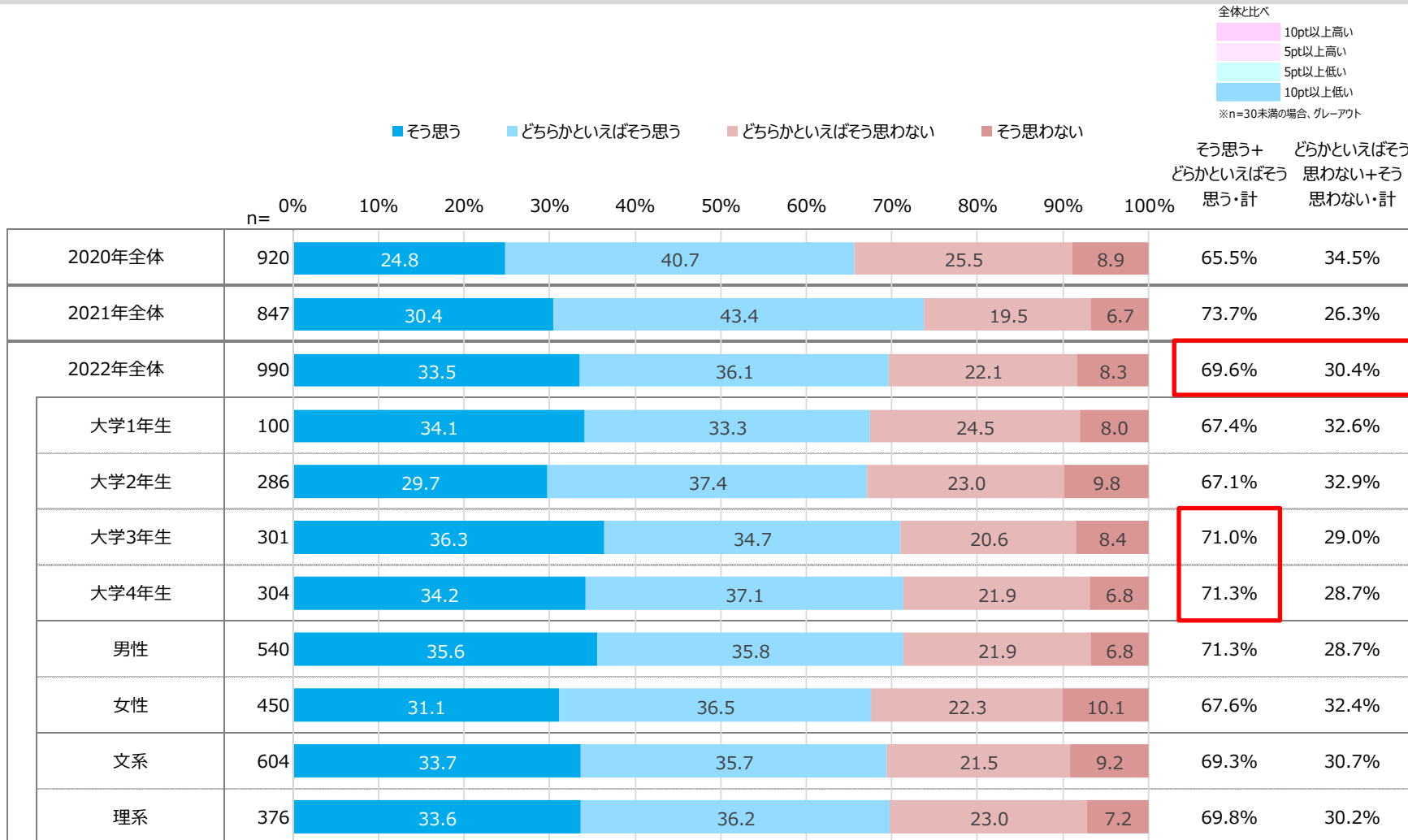
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度当てはまると思いますか。
【現在のアルバイトに前向きに取り組める】（単一回答）



4-4. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思える】

- ◆ 2022年全体では、現在のアルバイト先を家族や友人に「薦めたい・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は69.6%、「薦めたくない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない）」は30.4%となった。
- ◆ 前年比では、「薦めたい・計」は4.1pt減となった。
- ◆ 全体比では「薦めたい・計」は [大学4年生] で71.3%、[大学3年生] で71.0%とやや高い。

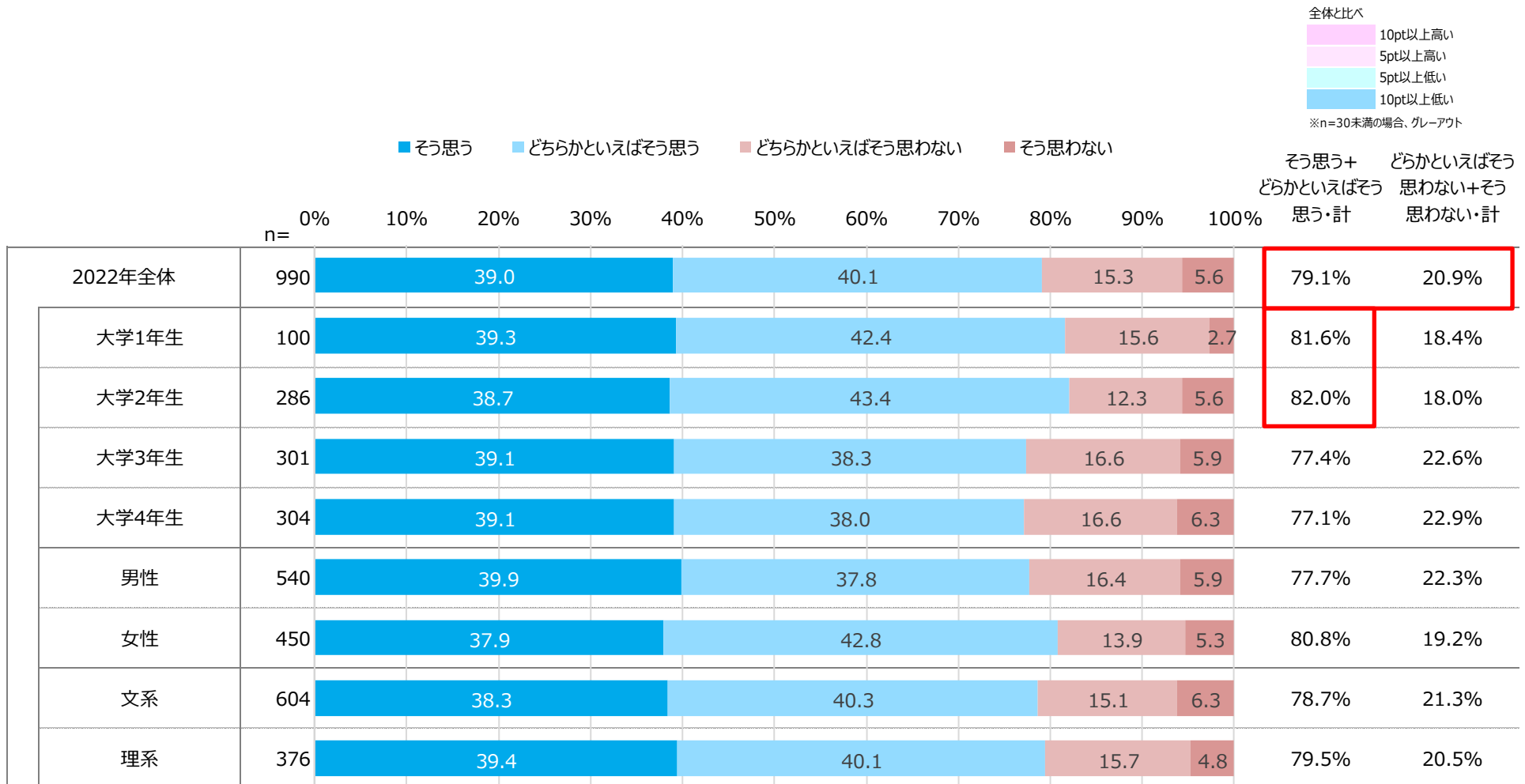
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度当てはまると思いますか。
【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思える】（単一回答）



4-5. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイト・パートに充実感を感じる】

- ◆ 2022年全体では、現在のアルバイトに「充実している・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は79.1%、「充実していない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない）」は20.9%となった。
- ◆ 全体比では「充実している・計」は[大学2年生]でが82.0%、[大学1年生]で81.6%とやや高い。

Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度当てはまると思いますか。
【現在のアルバイトに充実感を感じる】（単一回答）

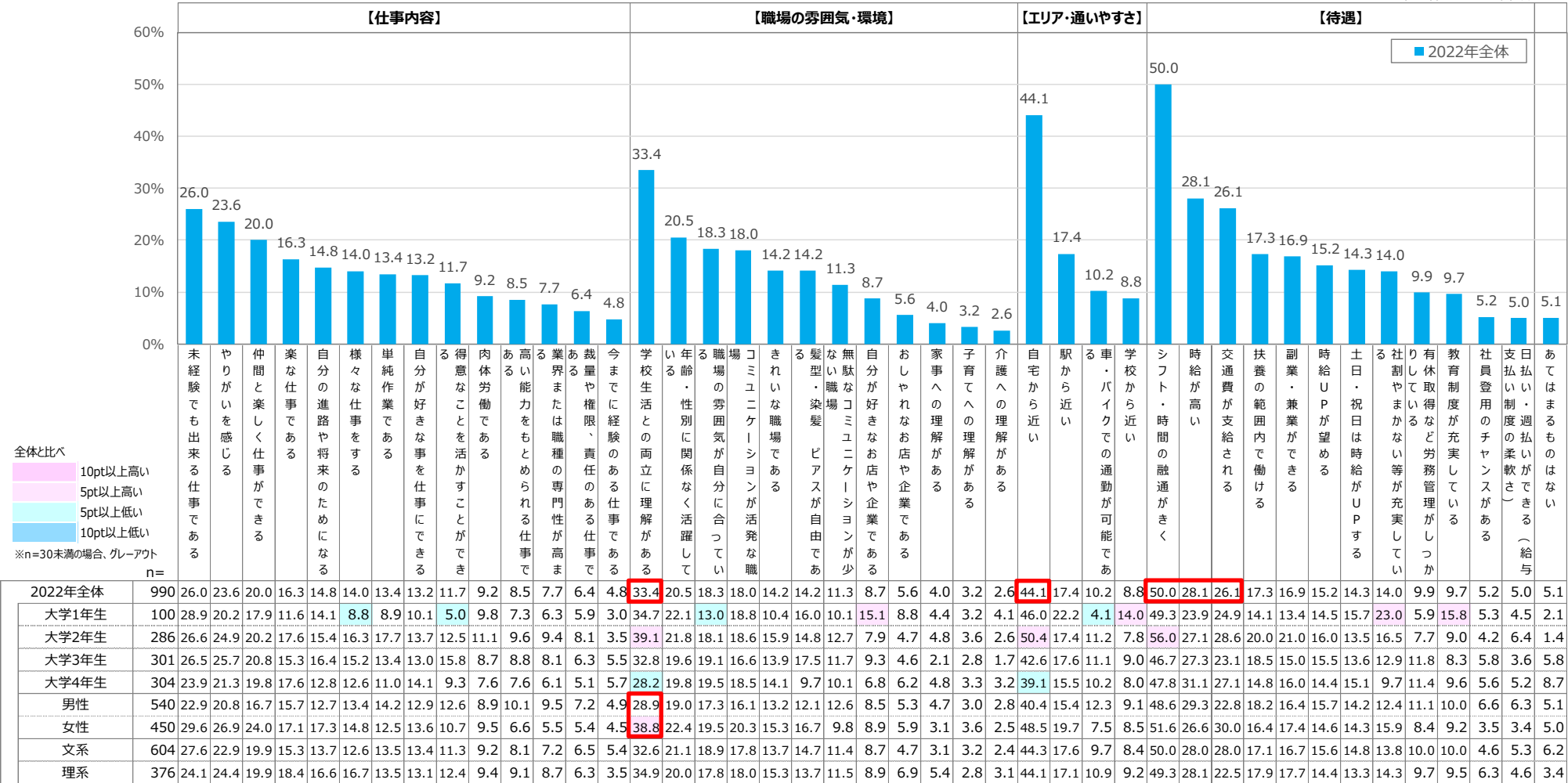


4-6. 現在のアルバイト実態

- ◆ 2022年全体では、「シフト・時間の融通がきく」が50.0%と最も高く、次いで「自宅から近い」が44.1%、「学校生活との両立に理解がある」が33.4%、「時給が高い」が28.1%、「交通費が支給される」が26.1%となった。
- ◆ 「学校生活との両立に理解がある」は [女性] が38.8%に対して、[男性] は28.9%となり、女性の方が男性より高くなった。

Q 現在しているアルバイトについて当てはまるものをすべてお選びください。※複数のアルバイトをしている場合はメインのアルバイトについてお答えください。（複数回答）

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアを降順ソート



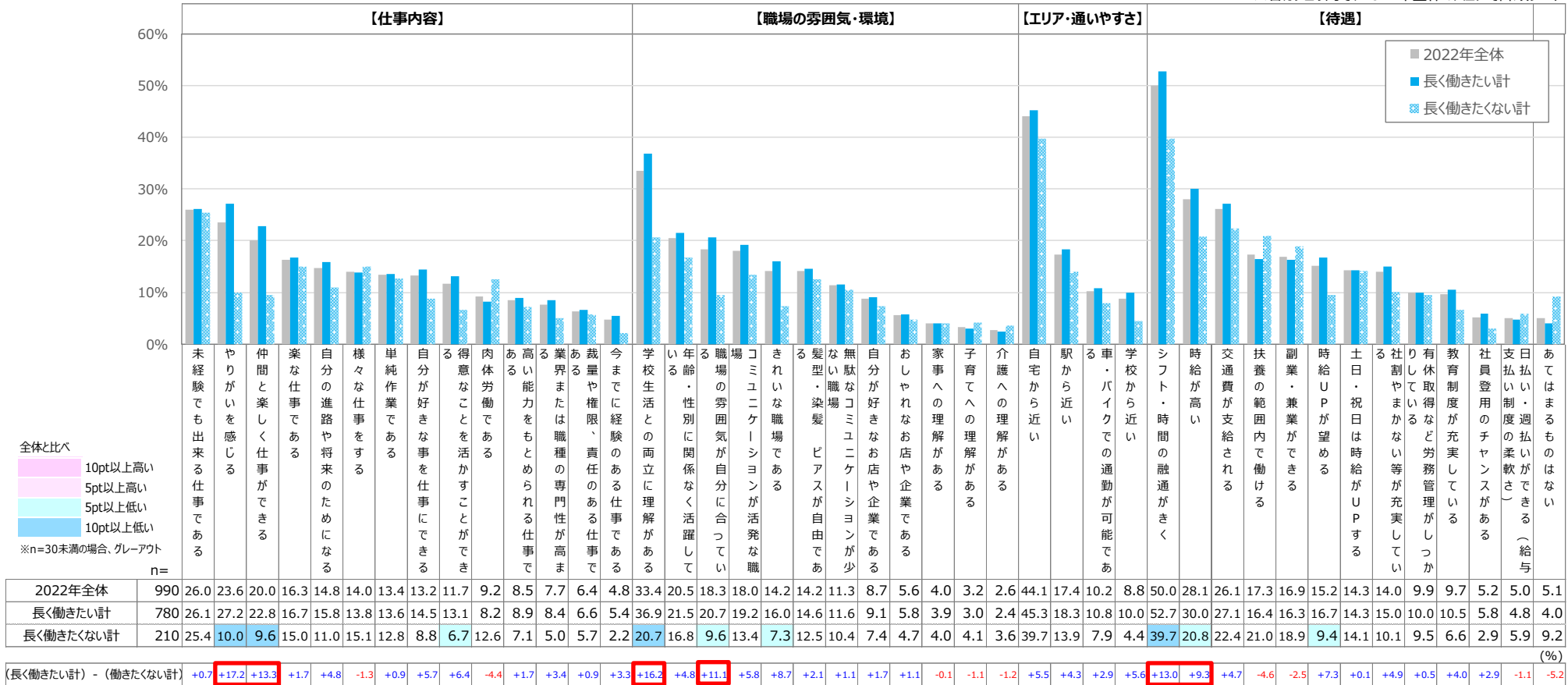
全体と比べ
 10pt以上高い
 5pt以上高い
 5pt以上低い
 10pt以上低い
 ※n=30未満の場合、グレーアウト

4-6. 現在のアルバイト実態×長く働きたいと思えるか

◆ 現在のアルバイト実態について、長く働きたい計が長く働きたくない計を上回ったのは「やりがいを感じる」が+17.2ptと最も大きく、次いで「学校生活との両立に理解がある」が+16.2pt、「仲間と楽しく仕事ができる」が+13.3pt、「シフト・時間の融通がきく」が+13.0pt、「職場の雰囲気自分が合っている」が+11.1pt、「時給が高い」が+9.3ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについて当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答）×【現在のアルバイト先で長く働きたいと思える】

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアを降順ソート

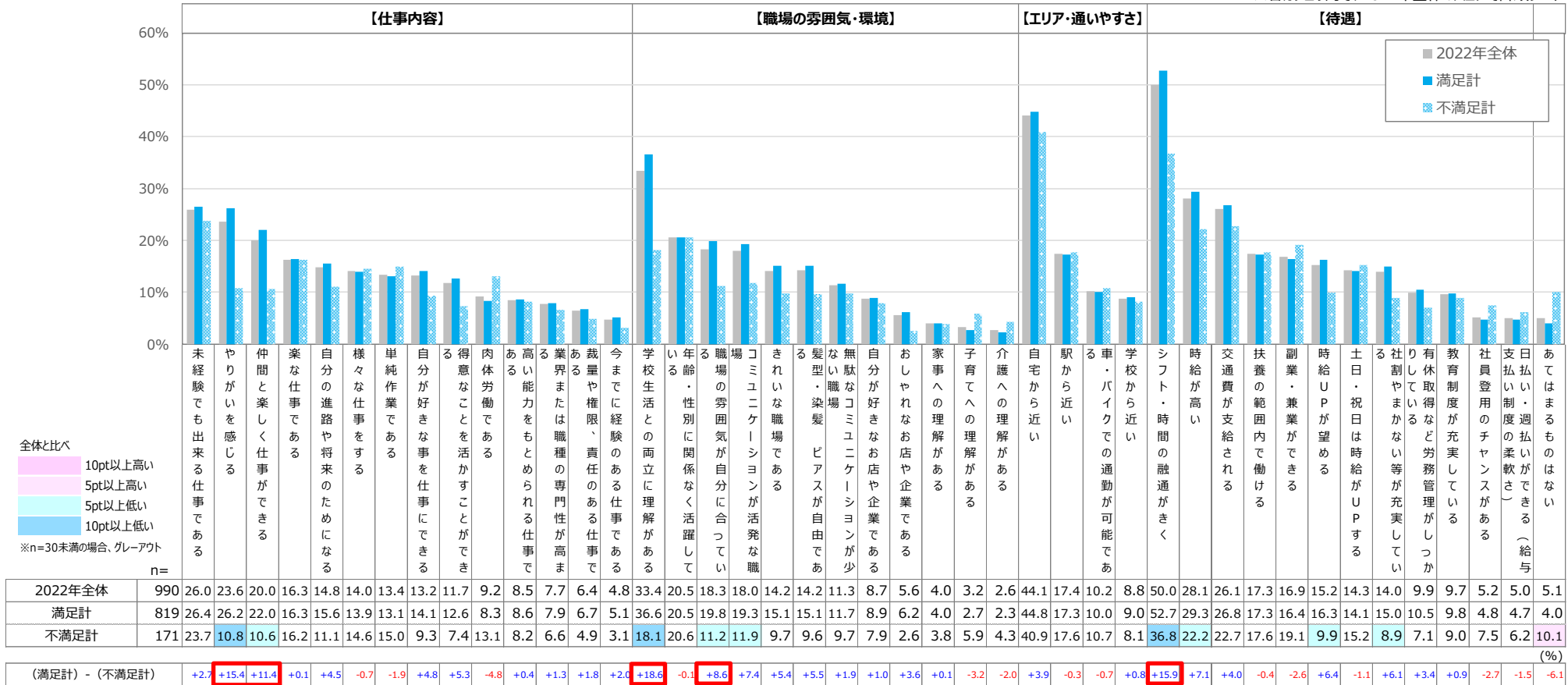


4-6. 現在のアルバイト実態×満足感

◆ 現在のアルバイト実態について、満足計が不満計を上回ったのは「学校生活との両立に理解がある」が+18.6ptと最も大きく、次いで「シフト・時間の融通がきく」が+15.9pt、「やりがいを感じる」が+15.4pt、「仲間と楽しく仕事ができる」が+11.4pt、「職場の雰囲気が自分に合っている」が+8.6ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについて当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答） × 【現在のアルバイト先に満足している】

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート

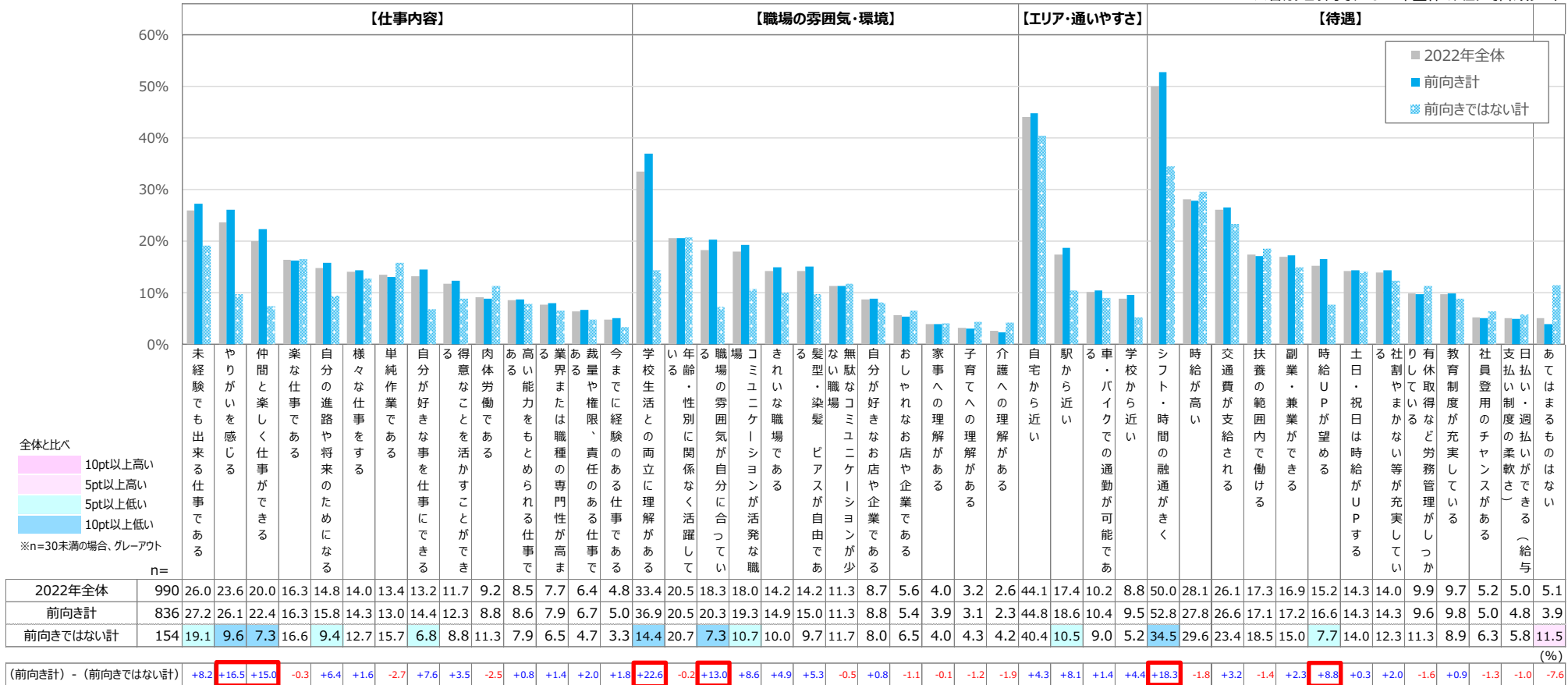


4-6. 現在のアルバイト実態×前向きに取り組める

◆ 現在のアルバイト実態について、前向き計が前向きでない計を上回ったのは「学校生活との両立に理解がある」が+22.6pt増と最も大きく、次いで「シフト・時間の融通がきく」が+18.3pt、「やりがいを感じる」が+16.5pt、「仲間と楽しく仕事ができる」が+15.0pt、「職場の雰囲気が自分に合っている」が+13.0pt、「時給UPが望める」が+8.8ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについて当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答） × 【現在のアルバイトに前向きに取り組める】

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート

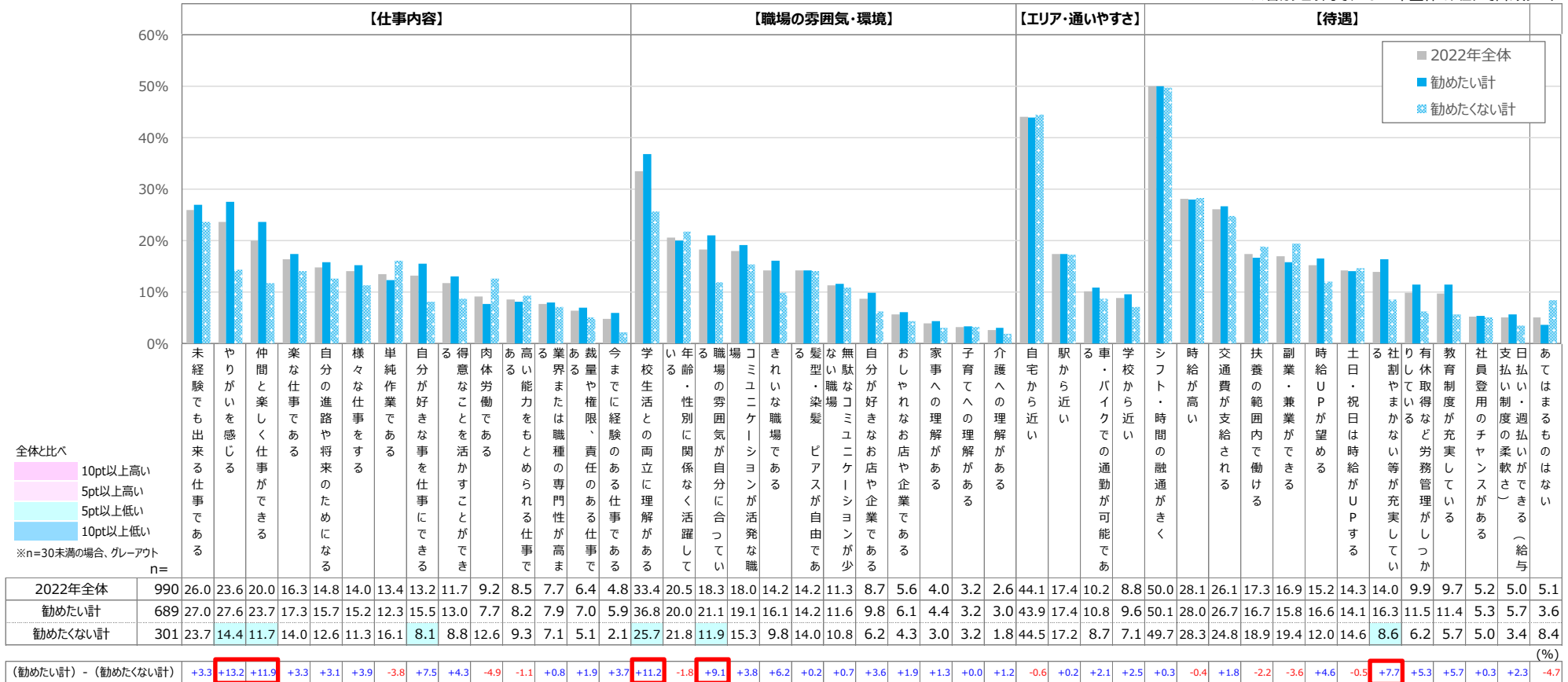


4-6. 現在のアルバイト実態×推奨

◆ 現在のアルバイト実態について、薦めたい計が薦めたくない計を上回ったのは「やりがいを感じる」が+13.2ptと最も大きく、次いで「仲間と楽しく仕事ができる」が+11.9pt、「学校生活との両立に理解がある」が+11.2pt、「職場の雰囲気自分に合っている」が+9.1pt、「社割やまかない等が充実している」が+7.7ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについて当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答） × 【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思える】

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート

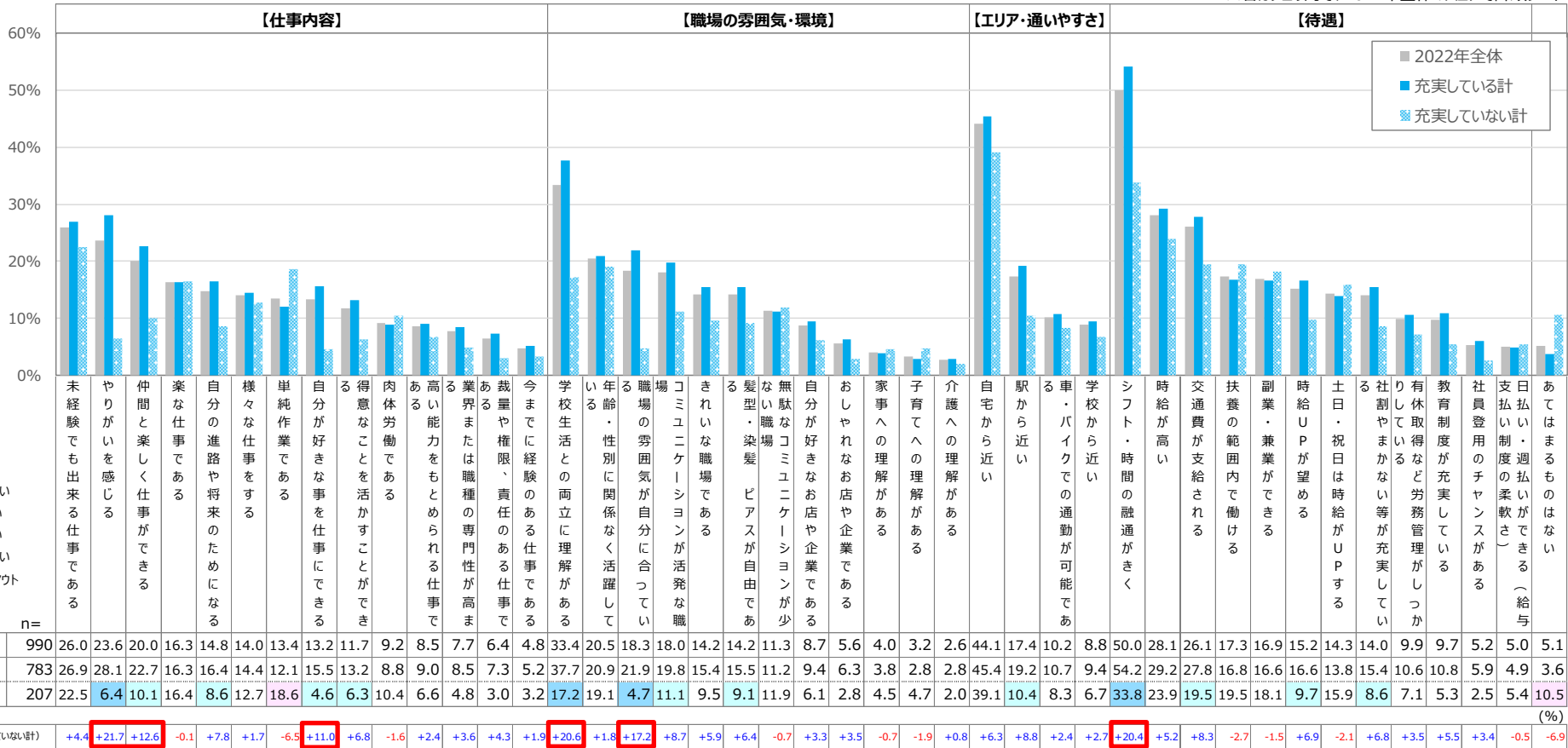


4-6. 現在のアルバイト実態×充実感

◆ 現在のアルバイト実態について、充実している計が充実していない計を上回ったのは「やりがいを感じる」が+21.7ptと最も大きく、次いで「学校生活との両立に理解がある」が+20.6pt、「シフト・時間の融通がきく」が+20.4pt、「職場の雰囲気が自分に合っている」が+17.2pt、「仲間と楽しく仕事ができる」が+12.6pt、「自分が好きな事を仕事にできる」が+11.0ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについて当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答） × 【現在のアルバイトに充実感を感じる】

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート



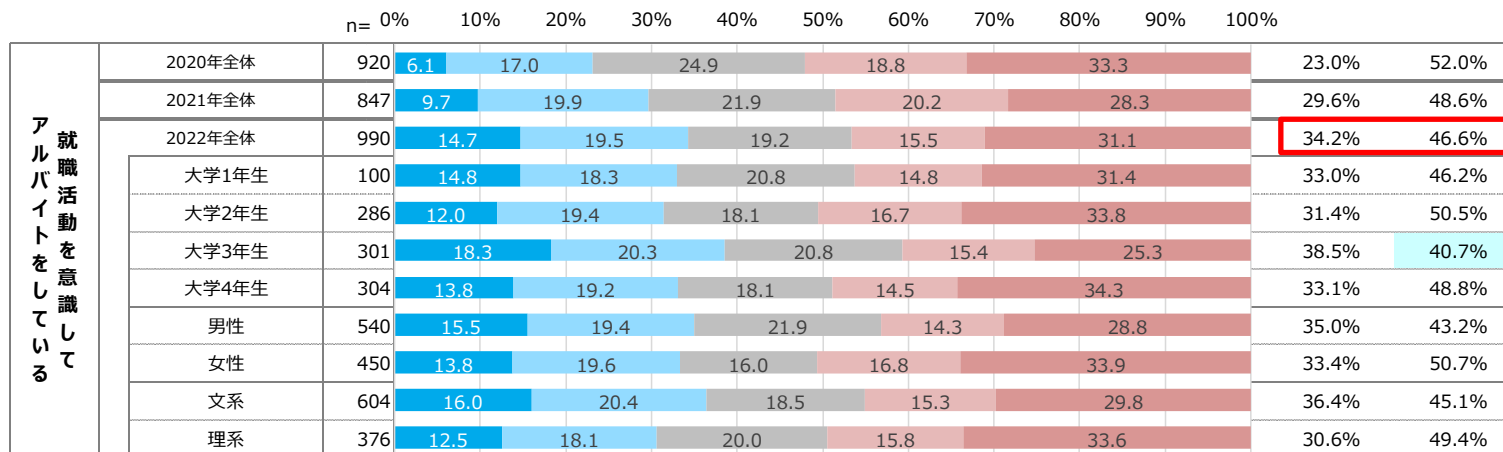
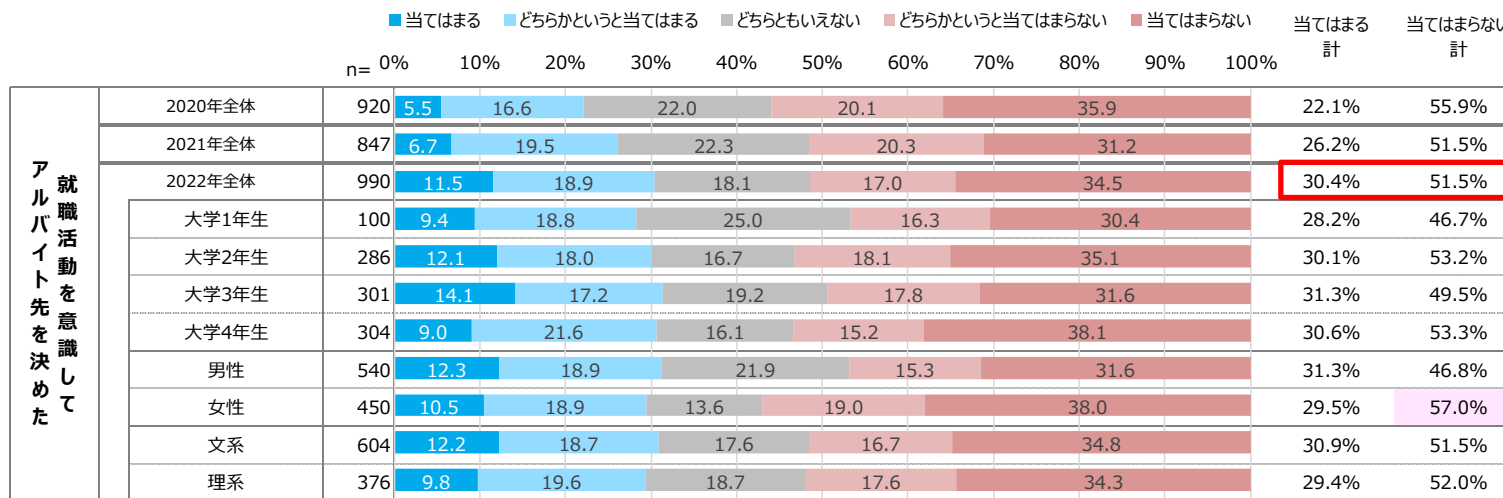
全体と比べ
 10pt以上高い
 5pt以上高い
 5pt以上低い
 10pt以上低い
 ※n=30未満の場合、グレーアウト

5. アルバイトにおける就職活動の意識

5-1. 就職活動への意識有無

- ◆ 就職活動を意識してアルバイト先を決めたかを2022年全体でみると、「当てはまる計（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）」は30.4%、「当てはまらない計（どちらかといえば当てはまらない+当てはまらない）」は51.5%となった。
- ◆ 前年比では、就職活動を意識してアルバイト先を決めたかについて「当てはまる計」は4.2pt増となった。
- ◆ 就職活動を意識してアルバイトをしているかを2022年全体でみると、「当てはまる計（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）」は34.2%、「当てはまらない計（どちらかといえば当てはまらない+当てはまらない）」は46.6%となった。
- ◆ 前年比では、就職活動を意識してアルバイトをしているかについて「当てはまる計」は4.6pt増となった。

Q 現在のアルバイトを選んだ時、また現在アルバイトに取り組んでいる時の、就職活動への意識について、当てはまるものをお選びください。（単一回答）



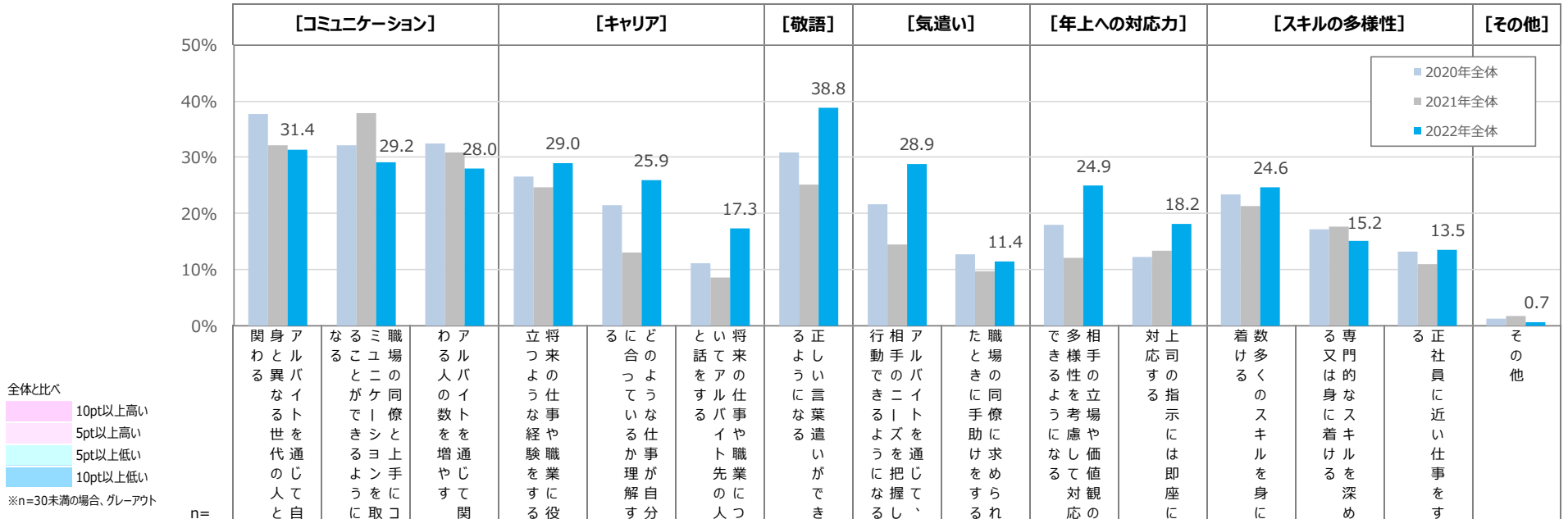
全体と比べ
 10pt以上高い
 5pt以上高い
 5pt以上低い
 10pt以上低い
 ※n=30未満の場合、グレーアウト

5-2. 就職活動への意識項目（アルバイト選びの際に意識したこと）

- ◆ 2022年全体では、「正しい言葉遣いができるようになる」が38.8%と最も高く、次いで「アルバイトを通じて自身と異なる世代の人と関わる」が31.4%、「職場の同僚と上手にコミュニケーションを取ることができるようになる」が29.2%、「将来の仕事や職業に役立つような経験をする」が29.0%となった。
- ◆ 前年比では、「アルバイトを通じて、相手のニーズを把握し行動できるようになる」が14.5pt増、「正しい言葉遣いができるようになる」が13.7pt増、「どのような仕事自分が合っているか理解する」「相手の立場や価値観の多様性を考慮して対応できるようになる」が12.8pt増となった。

Q 前問で就職活動を意識してアルバイト選びをしているとお答えの方にお聞きます。その場合、どのようなことを重視しますか。
【ベース：就職活動意識あり（アルバイト探市中）】（複数回答）

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート



性別/学年	n	意識項目														
		コミュニケーション	キャリア	敬語	気遣い	年上への対応力	スキルの多様性	その他								
2020年全体	203	37.7	32.2	32.4	26.6	21.4	11.2	30.9	21.7	12.7	17.9	12.3	23.4	17.2	13.2	1.3
2021年全体	221	32.1	37.8	30.9	24.6	13.1	8.6	25.1	14.4	9.7	12.1	13.4	21.3	17.6	10.9	1.8
2022年全体	393	31.4	29.2	28.0	29.0	25.9	17.3	38.8	28.9	11.4	24.9	18.2	24.6	15.2	13.5	0.7
大学1年生	37	30.1	31.3	26.5	25.0	17.1	14.7	47.2	27.8	14.3	20.5	22.0	41.7	10.6	16.4	-
大学2年生	108	29.8	33.1	34.6	28.8	28.5	15.2	48.4	29.0	8.4	27.2	19.4	30.8	16.5	14.8	1.0
大学3年生	128	37.7	32.4	26.9	31.8	28.5	17.3	33.3	28.0	12.1	24.9	19.5	20.6	17.9	14.8	-
大学4年生	120	26.6	21.6	23.7	27.5	23.5	19.9	33.3	30.1	12.6	24.2	14.5	18.1	12.5	10.0	1.3
男性	218	26.8	29.5	29.2	23.7	24.0	18.1	33.8	28.6	13.7	24.6	19.6	27.4	18.7	18.1	0.5
女性	175	37.1	28.7	26.5	35.7	28.3	16.2	44.9	29.2	8.5	25.3	16.4	21.2	10.8	7.7	0.9
文系	250	32.1	27.2	25.9	30.3	27.3	19.1	38.4	25.4	8.5	24.5	17.6	22.3	14.4	12.7	0.8
理系	139	31.0	32.8	32.0	26.0	22.6	13.7	39.2	33.7	16.3	25.6	18.9	27.3	15.5	14.4	0.4

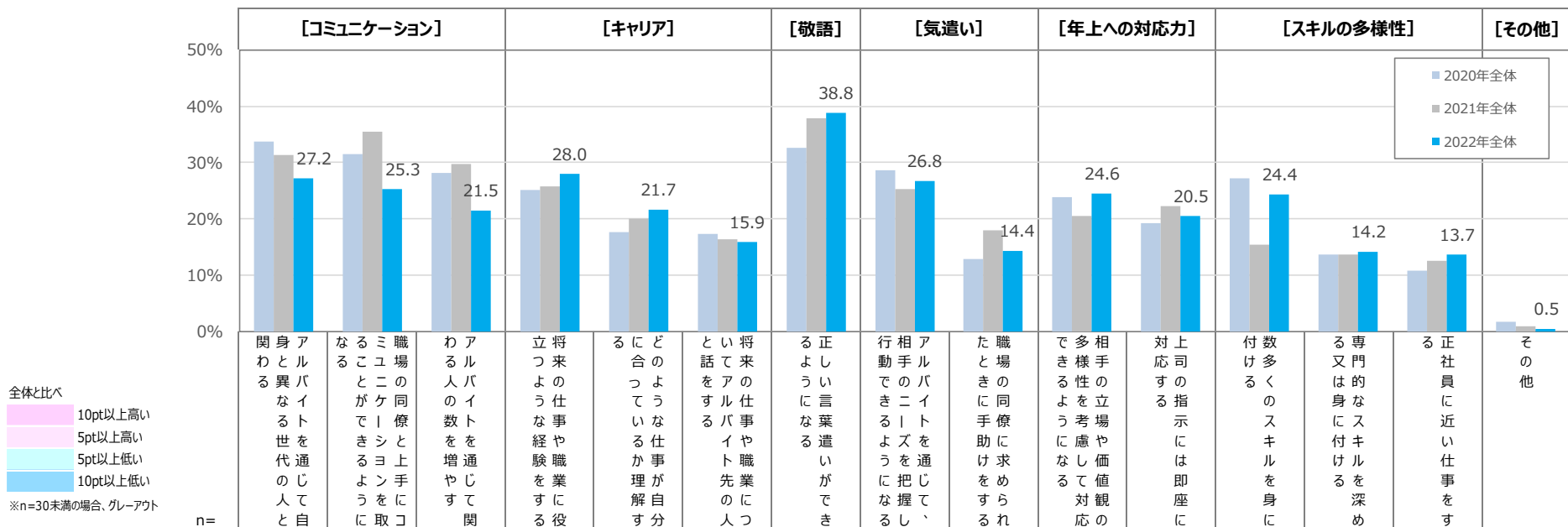
(%)

5-2. 就職活動への意識項目（現在アルバイトをする上で意識していること）

- ◆ 2022年全体では、「正しい言葉遣いができるようになる」が38.8%と最も高く、次いで「将来の仕事や職業に役立つような経験をする」が28.0%、「アルバイトを通じて自身と異なる世代の人と関わる」が27.2%、「アルバイトを通じて、相手のニーズを把握し行動できるようになる」が26.8%となった。
- ◆ 前年比では、「数多くのスキルを身に付ける」が8.9pt増、「相手の立場や価値観の多様性を考慮して対応できるようになる」が4.1pt増となった。

Q 前問で就職活動を意識してアルバイトをしているとお答えの方にお聞きます。その場合、どのようなことを重視しますか。
【ベース：就職活動意識あり（アルバイト中）】（複数回答）

※各カテゴリ内で、2022年全体のスコアで降順ソート



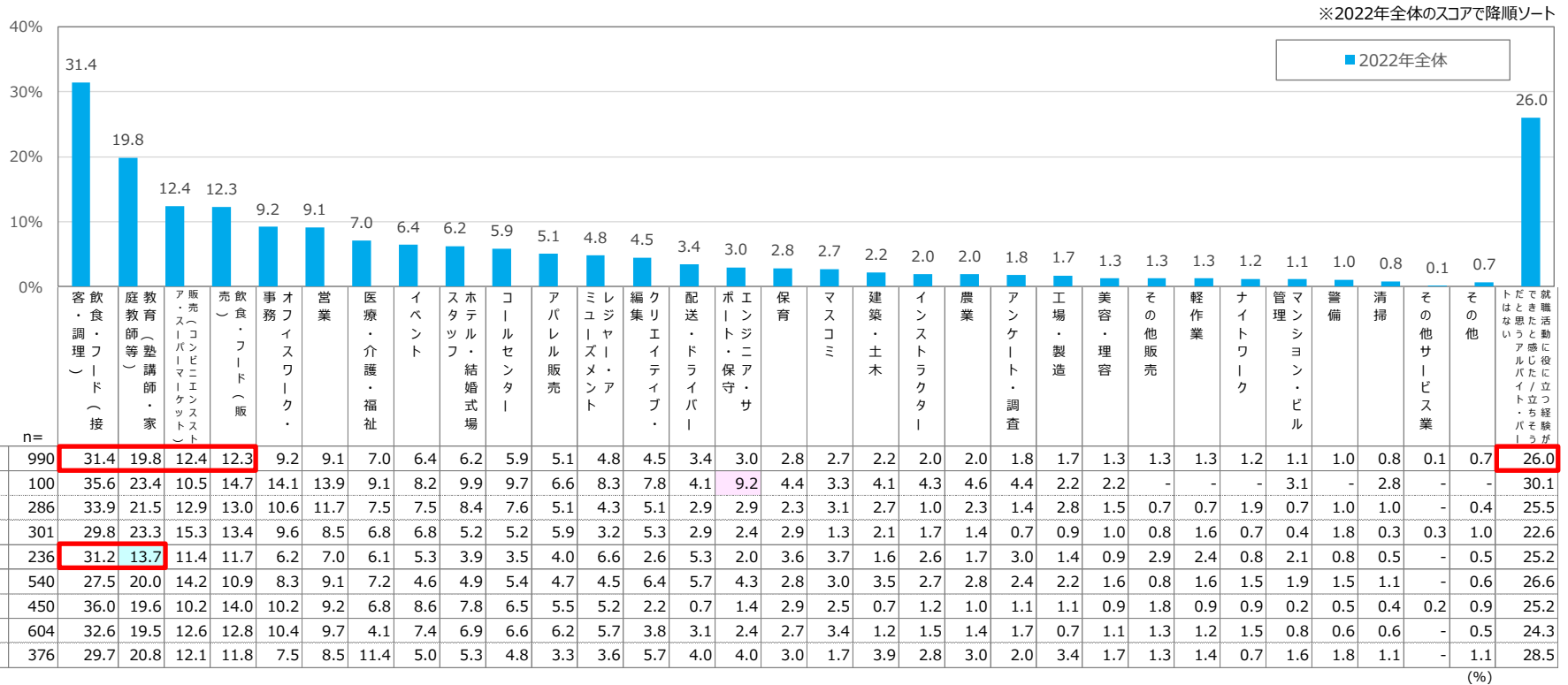
意識していること	n	スコア (%)																							
		2020年全体	2021年全体	2022年全体	大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生	男性	女性	文系	理系	その他												
現在アルバイトを	212	33.7	31.4	27.2	22.4	32.8	27.4	23.4	23.6	31.7	25.8	30.5	28.1	25.1	17.6	17.3	32.6	28.6	12.9	23.9	19.2	27.2	13.6	10.8	1.7
	251	31.4	31.5	25.3	22.4	29.2	27.1	23.4	22.1	29.3	22.6	30.1	28.1	25.8	20.0	16.4	37.9	25.3	18.0	20.5	22.2	15.5	13.7	12.5	1.0
	393	27.2	25.3	21.5	27.2	25.3	21.5	28.0	21.7	15.9	38.8	26.8	14.4	24.6	20.5	20.5	24.4	14.2	13.7	0.5					
	37	22.4	23.4	28.5	22.4	23.4	21.3	17.2	20.8	41.7	27.2	17.3	29.4	29.9	25.3	19.1	15.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	108	32.8	29.2	26.0	32.8	29.2	26.0	28.9	22.1	15.1	41.8	25.9	15.4	27.3	22.5	28.4	17.5	13.0	1.0	1.0					
	128	27.4	27.1	21.0	27.4	27.1	21.0	26.7	23.5	15.3	42.1	24.2	15.3	25.1	19.8	23.2	11.2	18.1	-	-					
	120	23.4	20.5	15.9	23.4	20.5	15.9	30.6	20.7	15.7	31.6	30.1	11.6	20.1	16.7	21.7	12.9	9.2	0.8						
	218	23.6	22.1	21.1	23.6	22.1	21.1	24.6	22.3	16.2	36.8	24.9	15.5	24.8	20.1	24.2	17.7	17.0	0.5						
	175	31.7	29.3	22.1	31.7	29.3	22.1	32.2	20.8	15.4	41.3	29.1	13.0	24.2	21.1	24.5	9.9	9.6	0.6						
	250	25.8	22.6	21.1	25.8	22.6	21.1	29.3	20.1	16.6	38.6	25.0	15.3	23.2	19.4	22.5	12.0	13.7	0.8						
	139	30.5	30.1	22.1	30.5	30.1	22.1	25.0	23.5	14.4	38.1	30.0	12.4	26.1	22.5	27.0	17.8	12.5	-						

(%)

5-3. 就職活動で役立つ経験ができた職種/役に立ちそうだと思う職種

- ◆ 2022年全体では、「役立つ経験ができたと感じた/立ちそうだと思うアルバイトはない（26.0%）」を除くと、「飲食・フード（接客・調理）」が31.4%と最も高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が19.8%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が12.4%、「飲食・フード（販売）」が12.3%となった。
- ◆ 就職活動中の大学4年生に実際に就職活動で役に立つ経験ができた職種を聞いたところ、「飲食・フード(接客・調理)」が31.2%と最も高く、次いで「教育(塾講師・家庭教師など)」が13.7%となった。

Q 就職活動で役に立つ経験ができたと感じたアルバイトの職種を教えてください。今後就職活動を控えている方（大学1年生～3年生）は就職活動で役に立ちそうだと思う職種を選んでください。（複数回答）



5-4. 就職活動で役に立つ経験ができた内容

◆ 就職活動中の大学4年生が就職活動で役に立つ経験ができたと感じた内容としては、「言葉遣いやマナーが身に付いた」という内容、「アルバイトを通して仕事の実情や自身の適性を知れた」というキャリア形成に関すること、「様々な世代の人や立場の人との関わり方やコミュニケーション能力が身に付いた」等の回答が目立った。

Q アルバイトが就活に役に立つ経験ができたと感じた理由をできるだけ具体的に教えてください。【ベース：就職活動をしている大学4年生】（自由回答）

言葉遣いやマナーに関する項目

- ・言葉遣いや笑顔など、接客をするときに意識していたことが面接でも役に立った。ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）のネタとしてもアルバイトでの経験が活かされた。
- ・ドラッグストアのアルバイトをしていたのだが、アルバイト先が対人マナーや接遇に力を入れており、研修も活発であったので対人マナーや接遇について学ぶことができた。また学びを接客でアウトプットすることができたので知識の定着ができた。そのような経験があって就活の面接において丁寧な言葉遣いを自然にできた。

キャリア形成に関する項目

- ・私はホテルのフロントで勤務した経験がありましたが、この経験を通し私はどんな仕事が合ってるのか考えるきっかけとなりました。元々語学学習に力を注いでいたためフロント職が向いていると思っていましたが、なぜそう思うのか、結果として何が自分のやりがいになるのかこの仕事を通し学ぶことが出来たと思っています。最終的に私はフロント職は辞めたもののこのような仕事の選択について深く考えるきっかけを与えてくれました。
- ・保育関係に就職したいと思っていたため、バイトの経験がそのまま就職活動にいかせた。

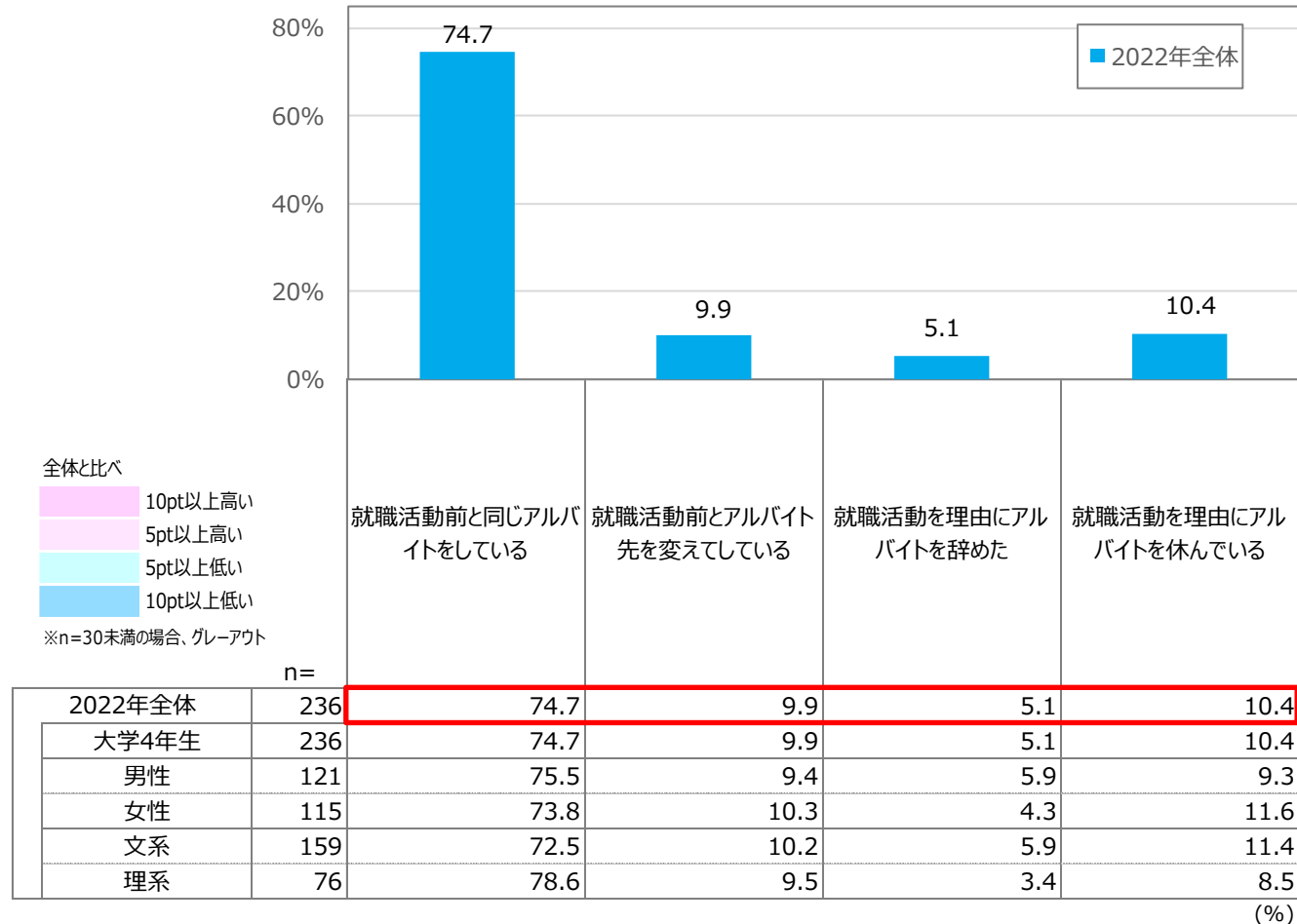
コミュニケーションに関する項目

- ・塾講師のアルバイトをしています。子どもから保護者の方まで幅広い年代の人と接する機会が多く、今まで年上としかコミュニケーションをとってこなかった自分としては会話のバリエーションが増えた気がします。
- ・飲食店では、いろいろな年齢、いろいろな性格をした人が来店するので、人との関わり方について学ぶことができる。
- ・ドラッグストアには老若男女様々な方がお客さんとして訪れるので、どのような人に対しても落ち着いてその人に合ったコミュニケーションを取ることができるようになったと思う。
- ・職場の人とのコミュニケーションをしたり、たくさんのお客さんと会話したりしたことで、知らない人と話すコミュニケーション力・良好な関係を築いていく力がついたと感じた。

5-5. 就職活動中のアルバイト状況

◆ 2022年全体では、「就職活動前と同じアルバイトをしている」が74.7%と最も高く、次いで「就職活動を理由にアルバイトを休んでいる」が10.4%、「就職活動前とアルバイト先を変えてしている」が9.9%、就職活動を理由にアルバイトを辞めた」が5.1%となった。

Q 2022年3月1日に企業の会社説明会などの採用活動が解禁されて以降、就職活動中にアルバイトをしていますか。
【ベース：大学4年生】（単一回答）

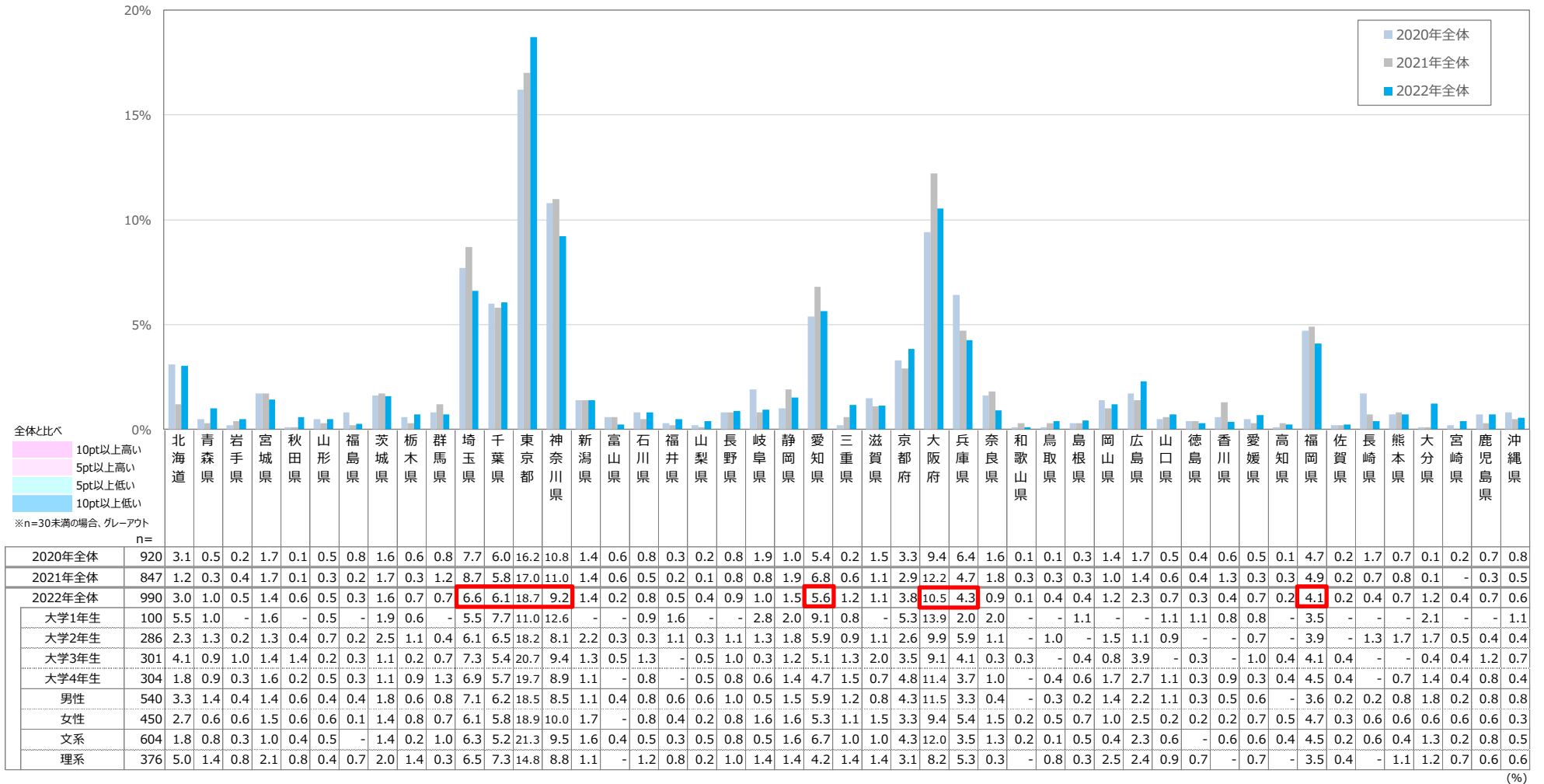


Appendix

1. 居住地

◆ 2022年全体では、「1都3県」「愛知県」「大阪府」「兵庫県」「福岡県」の居住者が多く、前年と同様の傾向を示す。

Q あなたが現在お住まいの都道府県をお選びください。（単一回答）

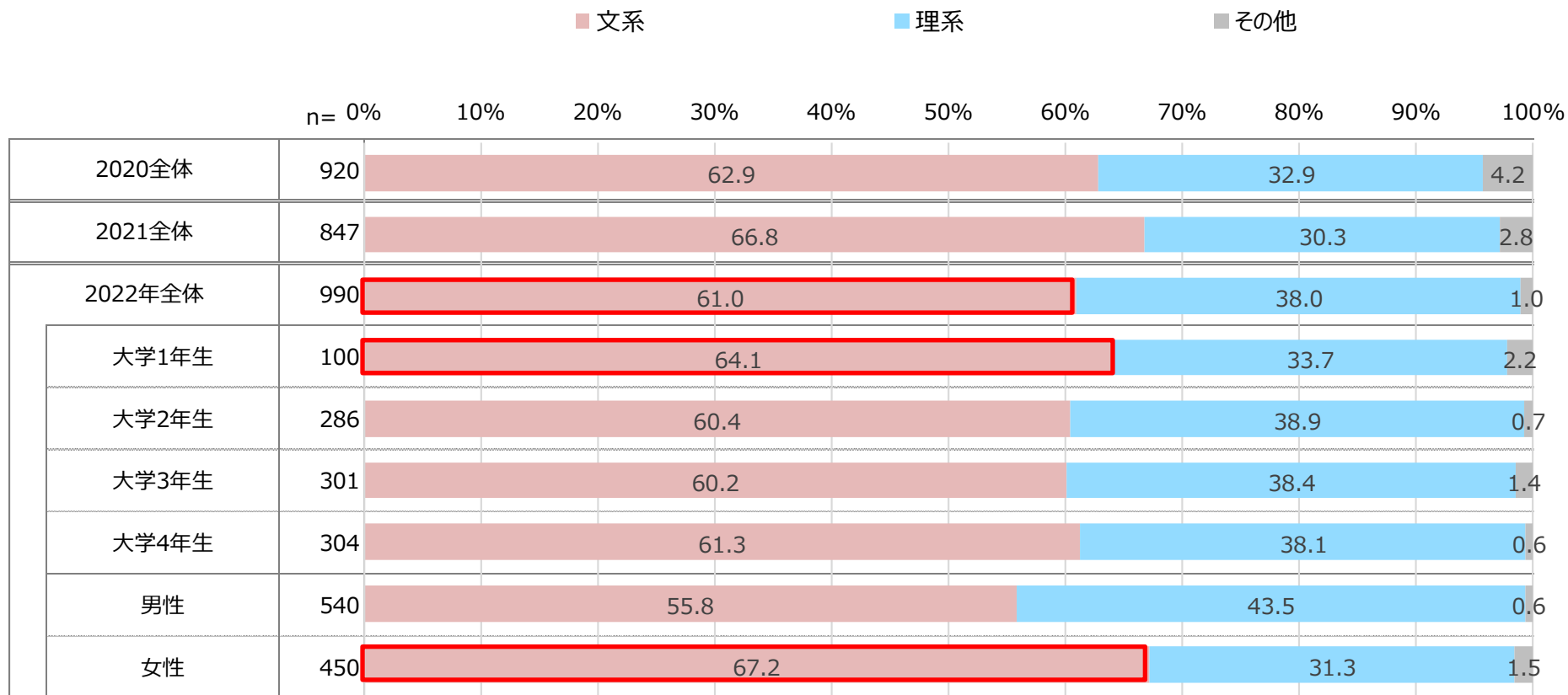


(%)

2. 文理

- ◆ 2022年全体の文理比率は「文系」が61.0%、「理系」が38.0%。
- ◆ 全学年で「文系」が約6割、「理系」が約3割と全体と同様の傾向。
- ◆ 男性の理系比率、女性の文系比率が全体より高くなった。

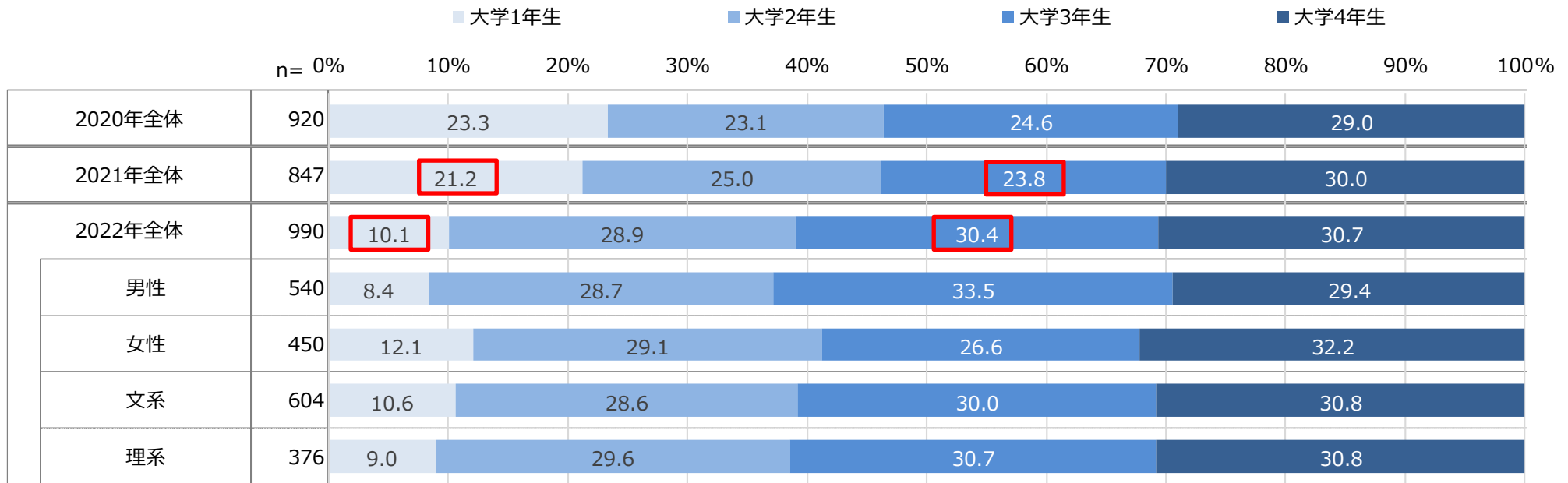
Q あなたに当てはまるものをお選びください。（単一回答）



3. 学年

- ◆ 2022年全体との学年の比率の差は男女・文理ともにほとんどない。
- ◆ 前年比では、2022年全体の学年の比率は「大学1年生」が低く、「大学3年生」が高くなった。

Q あなたの学年をお選びください。（単一回答）



4. 現在力を入れて行っている取り組み

- ◆ 現在行っている取り組みとして当てはまるものを2022年全体でみると、「アルバイト・パート」が62.6%と最も高く、次いで「学校の授業」が49.0%、「趣味」が48.8%、「友人・知人との交友」が36.9%となった。
- ◆ 「アルバイト・パート」は学年別では[大学4年生]が58.0%と最も低く、[大学1年生]が70.4%と最も高くなった。
- ◆ 2022年全体を学年別でみると、[大学1年生]の「学校の授業」、[大学4年生]の「就職活動」「ゼミ」が全体より10pt以上高くなった。

Q 現在あなたが力を入れて行っている取り組みをお選びください。(単一回答/複数回答)

